

岐阜県立高等学校の活性化に関する検討まとめ

（岐阜県立高等学校ふるさと教育関連事業実施報告）

＜令和３年度＞

令和４年４月

岐阜県教育委員会

目 次

1	本検討まとめについて.....	1
2	令和3年度 of 取組結果.....	1
2-1	活性化に関する取組み.....	3
(1)	令和4年度県立高等学校入学者選抜に係る学科改編等.....	3
(2)	令和4年度県立高等学校入学者選抜の改善.....	7
(3)	学校運営協議会設置の推進.....	7
(4)	スクール・ポリシーの策定について.....	7
(5)	県立高等学校の魅力発信.....	8
(6)	スーパーハイスクールセッション（SSS）の報告.....	10
(7)	進学指導推進事業の報告.....	10
(8)	遠隔教育の実証研究.....	14
(9)	高等学校における演劇等ワークショップ事業の報告.....	14
(10)	高校生の意識からみる、ふるさと教育の効果.....	14
2-2	ふるさと教育に関する取組み.....	17
(1)	STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進.....	18
(2)	地域とともに活性化する魅力ある高校.....	19
(3)	グローバルな視点で課題を探究する高校.....	26
(4)	地域に密着した課題を探究する高校.....	32
(5)	地域の企業等と連携した専門高校等.....	37
(6)	ふるさと魅力体験事業.....	42
2-3	ICT活用に関する取組み.....	43
(1)	「ICT教育推進室」の新設.....	43
(2)	ICT活用に特化した教員研修の充実.....	43
(3)	ICT環境を活用した授業改善.....	43
(4)	産学官連携による“未来を創る学び”の模索.....	44
(5)	校務のデジタル化による働き方改革の推進.....	45
(6)	デジタル化に対応した産業教育の環境整備.....	46
3	令和4年度以降 of 取組内容と今後の方向性.....	47
(1)	ふるさと教育（探究的な学び）の推進.....	47
(2)	学校運営協議会設置の推進.....	48
(3)	進学指導推進事業の推進.....	48
(4)	高等学校における演劇等ワークショップ事業の継続.....	49
(5)	ICTの活用を前提とした新しい学びの模索.....	49

(6)	校務のデジタル化による働き方改革の推進	49
(7)	教育ＤＸに関する教員研修	49
4	令和５年度の学科改編等	50
(1)	令和５年度学科改編等について	50
(2)	県外募集実施校	50
(3)	令和５年度県立高等学校入学者選抜	50
5	資料編	52
参考資料 1	中学校卒業予定者数の推移（全体／地区別）	53
参考資料 2	県外募集に関するチラシ、広報	57
参考資料 3	高校におけるふるさと教育ガイド	59
参考資料 4	高校生の意識に関する調査	67
○	県立高等学校のスクール・ポリシー一覧	68

1 本検討まとめについて

県教育委員会では、平成 28 年 3 月に岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会から提出された「審議まとめ」を受け、以降、県立高校の活性化の方策について具体的な検討を進め、年度ごとに取組結果等を「検討まとめ」として取りまとめてきた。

本報告は、岐阜県立高等学校の活性化に向けた令和 3 年度の実施状況、令和 4 年度以降の取組内容及び令和 5 年度学科改編等について示すとともに、平成31年 3 月に策定した岐阜県教育振興基本計画（第 3 次岐阜県教育ビジョン）に掲げたふるさと教育関連事業等の令和 3 年度の実施状況について報告するものである。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の急拡大を受けて岐阜県に 3 度目となる緊急事態宣言が出される中で、感染防止対策の徹底に努めながら、各学校の様々な行事については、方法を模索しながら実施する 1 年となった。しかし、このような不測の事態の中で生徒の学びが止まることがないように、オンライン学習支援をはじめとした ICT 教育の充実を図るため、ICT 関連企業や大学等の専門家との連携による学校の取組支援など支援体制を整備し、実施してきた。

また、令和 3 年 1 月の中央教育審議会答申等を踏まえた学校教育基本法施行規則等の一部改正により、高等学校の三つの方針（いわゆる「スクール・ポリシー」）の策定など、高等学校の特色化・魅力化に向けた方策が全国的に展開されている。本県においては、令和 3 年度に全ての県立学校に導入した学校運営協議会において、「スクール・ポリシー」の策定について協議するとともに、県立高校活性化に向けた取組みの充実と実現を図ってきた。

2 令和 3 年度の実施結果

「平成28年度の実検討まとめ」において、県立高校の活性化の基本方針として、高校の特性に応じた活性化の基本的な考え方を定め、具体的な活性化策を例示したものをグランドデザインとした。このグランドデザインにもとづき、例えば、個別のより高度な学習ニーズへの対応、大学合格実績の向上、大学進学から就職までを含めた多様な進路希望への対応、地域産業を担う人材育成、さらには多様な学習スタイルへの対応等、高校の特性に応じた活性化策を検討し、毎年度、具体的な取組みとして実行してきた。令和 3 年度の実組結果は 3 頁以降のとおりで

ある。

＜県立高校活性化の基本方針（グランドデザイン）＞

	特 性	活性化の基本的な考え方	具体的な活性化策（例）
普通 科等	選抜性の 高い大学 への進学 が 多 い	<ul style="list-style-type: none"> ○グローバルリーダーの育成 ○個別のより高度な学習ニーズへの対応 ○新大学入試制度や新学習指導要領を見据えた探究的な学びを積極的に展開 ○キャリア教育や進路支援体制を充実 ○地域から求められる人材を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆高等教育機関等の教育力を積極的に活用したより高度な学習機会の提供 ◆少人数による主体的・対話的で深い学びの推進 ◆進学重点型の単位制へ改編 ◆授業時間外の補習体制の充実 ◆大学卒業後の進路を見据えたキャリア教育の推進
	いわゆる 中 堅 進 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習できる教育体制の構築 ○個別の進学希望へのきめ細かな対応 ○大学合格実績の向上 ○キャリア教育や進路支援体制を充実 ○地域から求められる人材を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆進学希望別（コース別）教育課程編成、コースや系列の見直し ◆進学重点型の単位制へ改編 ◆授業時間外の補習体制の充実 ◆大学卒業後の進路を見据えたキャリア教育の推進
	進路先が多様	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な進路希望にきめ細かく対応 ○多様な生徒（中途退学経験者、不登校経験者、特別な支援を必要とする生徒等）への対応 ○キャリア教育や進路支援体制を充実 ○地域から求められる人材を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆進路実現型の単位制や総合学科へ改編 ◆昼間２部（午前・午後）、通信制（平日スクーリングタイプ）への改編 ◆「少人数コミュニケーション講座」の開設 ◆デュアルシステムの導入・充実
総合 学科			
専門 学科	学科によって進路状況に違いがある	<ul style="list-style-type: none"> ○本県の地域産業を担う人材を育成 ○少子化に伴う学校の小規模化への対応 ○産業構造の変化等による新たなニーズへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域産業やニーズに応じた学科の再編成や学科名称の変更 ◆柔軟な定員設定や類型（くくり）募集 ◆学校規模にあった学科改編 ◆複数の専門学科併置校へ改編
	定 時 制 通 信 制	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な生徒、多様な学習ニーズや学習スタイルへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◆夜間定時制を多部制に改編（昼間部の新設） ◆全日制タイプの高校に改編

2-1 活性化に関する取組み

(1) 令和4年度県立高等学校入学者選抜に係る学科改編等

○ 学科改編（令和3年5月発表）

以下のように学科改編等を行った。

	～令和3年度	令和4年度～
加 納	普通科 音楽科 美術科	→ 普通科（単位制） → （変更なし） → （変更なし）
岐 南 工 業	機械科 自動車科 電気科 電子科 建築科 土木科	→ 機械工学科 → 自動車工学科 → 電気工学科 → 電子工学科 → 建築工学科 → 土木工学科
羽 島	普通科	→ 普通科（単位制）
岐 阜 工 業	{ 航空・機械工学科群 航空機械工学科 電子機械工学科 { 電気・電子工学科群 電気工学科 電子工学科 { 建設・デザイン工学科群 建設工学科 デザイン工学科 { 化学・設備工学科群 化学技術工学科 設備システム工学科	→ { (変更なし) (変更なし) (変更なし) → { (変更なし) (変更なし) (変更なし) → { (変更なし) 建築工学科 土木工学科 (変更なし) → { (変更なし) (変更なし) (変更なし)
池 田	普通科	→ 普通科（単位制）
可 児 工 業	機械科 電気システム科 建設工学科 化学技術科	→ 機械工学科 → 電気工学科 → { 建設工学科群 建築工学科 土木工学科 → 化学技術工学科
多 治 見 工 業	電子機械科 電気システム科 デザイン科 セラミック科	→ 電子機械工学科 → 電気工学科 → 産業デザイン工学科 → セラミック工学科
土 岐 紅 陵	総合学科 文理進学系列 食と福祉系列 美術・工芸系列 情報・ビジネス系列	→ (変更なし) → 進学系列 → (変更なし) → (変更なし) → (変更なし)
恵 那 南	総合学科 文理進学系列 ビジネスと観光系列 情報デザイン系列 ライフサポート系列	→ (変更なし) → 進学系列 → (変更なし) → (変更なし) → (変更なし)
恵 那 農 業	食品科学科 園芸科学科 環境科学科 園芸デザイン科	→ { 食の農学科群 生産科学科（新設） (変更なし) → { 花と緑の農学科群 (変更なし) (変更なし) (募集停止)

	～令和3年度	令和4年度～
坂 下	普通科 生活デザイン科 福祉科	→ 地域探究科（新設） ※普通教育を主とする学科
		→ （募集停止）
		→ （募集停止）
		→ （変更なし）
中 津 川 工 業	機械科 電子機械科 電気科	→ 機械工学科群
		→ 機械工学科
		→ 電子機械工学科
		→ 電気工学科
	建設工学科	→ 建設工学科群
		→ 建築工学科 土木工学科
高 山 工 業	機械科	→ 機械工学科
	電子機械科	→ 電子機械工学科
	電気科	→ 電気工学科
	建築インテリア科	→ 建築インテリア工学科
〔参考〕 市立岐阜商業	情報処理科	→ ビジネス情報科
	経営管理科	→ ビジネス科

単位制への改編については、生徒の多様な進路希望に対応するための方策の一つとして、導入校における教育課程を検証し科目選択の仕組み等を改善したり、教科横断型の探究型学習を科目として位置付けたりすることなどにより導入校を拡大し、令和4年度の学科改編においては、加納高校（普通科）、羽島高校（普通科）、池田高校（普通科）において実施した。これにより、本県の全日制の高等学校のうち、普通科単位制の設置校は25校となり、総合学科単位制を含めると本県の単位制の設置校は31校となった。

これまで、活性化の一方策として実施してきた学科改編等については、これまでに県地方産業教育審議会答申（平成30年3月20日）を踏まえた「基本的な学びの領域」を単位とする学科配置について、全ての学科において再編成を実施した。また、中央教育審議会答申（令和3年1月26日）を踏まえ、普通科の特色化・魅力化を促進するための普通科以外の「普通教育を主とする学科」の設置が可能となり、本県では坂下高校に地域探究科を新設した。

「平成28年度の検討まとめ」において例示した、県立高校活性化の基本方針（グランドデザイン）にもとづいた学科改編等を学校ごとに検討し、その実施が概ね完了した。

○ 1 学級40人未満の入学定員の設定

これまでの入学状況や今後の生徒減少期を見据え、1 学級40人単位での学級減は学校の活力への影響が大きいと判断される場合は、定員減を行うための手段のひとつとして1 学級40人未満の定員設定を実施している。

きめ細かな定員設定により、学校規模を維持しながら、学校の活力維持・活性化を継続するとともに、これまで以上に生徒へのきめ細かな指導・支援を目的としている。令和4年度入学者選抜では、23校で1 学級40人未満の定員を設定した。

平成30年度2校：坂下、吉城
平成31年度7校：揖斐、瑞浪、土岐紅陵、土岐商業、恵那南、坂下、吉城
令和2年度17校：岐阜城北、岐阜各務野、揖斐、池田、大垣養老、武義、関有知、東濃実業、瑞浪、土岐紅陵、土岐商業、恵那南、坂下、中津商業、飛騨高山、高山工業、吉城
令和3年度24校：岐阜城北、岐阜各務野、山県、岐阜工業、揖斐、池田、大垣養老、海津明誠、郡上北、郡上、武義、関有知、八百津、東濃実業、可児工業、瑞浪、土岐紅陵、恵那南、恵那農業、坂下、中津商業、飛騨高山、高山工業、吉城
令和4年度23校：岐阜城北（総合35人×4学級）
山県（普通35人×3学級）
岐阜工業（電気・電子工学科群70人〔2学科〕、建設・デザイン工学科群70人〔3学科〕、化学・設備工学科群70人〔2学科〕）
揖斐（普通30人×2学級、生活デザイン30人×2学級）
池田（普通35人×4学級）
大垣養老（食の農学科群60人〔2学科〕、緑の農学科群60人〔2学科〕）
海津明誠（普通30人×3学級）
郡上北（普通35人×3学級）
郡上（総合農業学科群60人〔3学科〕）
武義（ビジネス情報30人×2学級）
関有知（普通35人×3学級、生活デザイン35人）
八百津（普通35人×3学級）
東濃実業（ビジネス35人×2学級、ビジネス情報35人×2学級）
可児工業（機械工学35人×2学級、電気工学35人、化学技術工学35人）
瑞浪（生活デザイン30人×2学級）
土岐紅陵（総合30人×3学級）
恵那南（総合30人×2学級）
恵那農業（食の農学科群70人〔2学科〕、花と緑の農学科群70人〔2学科〕）
坂下（福祉20人）
中津商業（ビジネス35人×3学級、ビジネス情報35人）
飛騨高山（食の農学科群50人〔2学科〕、緑の農学科群50人〔2学科〕）
高山工業（機械工学32人、電子機械工学32人、電気工学32人）
吉城（普通30人×3学級、理数30人）

○ 県外からの生徒募集

平成30年度県立高等学校入学者選抜から、県外からも意欲の高い生徒が入学することで生徒同士がより切磋琢磨できるなどの教育効果を期待して、県外からの生徒募集（以下、県外募集という。）を実施している。

令和3年度県立高等学校入学者選抜においては、募集分野を見直し、特色ある教育や部活動に加え、全国で活躍する部活動を実施する学校においても県外募集を行った。令和4年度県立高等学校入学者選抜においても、前年度に続き、「特色ある教育」、「全国で活躍する部活動」の各分野で県外募集を行った。

また、県外募集の周知については、県外募集専用のホームページで実施校を紹介するなど広報活動に努めた。（参考資料2）

＜令和4年度県立高等学校入学者選抜における県外募集実施校＞

「特色ある教育」での募集		「全国で活躍する部活動」での募集	
学 校	分 野	学 校	分 野
加 納	音楽	羽 島 北	フェンシング
多 治 見 工 業	セラミック	岐阜総合学園	ホッケー（男子）
恵 那 農 業	ふるさと教育（食、花と緑）	岐 阜 城 北	硬式野球
坂 下	福祉	岐 阜 商 業	硬式野球
益 田 清 風	ふるさと教育（地域文化伝承）	岐 南 工 業	自転車競技
高 山 工 業	建築インテリア	岐阜各務野	ホッケー（女子）
		大 垣 南	フェンシング
		大 垣 商 業	体操
		海 津 明 誠	ヨット
		関 有 知	ライフル射撃
		加 茂	ボート
		飛 騨 神 岡	ロボット

＜県外募集による入学実績＞

入学年度	実 績
平成30年度	1名 加納（音楽1）
平成31年度	4名 加納（音楽1）、東濃（ロボコン1）、恵那農業（園芸1）、坂下（福祉1）
令和2年度	5名 加納（音楽2）、海津明誠（ヨット1）、恵那農業（ふるさと教育1）、高山工業（建築インテリア1）
令和3年度	12名 岐阜城北（硬式野球3）、岐阜商業（硬式野球4）、岐阜各務野（ホッケー1）、大垣南（フェンシング1）、益田清風（ふるさと教育・地域文化伝承1）、高山工業（建築インテリア2）
令和4年度	19名 加納（音楽1）、岐阜総合（ホッケー3）、岐阜城北（硬式野球4）、岐阜商業（硬式野球2）、岐阜各務野（ホッケー2）、大垣南（フェンシング2）、大垣商業（体操1）、多治見工業（セラミック1）、恵那農業（ふるさと教育・食、花と緑1）、益田清風（ふるさと教育・地域文化伝承1）、高山工業（建築インテリア1）

（２）令和４年度県立高等学校入学者選抜の改善

○ 県立高等学校入学者選抜における新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症への対応として、第一次選抜の追検査の対象者に新型コロナウイルス感染症の罹患者又は濃厚接触者を追加している。

新型コロナウイルス感染症罹患者の退院までの期間や、濃厚接触者の健康観察期間を踏まえ、受検機会確保の観点から、令和３年度入学者選抜に引き続き、追検査を第一次選抜の本検査の２週間後に実施することとした。

また、令和４年１月以降の新型コロナウイルス感染症の感染急拡大を受け、さらなる受検機会を確保するため、第一次選抜の本検査及び追検査のいずれも受検できなかった場合の救済策として、「特別追検査」を設けるとともに、第二次選抜においても「特別措置」を設けることとした。

（３）学校運営協議会設置の推進

ふるさと教育関連事業で提案された地域の声を反映しながら、地域と一体となった高校づくりが更に進むよう、平成30年度に県立学校11校に学校運営協議会を設置し、以降、導入校を順次拡大してきた。令和３年１月26日中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」を踏まえ、地域住民等と学校が連携・協働し、更に魅力ある高校づくりに取り組めるよう、令和３年度に、全県立学校83校に学校運営協議会を設置した。

（４）スクール・ポリシーの策定について

令和３年１月26日中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」において、高等学校の特色化・魅力化等に向けた方策が提言されたことを踏まえ、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令が、令和３年３月31日に公布された。

高等学校において、特色・魅力ある教育を行うためには、各高等学校において育成を目指す資質・能力を明確化・具体化するとともに、学校全体の教育活動の組織的・計画的な改善につなげていく必要がある。その際に、高等学校教育の入口から出口までの教育活動を一貫した体系的なものに再構築するため、高等学校

は、高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針及び入学者の受入れに関する方針の「三つの方針」（「スクール・ポリシー」）を策定・公表することとされた。

本県では、「スクール・ポリシー」として以下に示す3つの方針を策定することとしている。

◆ グラデュエーション・ポリシー（G P） 『育てたい生徒像』

卒業までに生徒にどのような力をつけるのかを示したもの

◆ カリキュラム・ポリシー（C P） 『生徒をどう育てるか』

そのために、学校全体として教育活動をどのように展開するのかを示したもの

◆ アドミッション・ポリシー（A P） 『どんな生徒を待っているか』

入学希望者へのメッセージとして、どのような生徒の入学を待っているか、学校でどのような学びができるかを示したもの

「スクール・ポリシー」は、すべての県立高等学校が課程別に策定することを基本とし、校長を中心に教職員間で議論を尽くすとともに、保護者等、学校を取り巻く多くの関係者の意見を踏まえ、学校運営協議会での十分な議論のうえ、承認を得て、令和4年3月に策定し、各県立高等学校のホームページにおいて公表している。また各県立高等学校の「スクール・ポリシー」の一覧を本検討まとめの巻末に掲載している。

（5）県立高等学校の魅力発信

○ 学校紹介動画掲載による学校ホームページの充実

新型コロナウイルス感染症対策のため、中学校等との交流が制限される一方で、中学校においてもGIGAスクール構想による1人1台端末環境の整備が加速する中、今後、県内中学生等に学校の情報を効率よく伝えるためには、学校ホームページによる情報伝達が一つの手段として挙げられる。

学校ホームページを活用した県立高等学校の魅力発信のため、全県立高等学校が学校の紹介動画を各学校ホームページへ掲載するとともに、各学校のホームページの充実を図ってきた。

また、中学生向けの「高校におけるふるさと教育ガイド（参考資料3）」に各学校ホームページURLの二次元コード（QRコード）を掲載することで、ホームページへのアクセスの利便性を高めた。

○ 「キャリア・チャレンジDay」、「高等学校フェア」の実施

各高等学校の魅力を、より分かりやすく積極的に発信するとともに、こうした情報を、中学校の進路指導に効果的に活かすことができるよう、全ての専門学科設置校で、従来の「高校見学会」や中学生1日体験入学等を拡充した体験講座「キャリア・チャレンジDay」を開催した。また、公立高等学校が地区別に一堂に会し、各校の取組みを紹介する「高等学校フェア」を県内7地区（岐阜・西濃・美濃・可茂・多治見・恵那・飛騨）において企画・開催した。

◇ キャリア・チャレンジDay

実施内容 中学生が専門高校で学ぶ魅力や職業に対する考え方など「高校での学びの先」を考えられる内容を盛り込んだ体験講座

- | | |
|-------|--|
| 【内容例】 | <ul style="list-style-type: none">・ 専門高校ならではの体験講座や体験実習・ 専門高校で学ぶ魅力や職業に対する考え方を、高校生が自らの体験を交えて紹介・ 学科の特色を生かした地域連携の学びやその成果の紹介、地域の現状と課題について中学生と一緒に考える体験 |
|-------|--|

実施日 夏季休業中、土日祝日などに年間2～4回程度実施

実施会場 各専門高校28校（97学科）

参加人数 のべ8,075人

◇ 高等学校フェア

実施内容 中学生が将来への見通しをもって高校選択ができるよう、高校生が、探究活動等を通して学んだことや学習成果を伝える合同学校説明会

- | | |
|-------|---|
| 【内容例】 | <ul style="list-style-type: none">・ 高校生が、各学校の特色やふるさと教育、探究活動等における取組みの成果を発表し、学校・学科の学びの魅力や取組みを発信・ 各高校が取り組んでいる「地域課題の解決」、「SDGs視点によるまちづくり」等の特色ある取組みの紹介 |
|-------|---|

実施日 令和3年11月28日（日）〔多治見地区〕

参加人数 中学生・保護者のべ915名（重複参加を含む）

※ 令和4年1～2月に計画していた他地区は、新型コロナウイルス感染症の感染急拡大を受け開催を中止

(6) スーパーハイスクールセッション（SSS）の報告

学んだ知識を社会と関連付ける経験によって磨き、将来グローバル社会で活躍したり、科学技術の発達に貢献したりする人材を育成するため、県内のスーパーハイスクール指定校（17校）から意欲のある生徒が一堂に集まり、学校の枠を越えて、自発的で自由なアイデアを出し合いながら、課題解決に向けた提言をまとめた。令和3年度も岐阜大学地域協学センターとの共催で実施した。

平成30年度～：岐阜、岐山、岐阜商業、岐阜農林、岐阜工業、大垣北、大垣東、関、多治見北、恵那、斐太、古城
令和元年度～：岐阜北、長良、加納、可児
令和3年度～：岐阜各務野

(7) 進学指導推進事業の報告

平成29年度から普通科を設置している高校を中心に、新大学入試制度に対応できる生徒の学力や教員の進学指導力の向上を推進している。

本事業では、進学指導重点校事業、進学指導連携事業及び県総合教育センターによる研修事業を、前年度の実績をもとに改善を図りながら、継続して実施している。

(ア) 進学指導重点校事業

大学進学を主目的とした普通科がある高校の中から、11校を進学指導重点校に指定している。各校の令和3年度の取組みは以下のとおりである。

学校名	開始年度	特色ある主な取組み（◇：生徒対象 ◆：教員対象）
岐 阜 北	H29～	◇：外部講師による難関大入試対策講座、学部系統別説明会 ◇：他校と協働した大学入試対策講座
大 垣 南		◇：外部講師によるキャリアプランニング講座 ◇：教育研究セミナーへの参加
加 茂		◇：外部講師による知的好奇心、探究心を引き出す講座 ◆：教育研究セミナーへの参加
可 児		◇：外部講師による特別講座 ◆：教育研究セミナー、研修会への参加
加 納	H30～	◇：外部講師による学習支援、名古屋大学研究会 ◆：大学入試問題研究講座へ参加
本 巢 松 陽		◇：外部講師による推薦対策講座、外部講師による学力向上講座 ◆：面接指導研修、新入試制度研究の実施
多 治 見	R2～	◇：外部講師による特別講座、進路講演会の実施 ◆：教育研究セミナー、研修会への参加
中 津		◇：外部講師による特別講座 ◆：教育研究セミナーへの参加、小論文講座の実施
多 治 見 北	R3～	◇：外部講師による特別補習 ◆：外部講師による教員研修会の実施
恵 那		◇：外部講師による特別講座 ◇：他校と協働した共通テスト早期対策講座の実施
斐 太		◇：外部講師による特別講座 ◆：教育研修セミナーへの参加

(イ) 進学指導連携事業

県全体の進学指導の向上を図り、生徒の進路実現に寄与することを目的した大学進学指導連絡協議会を中心に高校間で連携を図り、効果的な入試対策とモチベーション向上を目指す事業を推進した。事業内容は以下のとおりである。

大学進学指導連絡協議会幹事校：岐阜、岐阜北、大垣北、関、可児、多治見北、恵那、斐太

◇ 令和３年度の主な事業内容

・ 外部講師による難関大学を目指す高校生のための入試研究会【生徒対象】

東京大学、京都大学、医学部医学科を志望する３年生（希望者）を対象に、学習対策（国・数・英、小論文）の講座を開講した。新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインにより実施したが、生徒・教員合わせて350名超が参加した。

・ 指導力向上に向けた教員向け研修会の実施【教員対象】

予備校講師による小論文研修会を実施。近年、増加傾向にある学校推薦型、総合型選抜の指導を目的に、答案構成の流れや出題形式について、理論だけでなく実践的な内容まで学んだ。小論文に関する指導力向上だけでなく、日々の授業実践にも参考となる点が多かった。

◇ 令和３年度のまとめ

外部講師による難関大学を目指す高校生のための入試研究会は、オンライン実施２年目であるが、昨年よりも更に多くの受講があった。一方で、参加者の受講後の学習に対するモチベーションの向上や学習方法の改善につなげるためにも、県内の生徒が一堂に会する集合型研修にも意義があるため、実施方法や効果を検証して、今後更なる充実・発展を目指す。

(ウ) 県総合教育センターによる研修事業

本事業の開始にあたり、県総合教育センター講座に新たな専門研修として、大学入試問題の分析と大学入学者選抜改革による出題の傾向予想及びそれに対する効果的な学習・指導方法の在り方を研究・開発する講座を、平成29年度から開設し、進学指導に係る教員の指導力向上を目指す事業を行っている。

◇ 令和３年度の主な事業内容

・大学入試問題研究講座 ＜国語・数学・英語＞

外部講師による講演を実施した。国語科では難関大を含めた受験指導について、数学科では新たな大学入試の方向性について、英語科では自由英作文指導について、それぞれ学んだ。

◇ 令和３年度のまとめ

外部講師による大学入試問題の分析等を踏まえ、今後求められる学力を育む指導や授業の在り方について研究することで、授業改善の方向性を考えることができた。特に、経験の少ない教員にとっては、自身の指導方法を見つめなおすきっかけとなり、勤務校での授業改善に活かすだけでなく、教科の専門性を高めることができた。また、外部講師による講義と模擬授業を織り交ぜたワークショップにより、参加者は大学入試で求められる力をどのように育成していくのかを学ぶことができた。

大学入学者選抜改革の分析等は、参加者にとってだけでなく学校現場にとって大変興味深い内容であるため、研修内容や授業改善の成果等を各学校へいかに共有するかが今後の課題である。

(エ) 大学入学共通テスト等の要因分析の実施

大学入試制度においては、大学入学共通テスト２年目となり、学力の３要素（「知識・技能の確実な習得」、「思考力、判断力、表現力」、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」）をより要求する問題形式になった。また、学校推薦型選抜、総合型選抜等の一般選抜以外の入試形式も増えつつある。

県では、全ての県立高等学校にＩＣＴ機器を導入し、ふるさと教育として学校や学科の特色に応じた探究的な学びを展開し、学力の３要素を身に付けるための取組みを進めている。

各学校においてこの取組みを評価し、授業内容や学校運営等の改善に活かしていくため、大学入試結果等を客観的に分析した。また、各学校の要因分析や大学入学共通テストの自己採点結果等を進路状況が似通った学校間で情報共有し、より組織的かつ戦略的な取組みとした。

（オ）オンライン補習の実施

生徒の進路実現に向けた取組みの充実を図るため、各学校の要因分析の情報共有を踏まえ、学校間共同での指導教材や指導のノウハウの研究、オンラインによる進学補習などの共同実施に向けた実証研究を行うため、進学指導重点校で連携校体制を構築し、オンライン補習を実施した。

オンライン補習は、普段とは異なる担当者から講義を受けることで、生徒は新鮮な気持ちで受講することができた。また、他校との情報交換により、新たな知見が得られ、生徒・教員ともに刺激となるなど、オンライン補習の可能性について、一定の成果が見られた。

一方で、オンライン補習は、実施校間において、教材（題材や著作権への配慮）や実施日時について綿密な調整が必要であり、授業時間外に実施する補習においては、調整が困難であった。また、教員や生徒のＩＣＴスキルを起因として講義の質に差が生じたり、生徒の学力差に対応するためのきめ細かな指導が困難であったりと、複数校実施特有の課題も見えてきた。更に、通信環境や機材による制約が大きく、また、受配信の業務が重なることから、教員の業務負担軽減につながらない場合もあった。

オンライン補習の本格的な実施に向けては、複数校、複数回の検証が必要であり、遠隔教育の実証研究の成果も踏まえながら、検討を進めていく必要がある。

連 携 校	特色ある主な取組み
岐 阜 北 多 治 見 北	・ 大学入試過去問題演習
加 斐 斐 納 太	・ 数学分野別補習
可 恵 児 那	・ 共通テスト演習（国語、英語）、共通テスト試行問題演習（数学） ・ 読解力養成講座（化学基礎）
本 巢 松 陽 大 垣 南 中 津	・ マーク式問題演習（国語、数学、英語）
加 多 治 茂 見	・ 小論文、面接講座 ・ 物理分野別補習 ・ 数学分野別補習

(8) 遠隔教育の実証研究

少子化が進行する中、多様な学びのニーズに対応する方策の一つとして、小規模化が懸念される高校と、当該校を遠隔授業によりサポートする高校を指定し、遠隔授業による指導方法等の実証研究を行った。

これまでに、大型モニター、集音マイク、スピーカー等、遠隔授業を円滑に行うために必要な機材を整備し、特定の単元の授業や、期間を限定した授業を遠隔で実施した。

令和3年度は、実施校間で、学校設定科目の授業をつなぎ、多様な学びのニーズに対応する方策について、その成果や課題を検証した。

授業では、協力企業にも参加してもらい、「高校生が考えるこれからのお菓子」をテーマとして、現在の社会課題を解決するアイデアを練りこんだ新たなお菓子の企画を考えて、チームごとにプレゼンテーションによる発表を実施した。

(9) 高等学校における演劇等ワークショップ事業の報告

近年、コミュニケーションが苦手であることを原因として、学業や対人関係に行き詰まりを感じる生徒や、急速な社会のグローバル化に伴い日本語能力が十分でない外国人生徒が増加している。このような生徒に対し、演劇手法を用いた協働活動を通してコミュニケーション能力や自己表現力の向上を図るため、令和3年度は13校において、プロの演出家や俳優等を講師として招聘し、演劇表現ワークショップを実施した。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、実施時期が例年より遅れたものの、感染症対策を講じながら各学校においてワークショップを実施することができた。

平成30年度～：山県、羽島、揖斐、不破、東濃、恵那南
令和元年度～：郡上北、関有知、土岐紅陵、坂下、飛騨高山（山田キャンパス）
飛騨神岡
令和2年度～：華陽フロンティア（定時制）、飛騨高山（定時制）

(10) 高校生の意識からみる、ふるさと教育の効果

県立高等学校の生徒の日常生活における意識について調査・把握し、その結果を県教育委員会が実施する施策に活用することを目的とした「高校生の意識に関する調査（以下、本調査）」を、平成30年度から県立高等学校2年生全生徒を対象に実施している。

項目	質問内容	肯定意見割合%				H30との差
		H30	R1	R2	R3	
主体的・対話的行動	今の高校に入学して満足している	80.9	82.2	83.8	84.8	+3.9
	日常の授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う	69.6	71.9	76.2	77.5	+7.9
	日常の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していると思う	51.4	54.1	58.4	62.3	+10.9
	日常の授業では、生徒の間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う	61.9	65.1	71.9	74.8	+12.9

各項目の平均点 H30 : 2.80 → R1 : 2.85 → R2 : 2.93 → R3 : 2.98 (+0.18)

項目	質問内容	肯定意見割合%				H30との差
		H30	R1	R2	R3	
地域意識	岐阜県や自分の住んでいる地域の産業や伝統について知っている	64.4	65.4	67.3	70.2	+5.8
	岐阜県や自分の住んでいる地域の魅力を伝えることができる	51.0	53.3	55.1	57.3	+6.3
	今住んでいる地域の行事に参加している	38.2	39.5	40.7	42.0	+3.8
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	53.9	58.2	59.5	59.1	+5.2
	地域や社会を良くするために何をすべきかを考えることができる	34.9	38.9	40.1	41.6	+6.7

各項目の平均点 H30 : 2.46 → R1 : 2.51 → R2 : 2.53 → R3 : 2.56 (+0.10)

項目	質問内容	岐阜県希望割合%				H30との差
		H30	R1	R2	R3	
将来	あなたは高校卒業後、どの地域の大学や短期大学、専門学校などに進学したいと考えていますか。あるいは、どの地域に就職したいと考えていますか	27.8	28.7	28.8	28.0	+0.2
	あなたは、40歳になったとき、どの地域で生活したいと考えていますか	32.8	33.4	32.4	30.9	-1.9

本調査のうち、生活や学習に関する15の設問に対して、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4件法を用いて回答を得た。また、「あてはまる」を4点、「ややあてはまる」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点として得点を算出した。

平成30年度の調査結果では、15の設問のうち4つの設問は「主体的・対話的行動」に関する項目、5つの設問は「地域意識」に関する項目に分類し、「主体的・対話的行動」、「地域意識」の各項目の平均点については、正の相関（相関係数 $r=0.552$ ）が見られた。

令和元年度からはふるさと教育に重点的に取り組んでおり、ふるさと教育に関連がある「主体的・対話的行動」、「地域意識」の各項目の肯定意見（「あてはまる」「ややあてはまる」）の割合は増加傾向にある。また、各項目の平均点についても、年々高くなっている。（令和3年度の回答数は12,124人：回答率96.3%。調査

結果全体は、参考資料 4 に掲載。)

「主体的・対話的行動」、「地域意識」に関する項目において、肯定的な意見の割合が高まっていることから、新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の取組みが進んでおり、高校生の地域に対する関心・意識が高まっていることがわかる。

高校卒業後の進路先に「岐阜県」を選んでいる高校生の割合は増加傾向にあり、ふるさと教育を通して高めた「将来岐阜県で活躍したい」という生徒の意欲が反映されていると考えられる。一方で、40歳時の岐阜県への定住意識については、「岐阜県」を希望する割合が減少し、「まだわからない」が増加しており、コロナ禍において、将来の見通しがもちづらくなっていることが影響していると考えられる。

2-2 ふるさと教育に関する取組み

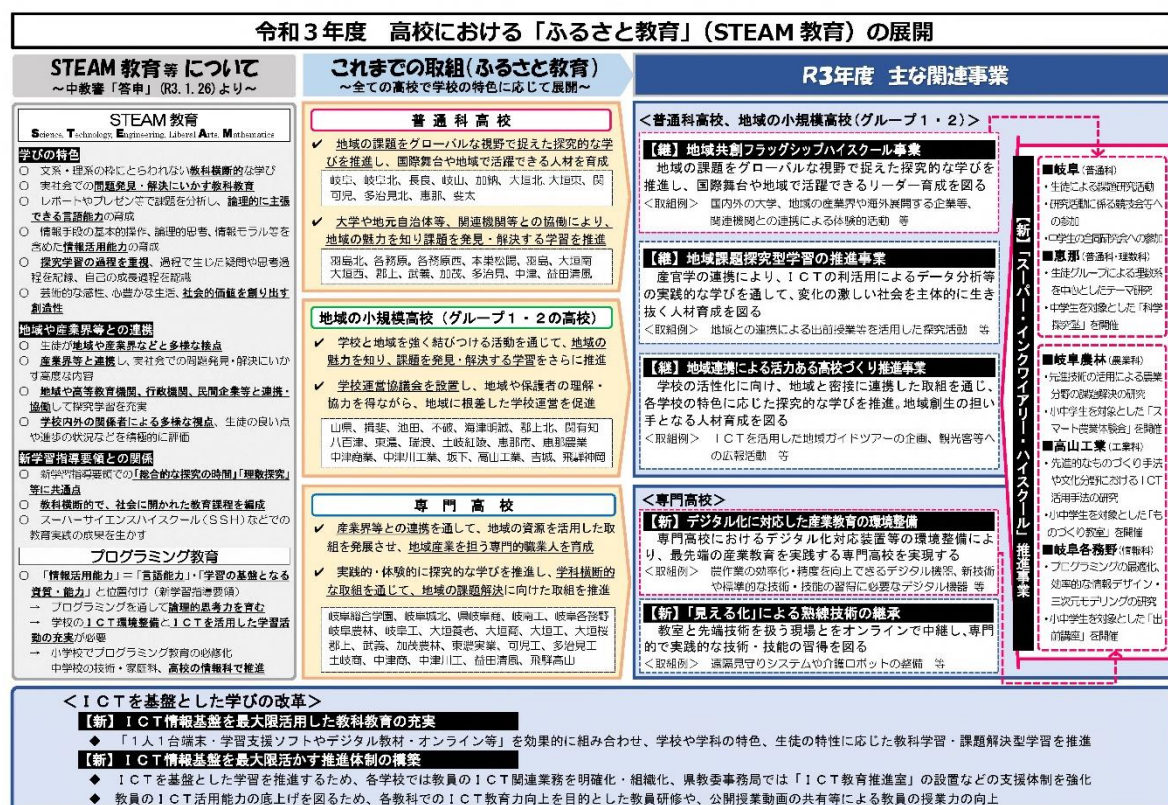
本県では、平成31年3月に策定した岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）において、今後5年間の本県の教育政策の基本的な考え方として、「ふるさとに誇りをもち、『清流の国ぎふ』を担う子どもたちの育成」を掲げた。

子どもたちが将来世界で活躍したり、地域の活性化に貢献したりして、「地域社会人」として活躍するためには、児童生徒がふるさとをよく知り、また、自らがふるさとで活躍していく将来像を描けるようにする必要がある。

このため、「ふるさと岐阜」への誇りと愛着を育むふるさと教育の取組みを、小・中・高一貫して展開しているところである。

特に高校では、新学習指導要領や中央教育審議会答申（令和3年1月26日）を踏まえ、ICTを日常的なツールとして最大限活用していくとともに、地域と高校を強く結び付ける活動を通して、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する探究的な学びを推進していく必要がある。そこで、ふるさと教育の枠組みの中で、ふるさとを教材とした探究的な学びを全ての県立高校で実施した。

<令和3年度ふるさと教育の概要>



(1) S T E A M教育等の教科等横断的な学習の推進

S T E A M教育 : Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Liberal Art (芸術／文系)、Mathematics (数学)等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育

【関連事業】スーパー・インクワイアリー（探究）・ハイスクール事業

令和4年度から実施される新学習指導要領を見据え、I C Tの重点的な活用や大学等との幅広い連携を通じ、高度な知見・専門性にもとづき教科横断的に課題を探究する学びをモデル校（5校）で先行的に実施した。

モデル校での取組み・成果は、県ホームページにて公表し、他の高校にも展開するとともに、高校での学びにつながる学習となるよう、地域の小中学校の児童・生徒が高校での取組みに参加する機会を確保するなどの取組みも促進した。

高山工業高校においては、「S T E A M ‘N T a k a y a m a」として、地元中学生を対象に、プログラミング的思考によりロボットを動かす「ロボットプログラミング対戦イベント」を開催した。高校生が、参加する中学生のために技術講習会や出前授業を事前に行ったことにより、大会には18チームが参加した。

指定校	取組内容
岐阜 阜 (普通科)	○ 生徒による課題研究活動の実施 国内外の最先端の研究者や企業関係者からのアドバイスを得てレベルを高めるとともに、全日本高校生模擬国連大会等の会議に参加
恵 那 (普通科) (理数科)	○ 地域課題解決に向けた研究 地域のよさを形にすることをテーマに、起業家や市役所等と連携して持続可能なまちづくりについて研究
岐阜 農 林 (農業科)	○ 先進技術の活用による農業分野の課題解決に向けた研究 I T企業や大学等と連携し、W e bカメラ等の機器を遠隔操作し、効果的・高品質な生産手法の確立について研究
高 山 工 業 (工業科)	○ ものづくり手法、文化分野における I C T活用の研究 地元企業デザイナーや大学教授の指導、さらに、文化財のデジタル記録化を通じた、新たな地域産業づくりについて研究
岐阜各務野 (情報科)	○ プログラミングの最適化、効率的な情報デザインの研究 地域の課題を発見・解決する活動を通して、A Iプログラミングや効果的な情報デザインを研究

情報収集や分析など、本事業で得られた教科横断的な学びに関する知見を、令和4年度は「グローバル探究実践事業」で継承し、文系・理系の枠にとらわれない探究的な学習活動を通して、地域をはじめとする実社会における課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力の更なる育成を図っていく。

（２）地域とともに活性化する魅力ある高校

【関連事業】地域連携による活力ある高校づくり推進事業

事業対象校

グループ１：不破、郡上北、八百津、東濃、瑞浪、土岐紅陵、恵那南、坂下、高山工業、飛騨神岡

グループ２：山県、揖斐、池田、海津明誠、関有知、恵那農業、中津商業、中津川工業、吉城

岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会が平成28年３月に発表した「審議まとめ」では、令和元年度に１学年３学級以下が見込まれた高校をグループ１（10校）、令和２年度から令和10年度までに３学級以下が見込まれる高校をグループ２（９校）としている。グループ１、グループ２の19校では、地域連携による活力ある高校づくりを推進するため、地元市町や企業関係者などで構成された活性化協議会（現在は学校運営協議会）から、各地域の特性等を高校活性化に活かす様々な提案を受け、地域と一体となった活力ある高校づくりを進めている。

令和３年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底に努めながら、各学校が工夫して、それぞれの特色を活かした教育活動を展開した。令和３年度の各校の主な取組みは以下のとおりである。

<グループ１>

不破高校 【普通科（単位制）】
主な取組み
<p>○ 地元市民団体との連携による地域活性化を目的としたLINEスタンプの製作</p> <p>地元市民団体と連携し、地域の活性化を目指す「LINEスタンプ製作プロジェクト」を実施した。今年度はスタンプデザインを改良し、インターネット上でLINEスタンプの販売を開始した。</p> <p>○ 南宮山の生態系の調査と調査結果を地域へ発信</p> <p>赤外線センサーカメラを学校周辺に設置し、特に山から市街地に出ていくニホンジカの動きについて詳しく調査をした。ニホンジカの生態がある程度掴め、その成果を発表した。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりの流れを知るとともに、地域の魅力を再発見することができた。成果をより多くの人に知ってもらうために、広報・発信の仕方を考え、実践したい。 ・１年間継続した生態系調査、地域の方へのシカ目撃情報のアンケート実施などにより、地域に調査結果を示しながら、地域の自然を考えるための情報発信をしていきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が実体験を通して考えたり、自己肯定感を高めたりすることができる教育活動が計画されていて、生徒の興味関心・意欲に寄り添いながら、ともに歩もうとする姿勢が強く感じられる。 ・地域に貢献するという姿勢も大切にして、卒業後の社会人としての歩みの大きな一助になることから「未来を創る」という熱い願いが感じられる。

郡上北高校 【普通科（単位制）：連携型中高一貫校】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 食品ロス削減の取組み 授業で学んだことをきっかけに、「食品ロス減らし隊」を発足し、食品ロス削減に向けたSDGs活動に取り組んでいる。郡上市とも連携協定を結び、様々なアドバイスを受けている。 ○ デュアルシステム（企業実習）の取組み 郡上市をフィールドとし、産学官の協働によるデュアルシステムを実施している。介護と工業の分野で専門の知識と技術を身に付け、将来地域を活性化できる人材を目指している。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの取組みは、その他の多くの取組みと関わり合いながら活動の幅を広げていった。地域での発表の機会も多く、その姿から刺激を受け、様々な課外活動に参加する生徒が増えた。 ・実践発表を、地域の中学2年生に見てもらい、将来、郡上北高校に進み活躍する姿を伝えることができた。今後も、積極的に情報発信し、郡上北高校の魅力を伝えていきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・「食品ロス減らし隊」の記事を読み、若者が取り組んでいることにとても感動した。母校の生徒がそのことに着目したことをうれしく思う。 ・やらされる活動ではなく、生徒自らが考え取り組み、地域が応援する学びのスタイルはすばらしい。更に工夫を重ね、より一層活動が活発になることを期待している。

八百津高校 【普通科（単位制）：連携型中高一貫校】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ デュアルシステム（企業実習）の実施 年間29回の「企業実習」、週2日の「企業実習基礎」の学習により、実習の事前・事後指導を継続的に実施するとともに、成果発表会を開催した。 ○ 杉原千畝氏を題材とした「人道教育」の実施 地元ゆかりの杉原千畝氏を題材として、イスラエル出身で八百津町在住の外部講師を招き、ユダヤ人が経験した大量虐殺について学び、命の尊さを学ぶ特別授業を実施した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた継続的な企業実習に取り組み、経験を重ねたことで、自分に自信がもてるようになり、将来について真剣に考え始める生徒が増えた。 ・コロナ禍の拡大等、何らかの事情で企業の実習受入が不可になった際の対応が課題である。 ・学習に探究的な要素をこれまで以上に取り込んでいく必要がある。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育の目玉であるデュアルシステムが、無事できて安心した。オンライン配信やオンデマンド配信により発表を見る機会が広がり、中学校としてもありがたい試みである。 ・人道教育もしっかりしており、丸山ダムバーチャル見学ツアーなど新しい試みがありすばらしい。

東濃高校 【普通科（単位制）】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校設定科目でのフィールドワークの実施 学校設定科目の「地域の産業と観光」「地域の地理と歴史」「地域政策」「地域コミュニティ」で、外部講師による講演やフィールドワーク等を実施した。3年生が「御嵩を活かす～商店街とウッドパークを活用して～」というテーマで学習成果を発表した。 ○ 郷土料理「みたけ華ずし」の手作り体験 地域の方を講師に招き、郷土料理「みたけ華ずし」の作り方を学び、体験をした。講師の先生から華ずしの特徴を学び、創作意欲を掻き立てられ楽しく学ぶことができた。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が大切にしている伝統や文化を国内外に発信しながら守っていくという取組みに感銘を受け、伝統や文化の伝え方についても考えることができた。 ・いきいきと活躍している高齢者と交流することにより、自分たちの高齢期についても前向きに考えていけるよい機会となった。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が連携できることもあった。このような学習を通して、将来それを実現しようと思う生徒がいたら、素晴らしいことである。ぜひ、継続されるべきである。 ・地域の一員であるという自覚を養うため、自ら考え、判断をする学習はとてもよい経験になる。

瑞浪高校 【普通科（単位制）、生活デザイン科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生と地域の大人が連携した地域活性化活動～実践編～ 瑞浪市内の病院にアンケートを協力してもらい、地域医療が抱える課題について考えたり、地域の伝統野菜「半原かぼちゃ」の保存・啓発に取り組んだりするなど、生徒一人一人が自己課題に取り組み、3年間の探究活動の成果を卒業研究として各自レポートにまとめた。 ○ 瑞浪市をフィールドとした地域連携活動～駅前活性化を中心に～ 瑞浪駅前の活性化をテーマとして、地域を歩き、地域の方とふれあう中で、自分たちの目で何ができるかを考え、地域課題の解決に向けた活動を行った。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で活動が大きく制限されたが、その活動が後輩に引き継がれ、こうした思いが継承されることで、活動の継続性の担保だけでなく、学校の活性化にもつながる。 ・自らの活動を大学入試の面接で発表するなど、自らの進路実現に結びつける生徒もいた。「進路目標の実現につなげる」というねらいを実現できたことは、学校として大きな喜びとなった。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携プロジェクトなどの成果が、大学入試等に活かされたことはとてもよいことだと感じた。プロジェクト活動から、思考力や表現力などが養われることがよいと思う。 ・地域連携プロジェクトに一層力を入れ、地域の活力、生徒の学びの場にしてもらいたい。

土岐紅陵高校 【総合学科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 土岐市とのコラボレーション協働学習 土岐市第六次総合計画について学び、今年度は「地域の課題を探究しよう」をテーマに、各生徒が課題解決学習として、地域の方にインタビューをしながら研究に取り組んだ。 ○ 地域を題材にした、各教科での取り組み 芸術の授業で地域の陶芸家に指導していただき、地域的美濃焼について深く学んだ。また漫画の授業で土岐市教育委員会のマスコットデザインを考案、作成した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・協働学習を通して地域の様々な人と関わる中で、地域の課題について考える機会を得た。 ・生徒自らが自身の将来設計と、地域の課題との関連性を意識して研究に取り組むことができた。 ・今後も地域活性化の活動に積極的に関わりながら、生徒自身がどのような形で社会参画ができるのか、自己肯定感の醸成につなげることを意識した企画、指導を目指す。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中にある住民や行政の課題の解決に向けて、力を合わせて継続的に取り組んでいきたい。 ・地域包括支援センターのチラシにも生徒が描いた挿絵を利用している。チラシの印象が変わり、内容が伝えやすくなった。

恵那南高校 【総合学科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元企業及び自治体との3者連携による、栗・りんごを素材とした6次産業学習の実施 恵那市の特産物である恵那栗、りんごについての講義から、1次産業（生産）、2次産業（加工）を学び、商品ラベルのデザイン、販売などの3次産業（販売・サービス）を学習する「6次産業学習」を実施した。 ○ 地元企業のサービスやテクノロジーを活用するドローン学習の実施 恵那市や企業と連携し、次世代ビジネスとして注目されているドローンの必要性や操作方法を学習し、地域課題解決におけるドローンの活用について考察した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産物を素材とした商品開発、ドローン学習の実施を通して、地域課題解決への考察ができた。 ・地域連携を継続し、企業や自治体の協力を得ることが今後必要である。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業学習では、生徒たちが地域の方と一緒に考えて活動する貴重な学習活動になっている。この学習を通して、地域課題を解決していく力を身に付けていけるとよい。 ・ドローン学習を通して、SDGsの視点から地域課題の解決を考察し、生徒たちが様々な活動を通して実践してくれることを期待している。

坂下高校 【普通科、生活デザイン科、福祉科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合的な探究の時間」における、地域の地理、産業、文化についての探究活動の実施 「加子母のトマト」や「馬籠の観光」等の地域産業を体験したり、「阿寺断層」に関するフィールドワークを行い、地区内に看板を立てたりした。また、地域の方のアンケートから、「防災」と「観光」をテーマに探究活動を行い、それぞれの課題解決策を練り、校外で発表した。 ○ 福祉科による中学校での出前授業の実施 市内4中学校において、福祉に関する「出前授業」を行った。また、福祉施設体験ができていない中学生のニーズを受けて、「福祉体験ミニ講座」を計画し、複数の中学校で実施した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動を通し、地域の地理、産業、文化について、自分たちの目で見えて体験することにより、地域の魅力を知ることができた。 ・今後は、地域の方と継続的に連携しながら、地域の魅力や課題について探究し、それを地域の方にわかりやすく発信していきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農産物に着眼した取組みは評価できる。今後も続けてほしい。 ・福祉科での学習はとても実践的で、即戦力を育成していると思う。そのよさを外部に伝えるために、もっと多くの人に坂下高校を見てもらえる機会を作るとよい。

高山工業高校 【機械科、電気科、建築インテリア科、電子機械科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域小学校におけるプログラミング教育支援 小学校において、プログラミング交流授業を行った。電気科生徒6名が授業を楽しめるように内容を工夫し、小さなコンピュータmicro:bitを活用したプログラミングの指導を実施した。 ○ 中学生のためのロボットプログラミング競技会の開催 地域の中学生を対象に、生徒がロボットプログラミング競技会を企画・運営した。参加する中学生のために技術講習会や出前授業を事前に行い、18チームが大会に参加した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校の専門性を生かし、STEAM教育やプログラミング教育の機会を提供することができた。 ・継続的な実施に向けた予算化と校内の体制づくりが必要である。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生が、プログラミングについて大変興味をもち、とても満足感をもっている。高校生から専門的なことを学ぶことで、自分も高校生になったら、こういうことができるようになるというイメージももてるようになり、とてもありがたい。 ・ロボットプログラミング競技会に向けて、中学校の要望に応じて出前授業を実施してもらったのはありがたかった。こうした活動を継続してもらいたい。

飛騨神岡高校 【総合学科（単位制）：連携型中高一貫校】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 職業別探究学習「事業者との懇談会」を開催 10種類の職種に分かれ、各職業が抱える諸問題や職業のやりがい等を調査した。調査にもとづく質問を準備し、実際にその事業者から話を聞く懇談会を開催し、職業観を深めた。 ○ 「神岡町のお店カード」の作成 神岡町の「スカイドーム」に訪れた観光客が町内の商店街や観光施設にも訪問するための方策を考えた。「神岡町のお店カード」と店舗マップを作成し、スカイドームや各店舗に設置した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携に活用する地域の特産品や観光などのよさや課題について探究する課題解決型学習を通して、地域を身近に感じ、地域貢献をしたという充足感を味わうことができた。 ・今後も地域の事業所と連携し、「職業の役割」、「働くことの意義」について考え、自己の職業観を更に深められるような探究活動を行っていきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・「事業者との懇談会」の取組みは、生徒自ら質問するような能動的な探究活動であり、よい取組みだと思う。 ・「神岡町のお店カード」の取組みは、神岡町内の様々な商店等を知ってもらえる機会となり、結果的に地域活性化の一翼を担うことにつながっていく。

<グループ2>

山県高校 【普通科（単位制）】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ デュアルシステム（企業実習）の実施 キャリア教育の一環として工業類型選択者に対して、地元企業14社で製造業に特化した実習を実施した。社会人としての生活習慣やマナーを学ぶとともに、将来地元企業で働き、地域に貢献するという意識を養うことができた。 ○ 「高校生食育講座」、「音楽療法講座」の実施 福祉類型選択者に対して、外部講師による食育講座、音楽療法講座を実施した。音楽療法講座では、医療・福祉現場における音楽療法の効果や実践方法を学んだ。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・企業実習や「ものづくり講座」を通して、社会人として必要な礼節や責任ある行動等を学ぶことができた。企業実習を行った企業に就職する生徒がおり進路実現につながっている。 ・地域の小中学生とともに「山県市社会福祉協議会子どもボランティアクラブ」に参加したり、岐阜本巣特別支援学校との共同学習を実施したりするなど、学校間の連携が進んでいる。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・普通・商業・福祉・工業の4類型がそれぞれの特徴を生かして取り組んでおり、どの類型も地元や地域とのふれあいを大切にしている。ぜひこのような取組みを続けてほしい。 ・地域になくてはならない学校として、これからも地域に根づいた学校運営をしてほしい。

揖斐高校 【普通科、生活デザイン科：連携型中高一貫校】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元企業及び中学校と連携した、地域に根ざすキャリア教育の実施 地元企業等と連携したデュアルシステム（企業実習）やインターンシップの実施により、地域で育て、地域に戻り、地域を支える人材育成に取り組んでいる。また、町内中学校との交流活動で高校の取組みを伝え、中学生のキャリア教育につなげる地域に根ざした教育を実施している。 ○ 揖斐川町と連携し、ふるさとの魅力について探究活動 地元企業提供の材料を使って開発した商品等を企画・販売するとともに、揖斐川町主催の行事等に参加し、地域の人から、知識や技術を学ぶことで、揖斐川町の魅力や伝統を探究した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した探究活動は、地域の特産や魅力などを再確認できる活動となっている。 ・今後も揖斐川町の新しい発見を開拓し、地域の魅力や課題などを地域の方に広報したり、本校の取組みを中学生等に伝えたりすることで、本校の魅力も発信したい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業でのデュアル実習を選択する生徒が増加したことは、これまでの取組みの成果である。 ・連携中学校との行事を更に充実させるとともに、本校の魅力をよりよく伝えることで、本校への進学希望者が増えるように、また中学生の進路指導に効果があることを期待している。 ・地域交流や連携は、揖斐高校の教育活動の重要な柱であるので、一層進めてほしい。

池田高校 【普通科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治体との連携による「池田町キャリア教育プログラム」の実施 池田町キャリア教育プログラム『学校を飛び出して、地域で活躍するオトナを取材しよう！』で、地域で活躍する社会人を取材し、その内容を学年発表会で発表した。また、実施に取材した大学教授を招いた講演会・座談会を実施した。 ○ NPO法人やユネスコ協会が主催するボランティア活動に参加 各種団体が主催する植林活動、清掃活動、花壇整備などのボランティア活動に生徒が参加し、SDGsの17の目標の「住み続けられるまちづくり」や「陸の豊かさを守ろう」に貢献した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・一連のボランティア活動への参加を推奨することで、探究活動の成果を地域貢献につなげるというプロセスを経験させることができた。 ・探究学習を通して、地域の歴史や文化についても目を向けさせたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の感性・適性・興味を引き出し、将来の自分の活躍のイメージをもたせるためにも、地域の中で多様な他者との生の協働の経験をする必要がある。 ・ボランティア活動の取組みにより、心の豊かさを深めることができている。生徒のアイデア・発想の中から、今できることを考え実践していく仕組みを作り出してもらいたい。

海津明誠高校 【普通科、ビジネス情報科、生活デザイン科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ さぼうエリアを拠点としたイベントの企画・実施 海津市内の賑わい創生に向けて、「さぼうエリアイベント」を企画・実施した。企画にあたって、地域関係者による授業、さぼう学習、現地フィールドワーク、竹炭焼きも体験した。 ○ 愛される味「ロコモコバーガー」開発と販売 地域のパン製造販売店との共同企画により、昨年度にパンを発売イメージし、今年度は試作・POP制作・販売等に関わった。2年越しでの実現となり、先輩から受け継いだ企画を後輩が最終的に完結できた点も含め、よい取組みとなった。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・企画から開催するまでの過程を通して、多くの方と関わる中で、コミュニケーションや互いを尊重して補完しあう大切さを痛感できた。 ・地域関係者と共同しながら、単年度での実施ばかりでなく、複数年掛けて事業展開することで、地域にもしっかりと根ざした取組みにする視点も必要であると感じた。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の企画実施で苦労も多い中、いくつかの連携事業を開催できたことは評価できる。 ・海津市の連携学習を通して、地域を愛して、地域に貢献できる人材育成を望む。 ・今後も海津市との連携を強化した活動を期待する。

関有知高校 【普通科、生活デザイン科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育を通じた地域連携 地域の企業をオンラインでつないだ企業見学や、地域の施設・企業の協力による職場体験の実施、進路相談会の開催など、地域連携によるキャリア教育を実施した。 ○ 学校運営協議会を通じた地域連携 地域の方を講師として、グループに分かれて「せきてらすの若者利用を増やすためには？」をテーマに、オリジナルグッズ、チラシ、広報、イベント企画等を考え、アイデアを形にしていくなぎあいの探究活動を実施した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用した企業見学は、より実感できる内容への工夫など企業側の配慮があった。 ・地域で活躍する方が講師となって、継続した指導により、ものづくりへの姿勢や協働して作業を行う大切さを実感することができた。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来を決める段階の一つである高校卒業時の進路選択で、様々な情報発信や体験ができるようにしていることが分かり、すばらしいと感じた。 ・「関有知ジモト大学」は、生徒たちも興味をもって意欲的に参加できた。地域や様々な職業を知ること、スクール・ポリシーにある「よき地域社会人」を目指すことにつながる。

恵那農業高校 【園芸科学科、食品科学科、園芸デザイン科、環境科学科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 恵那市教育委員会との連携「えーな地元産！地産地消推進プロジェクト」 恵那市給食センターの指導のもと、地域の食材を活用した給食メニューを考案し、市内小学校に提供したほか、小学生に地域の食について講義をすることで食の大切さを伝えた。 ○ 地域連携「森と木と水の環境教育支援事業」 恵那市森林組合、東濃森林管理署等との連携により、学習活動として「山歩き学習会」、「枝打ち体験実習」、「間伐体験実習」を行い地域の自然・森林を守る人材育成の活動を行った。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習を通じ、地域の食材のよさを再確認するとともに、地産地消を推進することで地域の魅力発信につなげることができた。 ・環境保全活動、環境創造活動を通して地域を愛する意識の向上とともに、地域づくりの視点から、地域の魅力発信を更に進めていきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を掘り起こし、行政、企業等と連携した課題研究等の取組みはすばらしいと感じている。今後とも地域と共に歩む、学校、人材育成を期待する。 ・地域に根ざした人材育成に積極的に取り組み、地区で唯一の農業高校としての役割を果たしていることに感服する。ふるさと教育の成果が生徒の進路選択に有効につながることを期待する。

中津商業高校 【ビジネス科、ビジネス情報科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元企業との連携により菊芋を素材とした6次産業学習を実施 伝統野菜「菊芋」を素材とし、菊芋の植え付け、畑の除草などの1次産業（生産）、収穫した菊芋の調理や加工などを行う2次産業（加工）、商品のラベルデザインや販売するなどの3次産業（販売・サービス）を一括して学習する「6次産業学習」を実施した。 ○ 地元企業及び情報関連企業との三者連携により、地元企業のWebページ作成を実施 地元企業の生産現場の取材にもとづいた商品Webページを作成した。また、実際にショッピングサイトに掲載し、一か月間の販売も実施した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの地元特産品を使った商品開発の取組みに加え、生産・加工・販売の流れを学びながら商品開発をしていくという新しい取組みに発展させることができた。 ・地域企業や地域経済の活性化につながるような活動が、継続的な取組みとなるようにしていきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・最前線のことを取り入れて社会に貢献できる生徒を育ててほしい。 ・大学では、地域と連携しながら地域課題を解決するという取組みを行っている。高校生も巻き込んだ地域課題の解決をふるさと学習と結び付けて行えるとよい。

中津川工業高校 【機械科、電気科、建設工学科、電子機械科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ テクノボランティアの実施 地域の民生委員の方や市社会福祉協議会と連携し、独居老人宅の障子やふすま・網戸の張り替えを行った。また、地域のこども園に本棚・おもちゃ箱などの木工製品を製作して寄贈した。 ○ ものづくり教室の実施 えなしこどもフェスタ実行委員会や中津川市子ども科学館と連携し、幼児から小学生を対象にした、各学科の特徴を活かした「ものづくり」の楽しさを知ってもらうイベントを実施した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様々な年齢の方との交流を通して、生徒のコミュニケーション能力を育成することができた。また、やりがいや達成感を感じた生徒も多く、自己肯定感を高めることができた。 ・次年度以降も取組みを継続的に行うとともに、できる限り多くの生徒が関わることができるような仕組みづくりを考えていく。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・うさぎ小屋の贈呈式で女子生徒が多くいることを知り、工業高校に対するイメージが変わった。今後も、高校とこども園との関係が切れないようにしていきたい。 ・小学校の児童と一緒に活動するものづくり体験は、本校の魅力を知ってもらえるよい機会である。

吉城高校 【普通科（単位制）、理数科（単位制）】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校設定教科（ESD）の学校設定科目「地域課題探究A・B・C」による探究学習 地域の課題解決を探究する活動に、観光・文化・伝統・福祉などをテーマとして、学年を超えた12のグループを編成し、探究活動に取り組んだ。その成果を報告会で地域の方に発信した。 ○ 吉高地域キラメキ（YCK）プロジェクトの一環として「課外活動プログラム」の実施 絵本の読み聞かせ会や小学生向けのサイエンス教室、飛騨市長による地域課題ワークショップなど12のプログラムから、自分の興味・関心のある地域貢献活動に参加した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が課題を見つけ、昨年度より主体的に取り組むことができ、その課題解決のプロセスを学校内外に発信することができた。 ・プロジェクト報告会には、学校運営協議会委員も参加し、地域との様々な連携活動について理解を深めていただいた。より一層、地域の方の協力が得られることとなった。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・取組みは、すばらしいものであった。特に「課外活動プログラム」は、それぞれの課題意識、実践の深まりを感じ、コロナ禍の難しい状況の中でも着実に進化を遂げていることを実感した。 ・外部講師からの提案、課題、情報等をしっかりと捉え、それを自分ごととして実践している姿には感動した。

(3) グローバルな視点で課題を探究する高校

【関連事業】スーパーサイエンスハイスクール事業（SSH）

地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）

理数教育フラッグシップハイスクール事業（FSH）

事業対象校

スーパーサイエンスハイスクール事業（SSH）

恵那

地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）

岐阜北、長良、加納、岐阜商業、大垣北、関、可児、多治見北、斐太
理数教育フラッグシップハイスクール事業（FSH）

岐阜、岐山、岐阜農林、大垣東、吉城

地域の課題をグローバルな視点で捉え、課題を発見・解決する力を身に付け、国際舞台や地域で活躍できる人材を育成するため、選抜性の高い大学への進学希望者が多い高校等を指定し、大学や企業、海外の関係機関等と連携した質の高い教育カリキュラム等の研究・開発などを行った。

令和3年度の各校の主な取組みは以下のとおりである。

岐阜高校 【普通科（単位制）】 理数教育フラッグシップハイスクール事業（FSH）
主な取組み
<p>○ 理数系分野に関心を示す生徒に対して、専門的で高度な実験実習や研究を実施 企業研究者や、大学などの研究機関で最先端の分野で活躍する研究者を招き、実験や実習を通して高等学校で学ぶ内容を越えた高度な研究の一端を体験する講座を実施した。</p> <p>○ 各種学習会や研究大会・コンクール等に参加し、他校の高校生や研究者との交流を実施 「科学の甲子園」全国大会総合優勝を目指し、各種学習会を実施した。研究成果を各種研究発表会、学会（環境DNA学会、全国総合文化祭など）で発表し、高い外部評価を受けた。</p>
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・理数系分野に関する学習会や各種体験講座の実施、各種大会・コンクールへの参加によって、数多くの生徒が資質を磨き、研鑽することができた。 ・今後も、生徒のニーズに応じた、より高度な個別の学習ニーズに対応できるように「グローバルリーダー養成事業」等の様々な教育活動を一層充実させる。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・理系文系の枠にとらわれない教育活動が、生徒の進路実現に向けての多様性があると感じる。 ・IT教育のよさと対面教育のよさを上手く両立させた教育活動を行うことが、時代に残されることなく、豊かな心を身に付けた人間の育成につながる。 ・各取組みを更に充実させることで、更に生徒の各方面へのモチベーションを高めるとよい。

岐阜北高校 【普通科（単位制）】 地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岐阜の課題解決に向けた探究 1年生は、貧困、ジェンダー、産業、医療などの分野で、グループごとにリサーチクエストを設定し、岐阜の課題解決に向けた探究学習を実施した。関係機関へのアンケートやインタビューを実施し、その成果を発表した。 ○ 「G I F U Y O U T H M E E T I N G ～若者政策コンテスト～」の参加 2年生は、SDGsに関連した課題設定をし、探究学習を実施した。岐阜の政策をテーマにしたグループは、岐阜青年会議所主催「G I F U Y O U T H M E E T I N G ～若者政策コンテスト～」に参加し、政策に関する提案を発表した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域をテーマにした探究学習は、地域の魅力、課題などを新たに発見できる活動となっている。 ・探究学習が提案で終了となってしまっているため、その提案を行動につなげられるような活動にしていきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜の課題解決をテーマとした探究学習は社会に出てからも活きるもので、今後とも継続してほしい。 ・探究学習に大変意欲的によく取り組み、提案された内容についてもすばらしいものであった。

長良高校 【普通科】 地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学及び地元企業・NPOとの連携によるフィールドワークの実施 本校周辺の観光・産業スポットを実際に訪れることで、岐阜市の現状として観光業や産業の魅力を再発見するとともに課題となる問題点を確認し、検証したことをもとに、持続可能なまちづくりのためにはどうするべきかを考え、まとめたものを発表した。 ○ 大学教員、学生及び自治体の指導助言を踏まえた探究活動の実施 新たに気づいた課題について、大学教員等の助言を踏まえながら、課題の原因を究明し、効果的な解決策を考えて、英語で発表した。大学等の有識者から、その妥当性等の評価を得た。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・物事を順序だてて考える思考力が身に付くとともに、発表会を通して発信力だけでなく質問する力も身に付けることができた。 ・探究活動のための探究となっているため生徒の動機づけが難しい。企業や自治体と連携した事業となっていないため、実際に社会に還元できる探究活動となるよう工夫したい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が未来をたくましく切り拓く力として、課題発見からの主体的な取り組みは有意義である。 ・本校が目指す、グローバル化に対応するための英語によるコミュニケーション能力を養うよい機会となっているため、継続してほしい。

岐山高校 【普通科、理数科】 理数教育フラッグシップハイスクール事業（FSH）
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ データ分析をもとにした、地域の課題について学ぶ探究学習の実施 地域経済分析システム（RESAS）を使い、様々なデータを利用する方法について学んだ。データ分析の中で、地域をよりよくしていくための方法を探究し、レポートにまとめた。 ○ 「濃尾地震（根尾谷断層）と伊吹山」をテーマにした野外実習の実施 岐阜県博物館から講師を招き、濃尾地震や防災に関するオンライン講演会を実施した。また、地震断層観察館・体験館と伊吹山における観察・実習を通して直接自然に触れることにより、正しい自然観を身に付け、科学的に思考する方法を学んだ。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習や野外実習を含めた探究活動を通して、実地・実物とデータの双方から岐阜県の魅力や課題を知ることができた。データ分析をもとにした探究学習では、他都市との比較の中で、グループ交流やレポート作成を通して、課題解決能力を身に付けた。 ・今後は、データ分析をもとにした岐阜県の魅力の発信や、環境問題や防災・減災などの分野で科学的な見方を生かして地域への提案ができるようにしていきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・普通科、理数科において行われている特色的な取り組みを、ホームページも含めより広報していけるとよい。各学年の取り組みが、次の学年へ発展的につながっていくとよい。

加納高校 【普通科、音楽科、美術科】 地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）	
主な取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元企業及び自治体とともに地域社会の発展を目指す「社会提言活動」の実施 「地域経済」「観光」「食品ロス」「子育て」「ジェンダー」「高齢化」「伝統文化」等をテーマに、地元の企業や自治体の現状や取組を調査・分析し、その解決に向けた提言を行った。 ○ 地域の「謎」の解明を行う「地域探究活動」の実施 「岐阜の方言」や「岐阜城の謎」等をテーマに、自らが抱いた疑問について、現地調査やアンケート調査等を行った。調査にあたっては、言語学や歴史学に詳しい大学教授に助言を得た。 	
成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から、STEAM教育の視点をもって探究的な学びに取り組んだ。 ・探究活動を通じ、課題発見・分析・発案・判断する「課題解決能力」を伸ばすことができた。 ・地域の問題や疑問を調べる中で、地域のよさを再確認することができた。 ・今後は地元の企業や自治体、中学校等に本校の取組みを発信したい。 	
学校運営協議会等の外部の方からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・課題を体系的に設定しており、思考力の育成や探究心の醸成を図っている。個人やグループで、科学的方法を用いて課題解決を進め、自己実現が達成できるような指導が行われている。 ・岐阜への興味を高め知識を増やすという利点もあり、現状分析からプレゼンテーションの場につなげていく一連の思考や方法が、将来に生かせる大切なスキルだと思う。 	
岐阜商業高校 【流通ビジネス科、ビジネス情報科、会計科、グローバルビジネス科】 地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）	
主な取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 訪日教育旅行誘致による地域活性化事業 インバウンドを岐阜に誘客し、岐阜での観光消費額を増加させるとともに、岐阜の街の活性化を図るため、地域体験型農園、旅行会社と連携して、商品開発や観光プランを企画した。 ○ スポーツビジネスによる地域活性化 岐阜に拠点を置くプロスポーツチームと連携し、スポーツビジネスの歴史、現状を考察するとともに、スポーツビジネスを通じた地方創生について探究活動を行った。 	
成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域観光体験農園と連携し、訪日教育旅行のプラン作成を通して岐阜の魅力を再確認するとともに、インバウンド回復時に向け準備することができた。 ・スポーツビジネスとSDGsの探究を通して、スポンサー企業とクラブチームの在り方について企業に提案することができた。 	
学校運営協議会等の外部の方からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド回復時に向け、地域と連携したすばらしい取組みである。地域観光業、自治体とさらなる連携を期待している。 ・スポーツが盛んな学校の特色を生かし、SDGsを考慮した地域のプロスポーツとの連携が実施されており、今後の展開が楽しみである。 	
岐阜農林高校 【動物科学科、園芸科学科、食品科学科、流通科学科、生物工学科、森林科学科、環境科学科】 理数教育フラッグシップハイスクール事業（FSH）	
主な取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域や小学校と環境学習会の実施 生きものに興味をもち、生きものを守り、また生きものが成育できる豊かな環境を創造できるよう、地域や地域小学校の児童と環境学習会を実施した。町の広報誌へのコラム掲載や小学校用の環境学習用教科書の作成などの活動を行った。 ○ 土壌小動物による糸状菌摂食の取組み 土壌小動物による地球温暖化を引き起こす亜酸化窒素排出の抑制について、岐阜市の枝豆生産者と本巣市の富有柿生産者と取り組み、地域に密接した研究活動を行った。 	
成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に参加してもらえるイベントの開催ができた。この活動を一過性のものにせず、継続して実施していきたい。環境学習用教科書作成により、活動を地域に還元することができた。 ・研究活動を地域の生産者とともに協働して実施できた。今後は研究を更に深化させ、広く地域へ普及していきたい。 	
学校運営協議会等の外部の方からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域や地域小学校と連携し、更に広報誌へのコラム掲載や環境学習用教科書作成など、地域と広く活動できており、継続的に取り組んでもらいたい。 ・地域の特産物の生産技術向上に一役かっている技術を地域へ普及してもらいたい。 	

大垣北高校 【普通科】 地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元企業との連携による大垣と世界をつなぐ探究学習の実施 地元企業の海外出身社員による講演を実施し、地元大垣と東南アジア（ベトナム）をつなぐ事業について理解を深めた。国際開発分野を探究した生徒は、その後の論文作成につなげた。 ○ 高山市役所と連携したフィールドワークの実施 高山市の観光・歴史・教育・医療分野のフィールドワークを、高山市役所の支援のもと、実施した。現地で、高山市役所職員、地域商店街の方に調査を行い、現状分析、報告書の作成を行った。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・探究の各分野の専門家による講演会等の実施は、生徒の理解を深め、探究活動の充実につながった。 ・高山市を対象としたフィールドワークを地元大垣の課題発見探究活動につなげていくことが来年度の課題であり、本校の強みを活かしていきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での取り組みが実施されているため、例年に比べると論文の進み具合に課題が残る。各自が家庭でも進めていくことができるよう、土台となる知識・手法が必要である。 ・地元大垣市とタイアップした取り組みをぜひ展開してほしい。

大垣東高校 【普通科、理数科】 理数教育フラッグシップハイスクール事業（FSH）
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 海津市、大学と連携した清水池に生息するハリヨに関する学習と調査 理数科1年生が、大学教授のハリヨに関する講義を聞き、海津市の清水池において、フィールドワークを行った。さらに、研究班が清水池のハリヨに関する様々な調査を実施し、そのデータを海津市教育委員会に提供した。 ○ 核融合科学研究所における研修 理数科2年生が、土岐市にある核融合科学研究所において、核融合発電に関する講義を受け、施設を見学した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然を教材とした学習や調査活動を行うことで、自然科学を身近に感じるとともに、自分たちの住む地域の特色を体験的に学ぶことができた。 ・県内にある最先端の研究施設を訪れ、学習をすることで、最先端の研究に対する興味、関心を高めることができた。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・これらの取り組みは、学校を特色付ける行事の一つとなっているので、ぜひ継続してもらいたい。 ・外部団体との連携に積極的であることは評価できる。地元の企業と連携した学習を通して、ふるさとを大切に作る気持ちの醸成につながっている。生徒にとって有意義な連携としてほしい。

関高校 【普通科（単位制）】 地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域（自治体・NPO・企業等）と連携した課題解決型研究を実施 1年生は「SDGsとまちづくり」、2年生は「くらし・いのち・きずなとSDGs」をテーマに課題解決型研究を行った。研究成果を口頭発表用スライドや掲示用ポスターにまとめた。 ○ 地域（自治体・NPO・企業等）と連携した社会貢献活動を実施 地域農産品を生かした商品開発、歴史遺産を生かした観光ツアーの提案、中学生を対象とした模擬国連会議の開催など、自治体や企業、地域住民と連携した活動を、生徒主体で行った。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・学校ウェブサイトやSNS、新聞報道、自治体広報等に活動を発信することで、地域連携の輪が広がり、活動内容を深めることにつながった。 ・コロナ禍の中でも十分な感染症対策を行ったうえで、実りある活動となるよう、関係機関等と連携して進めていきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・従来型の知識を習得する教育に加え、得た知識を知恵に変えられる教育を、授業や探究活動を通して実践することが重要である。 ・関高校がこれまで推進してきた探究活動は、次世代のリーダー育成に向けた有効な手段であり今後も継続が望まれる。

可児高校 【普通科】 地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域や世界で活躍する大人との対話講座「夏のオープンエンリッチ」の実施 キャリアに直結する業界講座（起業、プログラミング、保険取扱業、看護、介護）や本校職員のJICA（青年海外協力隊）講座、海外大学進学等、合計16講座を開講し、生徒個々の興味関心に応じて2講座を受講した。 ○ 一般社団法人との協業の開始 一般社団法人One Young World Japanと連携し、探究学習有志「エンリッチコアメンバー」が指導を受けた。校内模擬選挙を実施し、その成果を可児市高校生議会で発表した。
成果と課題
・学年単位での「総合的な探究の時間」実施に向け、探究学習・Project Based Learningの手法や評価について学ぶことができた。また、その成果を活用し、可児市議会へ提言書を提出することができた。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味関心に応じて選択できることがよい。今後の内容の充実を図るために、地域企業との連携等を深め、大学進学後の人材還流に貢献してほしい。 ・日頃の学習活動や部活動がある中で社会課題に関心をもち、取り組む姿勢が非常によかった。グループ探究より生徒個々の将来にもとづいたプロジェクト内容であった方が実利的ではないか。

多治見北高校 【普通科】 地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生の多治見研究と1・2年生多治見研究合同発表会 多治見についての知識を増やし、理解を深めることで、他の地域と比較・検討できる土台を作る多治見研究を行った。1・2年生合同のオンライン発表会を開催し、優秀な研究を行った4グループが発表した。 ○ 多治見修道院について学ぶ 多治見修道院の聖堂内部を見学し、直接、神父から歴史や地域との関わりについて話を聞き、地域に対する理解を深める機会を設けた。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・自分で興味のあることを見つけ、それについて探究し、人前で発表するという貴重な経験ができた。と前向きにとらえる生徒が多かった。 ・もっと多くの外部連携先を見つけたり、フィールドワークを活発に行えたりできるとよい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・多治見研究を通して、グループ単位で課題を設定し、自分たちで調べ、発表するという機会を設けているのはとてもよい。 ・発表する生徒が自らプレゼンテーションを作成し、フィードバックをもらいながらよりよくしていこうという機会があるのはすばらしい。

恵那高校 【普通科（単位制）、理数科（単位制）】 スーパーサイエンスハイスクール事業（SSH）
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域社会人の育成を目指す「恵那田舎塾」の実施 地域社会人の育成を目的に、卒業生等とオンラインで交流を図る「恵那田舎塾」を4回実施した。あわせて、起業家等を招いた講座、工場見学等も実施した。 ○ 総合探究「地域課題に取り組もう」 2年生普通科が11のゼミに分かれて、地域の方を講師に招き、それぞれの仕事の中での課題を聞いた。その課題の解決方法を考えるグループ活動を行い、その成果を講師に発表した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を発見し、解決していく手法を探し出していく経験ができる環境づくりに励んでおり、今年度は、地域の方と触れ合う機会を多く創り出すことができた。 ・今後は、地域の方と触れ合う企画に、生徒が主体的に参加し、自ら新たな課題を発見し、自分の進みたい道に更に邁進していけるようになることが望ましい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・単に大学進学を目指すのみでなく、ふるさと学習を通して、生徒が自分自身の生き方を含めたあるべき姿を見定める貴重な機会となっている。 ・将来、地域に戻るとしても、グローバルに活躍するとしても、高校時代にふるさととの多様な方と触れ合うことで、ふるさとと関わっていく心を育んでいると考えられる。

斐太高校 【普通科（単位制）】	地域共創フラッグシップハイスクール事業（FRH）
主な取組み	
○ 地域の魅力、課題を発見し、その解決策を提案する地域活性化プログラムを実施 観光、医療等の様々な分野での地域の課題について、社会人講話、アンケート調査、市役所等へのインタビューを通して探究し、具体的な解決策を提案した。	
○ 高校生の視点から中部山岳国立公園活性化の提言を実施 飛騨高山大学連携センターの協力のもと、高校生の視点から中部山岳国立公園の活性化に向けた具体的な提言を行い、学会で発表した。活性化の具現化に向けて進めることができた。	
成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習を通して、当事者意識をもって地域を見る視点を養うことができた。 ・社会人基礎力の「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」をみることができた。 ・自らを育んでくれた故郷に誇りと愛着をもち、この地域の未来がどうあるべきなのかを考えるきっかけとなった。 	
学校運営協議会等の外部の方からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・成果発表は新鮮な話題、興味深い内容であった。自分の高校時代では考えられないほど、地域のことを考えているのだと感激した。 ・中部山岳国立公園及び周辺地域を地域の高校生の視点で調査したこと、普及促進に関する提案に感動した。高山市の豊かな自然は大きな魅力であり、自信をもってPRしてほしい。 	

(4) 地域に密着した課題を探究する高校

【関連事業】地域課題探究型学習推進事業

事業対象校

羽島北、各務原、各務原西、本巣松陽、羽島、大垣南、大垣西、郡上、武義、加茂、多治見、中津、益田清風

これまで、地域との連携が十分ではなかった普通科高校において、地元の自治体や高等教育機関、企業等との協働により、生徒が地域の魅力を知り、地域に密着した課題を発見・解決する探究的な学びを実施した。

令和3年度の各校の主な取組みは以下のとおりである。

羽島北高校 【普通科（単位制）】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生での探究スキルの学習 探究学習のガイダンスの後、アイデア出しやプレゼンテーションなど探究のスキルを学んだ。また、大学にて、地域課題の見つけ方や解決方法の考え方を学ぶリーダー研修を実施した。 ○ 2年生での「住み続けたいまちづくり」の探究 クラス内でグループをつくり、自分たちが住んでいるまちの課題を、地域経済分析システム（RESAS）を用いて調べた。そして、その課題を解決している団体をさがし、自分たちの町との違いやその方策を、タブレットを用いてまとめた。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習を行うことで、地域のよさや改善できるところに気づくきっかけになった。 ・気づきの中から次のテーマを見つけ、自分の興味関心や進路と結びつけた探究を行い、将来的には地域で活躍できる人材となることを期待したい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・探究のスキルを身に付けることは社会人では必須であり、高校生のうちからそれを学べるのはよい取組みである。 ・「住み続けたいまちづくり」は、まさに地域に密接に関わる課題であり、その成果はぜひ地域の人に見てもらいたい形にしてほしい。

各務原高校 【普通科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域をフィールドとした課題に対する探究の実施 2年生が地域をフィールドとした12のテーマを設定し、地域のアドバイザーの支援を受けて探究活動に取り組んだ。まとめとして「各務原市のガイドブック」を作成し、成果を発表した。 ○ 「ふるさと教育（地域課題探究型学習）」の導入講演の実施 1年生を対象に、地域の方を講師とした講演会を実施した。それぞれ造詣の深い12の分野について話を聞き、2年生で行う探究活動のテーマ選択を主体的に行えるように工夫をした。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・2年生は全ての班がパワーポイントを用いて研究をまとめ、クラス内で発表することができた。また、作成したガイドブックを、各務原市内の小学校に配付することができた。 ・生徒対象のアンケート結果から、「地域の魅力や課題を知ることができた」「探究のプロセスを身に付けることができた」という点について肯定的な意見が多かった。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用しながら現地を歩き、史跡等について主体的に学ぼうとする姿に感銘を受けた。 ・多くの生徒たちが興味をもって話を聞いてくれた。2年生には決定した探究テーマに対し、意欲的に取り組むことを期待する。

各務原西高校 【普通科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学教授等外部講師の指導・助言による地域課題探究と社会人講話を実施 大学教授等の外部講師を招き、「身近な地域課題探究」についての講演・講義・ワークショップを実施した。また、岐阜で活躍する様々な職種の社会人講話を実施し、職業観を育成した。 ○ 各務原市職員と地域課題探究学習を実施 各務原市役所の9担当課へ現状と課題について資料提供を依頼し、そこから課題を探り、解決策を考える課題探究学習に取り組んだ。解決策を提案し、市役所の各課から助言等を受けた。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は身近な課題探究について、2年生は地元市役所の行政について、課題解決策を連続させた探究活動を実施することができた。 ・地域課題探究により出されたアイデア等について、現段階では意見交流で留まっているため、今後は実際に地域の中で生かしていく方策を考えていく。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の過程を通して、自分の考えや課題が更新され、新しい気づきとなった。また地域で活躍されている多種多様な外部講師による講演会が実施され、視野が広がった。 ・市役所の方の話を聞くことができ、地域に対する愛着につながった。「ふるさと教育」は身近なものがテーマとなっており、生徒の関心やモチベーションが上がりやすい。

本巣松陽高校 【普通科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 提案型地域課題探究活動の実施 グループで地域課題をテーマに設定し、原因仮説を立て、アンケートや現地調査等をもとに論理的に考察し、高校生として「私たちができること」を探究した。 ○ 「高校生のわたしたちができること」を考える講演会 外部講師を招き、具体的な活動内容等から、高校生ボランティアとして活動できることは何かを考え、地域課題への興味・関心、探究活動を行動へ向ける意欲の涵養を図った。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・仮説が否定されることにより、新たな発見や多面的な物事の見方の必要性を実感するなど、探究的な学びの深まりが見られたグループもあった。 ・ICTを活用したポスターの作成、分散会場でのポスター発表などコロナ禍での活動や発表を検討・実施したが、ICT活用スキル、対面に比べて学び合いの深まりに課題が見られた。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・課題を前提に始めなくても、地域のよさを見つめることや、地域の方との会話から始めることで、より当事者としての意識が生まれ、主体的な取り組みになるのではないかと。 ・高校生の私たちができるとして考えていくことはよい。当事者意識をもった上で地域協働を望むのであれば、地域としての資源は多くある。ぜひ活用してほしい。

羽島高校 【普通科】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元和菓子屋及びアクアトト・ぎふとの三者連携による新商品の開発 地元和菓子屋やアクアトト・ぎふと連携し、絶滅危惧種であるイタセンパラをモチーフにした和菓子を考案し、新商品を開発した。また、商品に押す焼き印や包装紙もデザインした。 ○ 地域課題探究型学習講演会の開催 ふるさとの魅力を知り、地元羽島市の歴史について認識を深め、未来について考えることをテーマに外部講師を招いて講演会を開催した。今後の地域活動を考えるよい機会となった。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の協力により、生徒がふるさとについて考えるよい機会となった。新商品の開発については、形に残るものとなり、成果をあげることができた。 ・地域の方にイタセンパラを知ってもらい、イタセンパラの環境保護や地域活動を考えるきっかけとなるように、商品を通して広報をしていきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・商品に押す焼き印や包装紙に高校生の作品が採用されたことがよかった。新商品が販売される時はアピールをして盛り上げて欲しい。 ・講演会は、生徒がふるさとの関わりについて考えるよいヒントになったと思う。若者が何らかの形で地域に関わり、地域の在り方が向上することを願っている。

大垣南高校 【普通科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部講師による講演会の実施 地元岐阜県の企業または大学で活躍する社会人を講師に招き、多様なテーマの講演を聴く活動を行った。「企業が求める人材と地域貢献」や「海外の人への岐阜県の魅力発信と岐阜県型SDGs」などのテーマは特に反響が大きかった。 ○ ふるさと教育アドバイザーとともに地域課題探究活動 地域医療、防災、町おこし、IT関係、交通、地元企業、メカニック/通信、環境の8分野における地域課題を探究し、グループ発表を行った。各分野にアドバイザーを招き、専門的な知識や現状の課題などについて助言を得た。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・グループで作成したプレゼンテーションを使い、論理的に発表することができた。 ・外部講師への依頼やアポイントメントの業務を分担して、職員の負担を軽減したい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材から聞く話は説得力があり、生徒の意識を変化させるためにも必要である。 ・生徒が社会の変化を読み解きながら、自らの関心や適性を知り、社会貢献への志をもち、自ら考えて決断するプロセスを大切にしてほしい。 ・グループでの発表はよい経験になった。今後このような活動を増やしてほしい。

大垣西高校 【普通科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域課題探究講演会の実施 1年生では、地元大学や市役所から講師を招き、大垣市の課題やその解決への取り組みについて聞き、地域への関心を育んだ。2年生では、このことをもとにして、探究活動を展開した。 ○ ICTを活用した地域課題を解決する探究活動の実施 地域の課題を分析することを通して、グループで問いを設定し、その回答を探るために、施設や店舗などにインタビューやICTを活用したアンケートを実施した。また、成果発表会におけるプレゼンテーションでは、聞き手にわかりやすい方法を各グループで工夫して発表を行うことができた。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動を通して、大垣市の魅力を学び、ICTを用いて効果的な発表を目指すことができた。 ・時間がない中での探究活動であったが、当初に設定した問いと、最後に導き出した結論がずれているグループがみられた。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決について、そこに暮らす生徒自身に高い関心をもってほしい。 ・もう少し街歩きをするなどし、どのように課題を解決していくのかという方向性やプロセスまで考えられるとよかった。

郡上高校 【普通科（単位制）、総合農業学科群（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の店舗及び社団法人等との協働による、地域活性化を目指した探究の実施 店舗改装する2店舗のカフェと連携し、看板のロゴデザイン製作や新メニューの開発を行った。また、川遊びが盛んであるため、危険箇所を示した川遊びマップを青年会議所と製作した。 ○ 他者、社会・世界に目を向け、広い視野をもった課題解決への取り組みの実施 「SDGs de 地方創生カードゲーム」を活用し、仮想の町の成長を目指したゲームを通して、協力して取り組むことと対話の重要性を学ぶ取り組みや振り返りを実施した。グループでの探究が自分側からの視点のみに偏らないように、他者や地域社会のニーズに目を向ける取り組みとした。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちの提案が実際に形となっていくことは、意欲の向上や達成感につながった。 ・カードゲームは、探究が行き詰っていたグループにとっては、新たな視点や広い視野で自分たちのテーマや探究を見直す機会となった。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は、探究の基礎を学ぶプログラムに軌道修正し個人研究を進めたが、探究の面白さを経験させることにおおよそ成功したと感じる。 ・地域の多くの方との対話を体験できていない。多様な人との出会いや協働はキャリア教育においても重要である。オンラインなども活用しながら、交流できる機会の実現を望みたい。

武義高校 【普通科（単位制）、ビジネス情報科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元企業を知り地域社会人として「ふるさと岐阜」で活躍できる探究学習の実施 地元で活躍する企業、本校の卒業生が活躍する企業をオンラインで紹介し、働く姿や生の声を見聞きすることで多くの業種や職種があり様々な働き方があることを知ることができた。 ○ SDGsを知る講習会の実施 外部講師によるSDGsに関する講演会を開催した。ふるさと教育で挙げている様々な課題とSDGsに共通点があり、地域課題に取り組むことが、県や国、世界の課題に取り組むことにもつながることを認識できた。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習を通して、地域の産業や企業そしてそこで活躍する卒業生の姿や声を聴くことで将来の自分の姿が想像でき、今後の進学先等の参考にすることができた。 ・今年度は講演会もしくはオンラインでの探究活動が主となり、実際に地域に出かけて、素材や情報の収集ができなかった。実際に自分の目で見て、感じる機会を工夫したい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・「学校で教えること」以外の、「生徒が学べる機会の提供」と「実践的実務の経験」が必要である。 ・生徒には自分の家族の将来像をイメージして、少子高齢化、人口減少が急速に進む地域の課題を自らのこととして考え、更なる探究を期待する。

加茂高校 【普通科、理数科】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で活躍する大人による、生徒の興味を広げ深める探究学習を実施 生徒一人一人の興味・関心や進路希望に応じて、地域で活躍する人に、各自の疑問等を意見交換し合う「地域の大人と語る会」を実施し、地域の未来を考え提案しようとする意識を高めた。 ○ 地域の魅力や課題を発見し、提案しようとする探究学習を実施 「地域の大人と語る会」で感じ取った内容について、ペアインタビュー形式で語り合うことにより、他者の意見も聞くことで、より深い内容での探究学習を実施することができた。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・身近なところで活躍する魅力的な人たちが真摯に高校生に向き合い、語り掛け、質問に答えていただく姿を通して、地域の豊かさを再発見し、将来の進路について意識を高めた。 ・まちづくりの一端に参加できるよう、地域課題の発見、解決を目指して活動するとともに、市役所等にアイデアを提案して評価いただき、地域との連携による本校の魅力を発信したい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒司会の「地域の大人と語る会」は、事前の講師との綿密な打合せにより、会の導入が違和感なく進んだことで、中身の濃い充実した時間となった。 ・活発な意見交換ができており、これを外に向けてアウトプットする状況ができると、地域との交流が更に発展していくのではないかと。

多治見高校 【普通科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域まちづくり株式会社と連携し、地元商店街でイベントを実施 地元商店街での調査・活動を通して、商店街を活性化するために必要なものを検証し、ファミリー層をターゲットにしたイベントを企画・運営した。 ○ 地域の小学校と連携した、高校生による英語の授業の実践 小学校での授業実践をするため、小学校の英語の教科書を用いて単元の題材を研究し、活動の目標を明確にした具体的な活動を考え、実際に授業者となって実践した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の店舗に生徒が自ら取材をする、交渉に行く、宣伝をするといった活動を通して、生徒のコミュニケーション能力の向上がみられた。 ・年度ごとの単発的な企画ではなく、継続事業として商店街との連携が必要である。 ・活動を通して、幼児教育や小・中学校及び高校教育に関心のある生徒が自身の進路についてより深く具体的に考えることができた。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・地域や商店街を活性化するために必要なものについて、大人では思いつかない高校生らしいアイデアは大変参考になった。 ・小高が連携した活動を通して、教職を志望する高校生が育つことを期待している。

中津高校 【普通科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合的な探究の時間」で地域人材をゲストティーチャーとして活用 1・2年生合同の「地域×SDGs」プロジェクトに、多様な地域課題に取り組む地域人材13名を講師に招き、全3回に渡り、探究活動やプレゼンテーションの助言を得た。 ○ 2年生「総合的な探究の時間」における「SDGs探究学習発表会」の実施 SDGsの分野でゼミを分け、日本における課題をテーマに各自が探究内容に設定した。発表は、弁論大会から変更し、タブレットを活用したプレゼンテーション形式で実施した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・「地域×SDGs」プロジェクトを通し、生徒の地域への関心度が高まった。またこれを機会とし、学校外での活動に広がり、一部の生徒は活動を継続している。 ・データ活用については、インターネットに頼るだけでなく、自分で現場に足を運び得られるデータも活用できるようにしたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生が地元の企業と繋がり、双方から提案できるような関係性を築くことができると企業としてもありがたい。 ・「中津川東地区まちづくり協議会」に探究ゼミの生徒が関わり、活動の広がりが予想されるため、今後も連携していきたい。

益田清風高校 【普通科（単位制）、ビジネス情報科（単位制）、総合学科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の特徴をとらえた課題探究活動の深化 各専門分野の最前線にいる地域の方から、地域が直面している5つの課題を聞き、それらの課題解決に向けた探究活動を実施した。地域の特徴を活かした解決策を示すことができた。 ○ 生徒の関わる地域「ふるさと」（地域研究）、生徒の関わる「未来」（進路）の探究 地域研究と進路を探究し、小論文による発表を行った。ふるさとを深く見つめなおす先には、自身の進路とも深くつながることを認識し、将来の自身の在り方について考える取り組みとなった。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの有効活用や情報技術の向上で分かりやすい成果発表が増えた。一方で、視線や声量、身振りなどの、聞く人に訴える力はまだまだ練習が必要である。 ・幼い頃からなじみのある地域を再び見直すことで、自身の進路につながる発見をする生徒が更に増えることを今後の大きな課題としたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・発表だけでなく、テーマに対してのディベートを行ったり、バズセッションを用いたりして、色々な考えやアイデアをたくさん出すような会議にも挑戦してほしい。 ・アンケート調査や、自分の足で歩いて写真を撮るなど、多くのデータを集め、分析したうえで提案をまとめた。そうした作業は、仮説の裏付けとなり、提案の説得力を増すことにつながる。

（５）地域の企業等と連携した専門高校等

【関連事業】地域との協働による高校教育改革推進事業

地域産業の担い手育成総合戦略事業

事業対象校

地域との協働による高校教育改革推進事業

岐阜工業

地域産業の担い手育成総合戦略事業

岐阜総合、岐阜城北、岐阜商業、岐阜工業、岐阜各務野、大垣養老、大垣商業、大垣工業、大垣桜、郡上、武義、加茂農林、東濃実業、可児工業、多治見工業、土岐商業、中津商業、中津川工業、益田清風、飛騨高山

生徒が自己の能力・適正について理解を深め、将来の自己実現に向け効果的なキャリア教育を推進するため、地域創生の担い手となる人材の育成も見据えながら、産業界と連携したインターンシップ、産業界と連携した実践的な職業教育、グローバルな視野をもつ専門高校生の育成などの取組みを展開した。

令和３年度の各校の主な取組みは以下のとおりである。

岐阜総合学園高校 【総合学科（単位制）】
主な取組み ○ 地元企業との連携による、地元産原料を使用した商品開発 近隣の製菓メーカーの指導を受けながら、商品開発、市場調査、販売ターゲットの設定、価格設定、商品名提案、商品ラベルのデザイン、キャッチコピー作成、ネーミング等、実際の企業活動について学びながら、商品開発を行った。 ○ 地元企業指導による金型の作成 地元の金型企業の技術指導の下、複雑な形状を加工するために高校には整備されていない最新の設備を使い、３次元加工方法の手ほどきを受けて、生徒がイメージした作品を製作した。
成果と課題 ・探究的な取組みを通して製品を作った感激は大きく、更に興味を深めることができた。また、企業で働くことを、現場での作業を通して体験できた。 ・企業のもつ高い技術力に触れ、ものづくりへの興味関心を深めるとともに、高度な技術にもとづく作品の完成度に充実感を得ることができた。
学校運営協議会等の外部の方からの意見 ・総合学科の特徴を最大限発揮した、未来の日本を担う生徒の育成に尽力してほしい。 ・本校のよき伝統を生徒に伝え、継承し、母校愛、誇りのもてる子どもたちを育成してほしい。 ・社会性を身に付ける、大人としての心構えをもつ、進路実現に向けて邁進できる生徒を応援する体制を継続してほしい。

岐阜城北高校 【生活デザイン科、総合学科（単位制）】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元特産品を使った「新商品開発プロジェクト」を実施 山県市商工会等と連携しながら、山県市の特産品を使った商品を生徒が考案し、商品化した。パッケージや商品ラベルも考案し、「城北Co-Market（販売実習）」で販売した。 ○ 「ふるさとを知る～地域の魅力発見～」をテーマに地域の魅力を紹介する学習を実施 子どもたちとその家族が外で遊ぶのに利用できそうな地元の公園や施設等を紹介する「子育て外遊びマップ」を制作した。公園などを撮影し、その動画を閲覧するQRコードを掲載した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・商品の開発を通して、地場産業や地域の特産品について学ぶことができた。また、販売を通して地域住民と交流を図ることができ、地域のよさを改めて感じる機会とすることができた。 ・今後は地域が抱える課題を発見し、IT技術等を使って解決したり、地域中学生とともに解決する方法を模索したりするなど、地域との関わりを深める取り組みを実践したい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・三田洞地区は高齢者率が高く、災害時の対応等、課題が多い。地域と学校の結束が深まれば、もっとよい地域になるのではないかな。 ・総合学科・専門学科ならではの特性を生かし、生徒自らの考えで、失敗を恐れず、積極的に行動する中で多くを学んでほしい。

岐南工業高校 【機械科、自動車科、電気科、電子科、建築科、土木科】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業や大学を招いた全校課題研究発表会の実施 総合的な探究の時間に、学科の特色を活かした作品製作に取り組んだ。研究成果のプレゼンテーションでは、内定先企業や進学先大学の方を審査員として招き、作品の動作実演を交えた研究成果を発表した。 ○ 岐阜科学塾「テクノスクール」の開催 岐阜市教育委員会との連携による「中高連携サイエンスアビリティアップ・プロジェクト」として、学科の特色を活かした機械、電気、土木・建築の3コースの講座を実施した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究を通して、協働や相互理解、生徒の技術力や創造力を発展向上させることができた。全校発表会によって、学科の枠を超えた有意義な学習機会となった。 ・テクノスクールにより、ものづくりの基礎基本を体験的に楽しく学習できる機会を創出した。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・全校課題研究発表会にて、就職内定をした生徒の学校での様子やものづくりでの活躍を知った。発表を通して得た経験を、就職先企業でも発揮して、活躍されることを期待している。 ・高校生が先生役となって、学校や学科のPRを含めたものづくり指導を中学生に行う「テクノスクール」は大変よい取り組みである。

岐阜各務野高校 【ビジネス科、情報科、福祉科】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各務原市の特産品「にんじん」を使用した商品開発 選別で不合格となったにんじんを使用した商品を考案し、協力飲食店の方にプレゼンテーションを行った。「タルト de キャロット」として商品化し、マルシェにて販売を行った ○ マルシェにてイベントを実施 マルシェで地域の方同士が交流を深めるイベントを企画し実施した。宣伝活動としてチラシを作成し、地域の回覧板で回覧した。CM動画も制作し、当日、大型スクリーンに投影した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・にんじんを使用したタルトはお客様の興味を引くのに十分であり、想定以上のスピードで販売することができ、売上目標も達成することができた。 ・イベント活動は、老若男女多くの方に楽しんでもらうことを狙いとしたが、子どもの参加率が最も高くなり、年齢バランスがとれた活動とはならなかった。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・「タルト de キャロット」は興味深い商品となっており、お客様の反応もよかったようだ。企画段階だけでなく、実際に作ることに生徒が参加できるとよりよかったと思う。 ・イベント活動は、多くの方の交流の場となり、目的は達成されたと思われる。高齢者向けのイベントにあまり参加していただけなかった原因を追究して、次の機会に生かしてもらいたい。

岐阜工業高校 【航空・機械工学科群、電気・電子工学科群、建設・デザイン工学科群、化学・設備工学科群】 地域との協働による高校教育改革推進事業
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域資源を用いた、地域産業の担い手となるテクノロジスト育成プログラムの実施 県の成長・雇用戦略を踏まえた担い手を育成するため、地域の企業の技術者による指導、大学・企業との共同研究、県の研究機関や大学施設を利用した分野横断的な取組みを実施した。 ○ 「ブース運営型」生徒研究発表会の実施 ブース型の発表会は、個々のお客様に最適な言葉を選んで説明できる大変貴重な場となっており、生徒が試行錯誤を繰り返しながら対応することで、成長が実感できる機会となった。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ポストコロナを意識したものづくりを個々の生徒が、適応能力を磨きながら実践できた。 ・指示待ちからの脱却とコロナ禍だからこそコミュニケーション能力を、全校生徒がどのフェーズで身に付けるか、個別最適化を重視したカリキュラムの構築が急務である。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の生徒が、積極的に課題に取り組もうとする姿勢を感じ取った。受け入れ側の企業としては、彼らの探究心に応えられるよう努めたい。 ・各々の取組みを社会活動及び地域活動に反映させたい旨の内容は伝わった。自分たちだけでなく自治体等にも活動内容を伝えて、どう反映させていくのか具体的な方向性を見出せるようになると取組みもより具体的になる。

大垣養老高校 【食の農学科群、緑の農学科群、総合学科（単位制）】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 美濃柴犬の保存と普及 地域の希少種である「美濃柴犬」の雌を飼育し、繁殖に取り組んだ。発情観察や体温だけでなく糞尿中のホルモン値の測定も行い、交配のメカニズムを学んだ。美濃柴犬保存会との連携で複数頭の新しい命が生まれ、仔犬の譲渡や動物取扱業の業務遂行に関わる活動も展開できた。 ○ 本校創立100周年記念事業として取り組んだ清酒プロジェクト 本校水田で栽培・収穫した酒米「ひだほまれ」を地域酒造会社で仕込んだ。清酒造りの各工程に生徒が参加し、仕込みから瓶詰・ラベル貼り・包装まで行い、100周年記念酒として振舞った。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用に向けて生徒が主体となって各テーマに取り組み、成果を上げることができた。 ・農業科での学科間連携だけではなく、総合学科と連携した取組みが前進し、成果を上げることができた。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発表や学校の自己評価資料を見て、学校の取組みがよく分かった。地域だけでなく専門（企業・大学）の方からも協力を得ていることの成果が現れている。 ・観光の町としての活性化、町おこしに関して、企業や行政等との協働により「養老町ブランド」を作るふるさと教育の更なる推進に尽力してほしい。

大垣商業高校 【ビジネス科、ビジネス情報科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ SDGsの視点を踏まえた養老鉄道・樽見鉄道利用者向け弁当の開発 地元企業と連携し、SDGsの視点を踏まえ、地域理解を深めると共に、養老鉄道・樽見鉄道利用者向けの弁当の開発から販売までの流れについて実践活動を通して学習した。 ○ 養老鉄道・樽見鉄道の駅周辺の実地調査を踏まえた観光PR作品制作 大垣市・養老鉄道・樽見鉄道と連携し、養老鉄道養老駅及び樽見鉄道樽見駅周辺の実地調査を行った。また、駅周辺の観光をPRする観光マップ・動画・Webページを制作し、発信した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業・大垣市等と連携した活動において、商業に関する専門科目で身に付けた知識・技術を活用し、実践できた。 ・今後も「地域を支え、地域産業を担う資質・能力をもつ専門的職業人」の育成を目指し、今年度の取組みを検証し、ビジネス教育や探究活動を更に充実させたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・養老鉄道・樽見鉄道と連携した取組みは、実際に地域を舞台にした取組みであり、体験させることで、スクール・ポリシーの具現化にもつながる。 ・現在の取組みを通して、将来地域に戻ってきてもらいたい。地域や企業の方とコミュニケーションを取る機会が増えることで、地域で活躍したいと思う生徒も増えてくるのではないかな。

大垣工業高校 【機械工学科群、電気・電子工学科群、建設工学科群、化学技術工学科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 産業界との連携による地域資源(恵み)の発見や活用した実践 岐阜県「地域企業ものづくりマイスターによる技術講習会」や大垣市「名工塾」の活用による技術講習会を実施した。また、地元企業人の講話や地元企業の見学を実施した。 ○ 地域団体との連携による地域資源(恵み)の発見や活用した実践 地域特別支援学校との「テクノコラボレーション」、地域自治体等の「こどもICT講座」など、地域団体と連携した地域貢献活動を実施した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域諸団体の意欲的かつ積極的な地域貢献活動により、地域連携イベントに参加した生徒の自己効用感が向上した。 ・コロナ禍の影響により、オンライン型企業見学が増加している。また、地域団体との連携事業が減少するなど、生徒の実体験の機会が減少している。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業は工業高校で育成された「確かな知識・技術を身に付けた専門的職業人」を望んでいる。ぜひ、地元企業に残ってもらいたい。 ・様々な企業等に出向き、現場を実際に見ることで多くのことを吸収してもらいたい。 ・オンラインは多くの人が同時に見聞きすることができるため、活用してほしい。

大垣桜高校 【服飾デザイン科、食物科、生活デザイン科、福祉科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元企業と連携したテイクアウトデリバリーメニューの開発と商品化 生活文化科の生徒が、キッチンカー販売に取り組んでいる企業と連携し、健康を考えたお弁当メニューを考案し、商品化を実現した。また、厨房での調理・盛り付けも行い、販売した。 ○ 地域食材の研究と地域への提案 食物科の生徒が、生産者との交流や役場等との連携により、地域食材を使用した商品開発等に向けた研究を行った。食材の魅力を引き出すレシピを考案し、各種コンクールに挑戦した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・健康を考えた弁当メニューの考案は、商品化・販売が実現できたことにより、大きな喜びとなった。商品に対する意見を聞くことで、課題が明確になり、技術や創造力の向上につながった。 ・生産現場でのフィールドワークにより、食材の魅力に触れ、地域の風土との関係について学ぶことで、調理技術をもっと身に付けようと思う気持ちにつながった。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・企業の協力を得ながら、生徒のアイデアが商品化された取組みは大変よい。 ・卒業研究作品発表会ではその成果の一部を観ることができてよかった。 ・1人1台のタブレットを利用し、制限された活動の中でやれることを研究しながら前向きに取り組んでいる姿がよい。

加茂農林高校 【食品科学科、園芸流通科、環境デザイン科、森林科学科、生産科学科】
主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門の学びを活かした耕作放棄地対策と地域活性化の取組み 耕作放棄地にあじさいを植栽した3年目の「あじさいロード」は、あじさいの種類や植栽の方法を工夫し花壇を発展させた。今年度は、地域自治会と共に「美濃加茂焼きそば」を販売した。 ○ 美濃加茂市の花「あじさい」をテーマとした商品開発の取組み マメ科の植物の花の色素を利用した「あじさい色の食品づくり」に取り組んだ。地元企業と連携して、「あじさいマカロン」やあじさいをイメージした和菓子を開発し、地元店舗で販売した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・5学科の専門知識・技術を結集して「あじさいロード」を完成させる取組みが、地域で活躍する高校生の姿として発信できた。生徒にとっては成就感と地域に対する興味・関心が高まった。 ・今後は、専門高校としての「地域産業の担い手育成」を、課題解決型学習でどのように戦略的に展開するかが課題である。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産品をつくり、販売するという生徒たちの取組みは評価できる。実際に販売することで、開発の結果も見ることができ、貴重な経験になったと思う。 ・コロナ禍の制限の下で、対策をしながら地域との交流ができたのはよかった。様々な工夫がみられてよい。

東濃実業高校 【ビジネス科、ビジネス情報科、生活デザイン科】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 官公庁と学校との連携による、御嵩町役場でインターンシップの実施 南海トラフ巨大地震に備えた「亜炭鉱跡対策事業」について学び、御嵩町の課題を知る機会となった。御嵩町主催の「カワゲラウォッチング」の補助業務を務め、小学生との交流を深めた。 ○ 地元の企業や県内にある施設の見学 ヤマザキマザック工作機械博物館、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を見学し、県内には、ものづくりを通して世界の産業を支え、貢献している企業があることを学習した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップを通して、行政の仕事や学校の所在する御嵩町の防災について学ぶことができた。5日間の実施であったが、もう少し長く取り組ませると、より深い学びになる。 ・工作機械について初めて知る生徒も多く、実物を見ながら学ぶことで、様々な職業において、県内には誇れる施設や産業があることを改めて学ぶことができた。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップにとっても熱心に取り組んでくれた。今後もインターンシップ事業等について、できる限り協力したい。 ・機械を作るための機械があることを知り、様々な仕事について触れる機会となった。普段目にするものがない工作機械を見学し、産業の発展について関心をもつことは有意義な取り組みである。

可児工業高校 【機械科、化学技術科、建設工学科、電気システム科】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 可児工業団地内企業の研究と見学の実施 工業団地内企業をはじめとする地元企業を見学し、企業を「研究」し、「見て」「聞いて」「知る」ことで、キャリアアップと地元企業の魅力を学習することができた。 ○ 地元企業等と連携したものづくり教育の実施 地元企業による安全教育、高度技能者による講習や中長期インターンシップ、及び高度熟練者による技能講習など、実際のものづくり現場で活躍する先輩等から、技術や技能などの体験を通して、ものづくりの楽しさ、奥深さ、すばらしさを学習した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の研究や見学を実施したことは、生徒にとって地元企業の魅力を知る機会になった。また、地元企業に本校生徒の魅力を発信することができた。 ・生徒のキャリア形成や進路選択の面から、できる限り多くの企業の魅力を感じられ、大きな規模で実施できるようこれからも地元企業と連携し計画したい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校として様々な教育の取り組みがなされている。可茂地区において唯一の工業高校であり、本校への期待は大きいので、さらなる指導を願う。 ・キャリア教育も工業高校ならではの実績があり、先輩からのメッセージも届けやすい。

多治見工業高校 【セラミック科、デザイン科、電子機械科、電気システム科】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元企業と連携した、技術体験や共同でのものづくりの実施 地域の研究機関と共同でのものづくりを行い、「空気機関車」を完成させることができた。技術指導の中で、高い知識と技術を身に付けることができた。 ○ 地場産業の活性化を目指した、学校付近の環境改善 地場産業の活性化と地域貢献を目指し、「小学生が少しでも明るい気持ちになれるようにしたい」というニーズに応え、学校付近の建設会社の入り口扉をキャンバスに巨大壁画を制作した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・高校では学ぶことができない高い技術力を学び、学習意欲につながった。また、地域との連携事業により地域に愛着をもつことができた。 ・今後も継続していくことにより、生徒が地域への考え方の変化に期待できるとともに将来的には地域を支える人材となることに期待したい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はオンラインでのやり取りが多く、直接、技術指導をする場面が少なく残念であった。来年度は、基礎から技術を伝え、よいものづくりをさせてあげたい。 ・コロナ禍ではあるが、生徒の活動の確保や成果発表の場を作ってもらいたい。また、デジタル機器を活用し、発信してほしい。

土岐商業高校 【ビジネス科、ビジネス情報科】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元企業とのクラウドファンディングの実施 地場産業の再興を目指して、地元企業の協力のもと高校生の発案による陶磁器のオリジナル製品を制作した。クラウドファンディングによる美濃焼に光をあてるプロジェクトを実施した。 ○ SNSを利用した情報発信とAR技術を活用したビジネスモデルの考案 Society5.0を念頭に置いた情報技術を活用した取り組みに挑戦した。地域の窯元のPR動画の作成やAR技術を活用して地域情報を提供するコンテンツ制作を研究した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業について調査・研究を行うことで、地場産業の歴史や技術力の高さを知り、地域の方の想いを聞くことで、地域のよさを知ることができた。 ・効果的な情報発信など地域の方と協働して、共に学び、共に成長し、地域の魅力や価値を共有できるように継続して活動していきたい。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングで資金調達を行うことが、当初の目的を達成することと、どう結びついたのかを再確認し、次の取り組みにつなげられるよう計画の立案を行うとよい。 ・地域の現状や課題、産業の状況をより踏み込んで調査することで、コンテンツ制作の目的がより明確になるので、コンセプトワークをしっかりと行う必要がある。

飛騨高山高校 【普通科、食の農学科群、緑の農学科群、ビジネス科、ビジネス情報科、生活デザイン科】
主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ I o Tを活用した畜産労働の負担減と生産性向上の両立を図る研究 牛の出産が近づくスマートフォンに通知が入るシステムや牛の行動や状態を24時間把握できるシステムの導入を視野に入れ、先進農家と連携を図り、その効果や活用方法を検討し、効率的に牛を管理する研究に取り組んだ。 ○ 環境モニタリングで高品質なトマトの栽培を目指す研究 I o Tに対応した農業技術の向上を図り、農業後継者を育成するために、飛騨の主要農産物であるトマトの「3 Sシステム」による栽培を中心とした学習を展開した。
成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・I o Tの導入は生徒の学習の幅を広げるとともに、今後の農業の担い手として活躍していく生徒にとって必要なことが分かった。生徒の経営感覚を養うために、経営的な検証もある必要がある。 ・環境制御システムを導入したことにより、作業負担の減少と灰色カビ病の抑制に効果があることが分かった。また、年間を通して安定した収量につなげることができると分かった。
学校運営協議会等の外部の方からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・I o Tを活用することで人にも余裕が生まれ、牛と人がよりよい距離感を保つことができる。 ・I o Tに対応した農業技術の向上は、今後岐阜県下で広まっていくだろう。

（６）ふるさと魅力体験事業

「ふるさと岐阜」への愛着をはぐくむふるさと教育の一貫として、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、岐阜関ヶ原古戦場記念館など、県の自然・歴史・文化・産業等に関する施設や史跡等を訪れ、体験活動や教育プログラム等を実施することにより、岐阜県の魅力を新たに発見したり、見識を広げたりする学びを、高校生に対しても実施した。

令和３年度実施校：岐山、岐阜総合、各務原西、山県、揖斐、大垣商業、関有知、東濃実業、多治見、多治見北、坂下、東濃フロンティア
(令和元年度からの５年間で全県立高校63校が実施予定)

2-3 ICT活用に関する取組み

(1) 「ICT教育推進室」の新設

令和3年度を「1人1台タブレット端末活用元年」と位置付け、県教育委員会事務局内に「ICT教育推進室（ICT教育企画係、研修係、情報基盤係で構成）」を新設した。ICT教育に関する業務を一括して担うとともに、県内各地区にICT推進担当指導主事等を配置し、定期的に学校訪問することで、学校の困り感に寄り添ったサポートができる体制を整えた。

この学校訪問によるサポート内容は、ICT環境を活用した授業改善などの教科指導のみならず、タブレット端末の不具合対応などの技術的サポート、場合によっては、特定の教員にICT関連業務が集中しがちな校内体制の改善へのアドバイスなど多岐に渡った。なお、各学校から受けた質問についてはQ&A集として集約し各学校へ提供・共有した。また、Microsoft Teams上に担当者が投稿できるコミュニティを設けたところ、担当者間の情報交換の場として盛んに活用されている。

(2) ICT活用に特化した教員研修の充実

ICT環境を最大限に活用するためには、一部の教員だけに偏らず、誰もが自由に使いこなせるような全体のスキルアップも重要となる。そこで、タブレット端末や導入ソフトに対応した実技研修を充実させたほか、1人1台タブレット端末を授業でより効果的に活用することを目指して、ファシリテーションや問題解決型学習といった“授業デザイン”に関する教員研修も実施し、市町村を含めた県全体の教員のICT活用能力の底上げを図った。

◎1人1台端末活用教員研修事業

【研修Ⅰ】ファシリテーション・コーチング・メンタリング等（7回、講師：大学教授等）

【研修Ⅱ】問題解決型学習の技法（5回、講師：大学教授、ICT専門企業・団体講師等）

【研修Ⅲ】個別最適化された学びの技法（6回、講師：大学教授、システム開発企業講師等）

(3) ICT環境を活用した授業改善

学習支援ソフトのMetaMoJi Classroom（以下、MetaMoJi）やMicrosoft 365 Educationのアカウントを県で一括して調達し、県立高校の全生徒等に付与することで、それらを活用した学びが各学校で積極的に展開され始めている。

特に、MetaMoJi は学習課題やプリントの配付・回収等だけでなく、生徒がグループで行った探究的な学びの成果を一つの作品にまとめ、その過程を教員がリアルタイムで確認し、生徒の学習状況に応じた指導ができるなど、協働的な学びを広げる重要なツールとなっている。そこで、ICT推進担当指導主事等の学校訪問を通して、MetaMoJi を活用した優れた事例を収集し、それらを小冊子「MetaMoJi 虎の巻」として取りまとめた。MetaMoJi の基本的な活用法からソフトの機能をフルに活用した授業事例まで幅広いニーズに応える内容となっており、学校現場の教職員に好評な手引書となっている。

加えて、MetaMoJi に限らず、各教科における ICT 環境を効果的に活用した授業事例を「授業での ICT 活用ガイド～1人1台タブレット端末活用編～」として取りまとめ、各県立学校や市町村教育委員会に情報共有した。

なお、このように ICT を活用した学びを進展させることができた背景として、ローカルブレイクアウトなど、ネットワーク環境の充実も並行して進めたことも、特記すべき事項である。また、特別教室等への ICT 環境の追加整備を行った他、普通教室等に一体型ステレオスピーカーを設置するなど、あらゆる授業において「デジタル教材」を積極的に活用できる教室環境の整備にも配慮した。

ICT 環境の活用に関する全県立高校生徒へのアンケート結果にみる “学びの変化”

項目	R 3 年 2 月		R 4 年 1 月
授業の進め方が変わった	70%	→	80% (+10 ポイント)
学習内容の理解が高まる	57%	→	66% (+9 ポイント)
自分の考えや意見を表現できる	36%	→	52% (+16 ポイント)
教え合い学び合いできる	43%	→	55% (+12 ポイント)

(4) 産学官連携による “未来を創る学び” の模索

ICT 教育の推進にあたっては、大きく変動する情報社会の中で、子どもたちに身に付けさせるべき学力とは何か、学びそのもののありべき姿を模索する必要性も浮き彫りになった。そこで、令和3年6月には、日本マイクロソフト社、慶應義塾大学 SFC 研究所、岐阜県教育委員会の三者で産学官連携協定を結び、この協定にもとづくサポートを受け、「未来を創る学び」共同研究を行った。

「未来を創る学び」とは、複雑性、不確実性、多様性が増す Society5.0 の時代において求められる「正解のない課題に対して、他者とともに答えを見出していく力を身に付けること」と位置付け、そういった学びを教員自身が体験することも研究の目的とした。

この共同研究では、自ら志望した参加教員等47名が、学校種、教科の垣根を超えてグループを編成し、グループごとにテーマを設定し、Microsoft Teams上でのオンライン討論、投稿、各校での教育実践などにより研究を推進した。

「未来を創る学び」共同研究事業 各グループのテーマ（一部のみ）

グループのテーマ	キーワード
Teams 協働×共同研究の可能性とその評価	Teams を通した協働、評価・フィードバック、教員研修 等
未知のものへのわくわく感のある授業について	好奇心、アウトプット、新しい課題の発見 等
岐阜県の理想の教師像 ～未来の岐阜県教員を増やすために今できること～	理想の教員像（現職教員、高校生）、 教職の魅力、未来の教職志望者 等
学びの本質、楽しさとは何か ～ICT による異校種交流授業を通して～	特別支援教育、インクルーシブ教育、 主体性 等

（５）校務のデジタル化による働き方改革の推進

学びとは別の視点として、校務のデジタル化による働き方改革にも取り組んだ。先述の連携協定にもとづく各種サポートを受けながら、7つの県立学校（加納、岐阜各務野、揖斐、武義、東濃実業、斐太、郡上特別支援）をモデル校として指定し、保護者からの欠席連絡のデジタル化、会議のオンライン化やペーパーレス化など、クラウドサービス（Microsoft Teams）等のICTプラットフォームの活用による教員の働き方改革の研究を推進した。

モデル校の取組みは、「実践事例集」として取りまとめるとともに、モデル校担当者がアプリ等の操作方法を直接説明する「オンラインデモ」を開催し、県立学校に共有した。

◎校務のデジタル化と働き方改革事業 モデル校の取組み（一部のみ）

- 欠席連絡のデジタル化（電話当番の廃止）
- アンケートのデジタル化（Microsoft Formsの活用）
- 健康チェックカード（教員）のデジタル化
- 三者懇談日程調整のデジタル化（Microsoft Bookingsの活用）

(6) デジタル化に対応した産業教育の環境整備

Society5.0時代における地域の産業を支える職業人育成を進めるため、デジタル化対応装置の環境を整備することにより、D X（デジタルトランスフォーメーション）等に対応した地域の産業界を牽引する職業人材を育成する。

そのために、農業・工業・商業・生活産業・情報系専門高校において、技術革新の進展やD Xを見据えた、高機能 I C T 端末等を含む最先端のデジタル化に対応した産業教育装置の整備を行った。主な整備内容は以下のとおりである。

学科	導入数	内 容	主な装置
農 業	○ 農業のスマート化に対応した人材の育成		
	37装置 (6校)	農業科において、品質管理装置や分析実験装置、安全装置を導入し、安全な農産物と食品の生産を実践できる人材を育成する。 各地域の農業や学科の特徴等に応じて、電子顕微鏡実習装置やバイオテクノロジー装置などを導入し、栽培・飼育、食品、森林・環境の各分野で実社会のスマート化に対応できる人材を育成する。	安全装置（食品用金属検出装置）、森林シミュレーション装置、品質管理装置（色彩選別実習装置）、牛乳加工処理装置 等
工 業	○ Society5.0時代を切り拓くテクノロジストの育成		
	23装置 (6校)	建設系学科を設置する6校に、コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、部屋等の面積、部材の仕様、仕上げ等、建物の属性情報を併せもつ建物情報モデルを構築するB I Mシステムを導入し、建設業の I C T 化を担う人材を育成する。 化学技術工学科を設置する3校に、企業において用いられている標準的な機器分析器を導入するなど、工業材料等の分析ができる人材を育成する。	B I M実習装置、機器分析装置、風洞実験フライトシミュレーター装置、メカトロニクス実験装置 等
商 業・ 情 報	○ 新たなアイデアを想像するクリエイティブ人材の育成		
	9装置 (5校)	商業科4校において、プログラミング教育などのための高性能P CやP R動画撮影スタジオ及び編集機器等を導入し、観光ビジネス等における生産性向上や高付加価値化の考察、提案ができる人材を育成する。 情報科1校において、I o Tで収集したビックデータ等を活用できる情報処理装置を導入し、A Iを活用してサービスを創造し、社会の課題解決ができる人材を育成する。	グラフィックワークステーション、画像処理実験装置、3 Dモデリング実習装置 等
生 活 産 業	○ 介護業務のスマート化や安全な食の提供に対応した人材の育成		
	10装置 (4校)	福祉科3校において、遠隔見守りシステムや介護ロボット等を導入し、デジタル技術により介護利用者の自立支援や介護者の負担軽減など、介護機器を活用して介護業界のスマート化に対応できる人を育成する。 調理系学科を設置する2校において、デジタル制御で安全で衛生的な調理ができる装置を導入し、衛生管理基準を順守した安全な食を提供できる人材を育成する。	スマート介護実習装置・食物調理実習室、高性能P C（アパレルC A D実習装置） 等

3 令和4年度以降の取組内容と今後の方向性

(1) ふるさと教育（探究的な学び）の推進

岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）にもとづき、高校での新学習指導要領の実施や大学入試改革を見据え、地域と高校を強く結び付ける「ふるさと教育」の枠組みの中で、ふるさとを教材とした、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する探究的な学習を全ての高校で展開している。

令和4年度以降を、これまでのふるさと教育を深化した取組みを展開する発展期間と位置づけ、全県立高校で「ふるさと教育（探究的な学び）×STEAM教育（教科横断的な学び）×ICTを活用した教育」を展開し、各学校の特色に応じて、地域と連携したふるさと教育を展開する。

<令和4年度ふるさと教育の概要>

令和4年度 高校における「ふるさと教育」の展開	
これまでの取組(ふるさと教育) ～全ての高校で学校の特色に応じて展開～	R4年度 当初予算 主な関連事業
普通科高校 <ul style="list-style-type: none"> 地域の課題をグローバルな視野で捉えた探究的な学びを推進し、国際舞台や地域で活躍できる人材を育成 岐阜、岐阜北、長良、岐山、加納、大垣北、大垣東、関、可児、多治見北、恵那、笠太 大学や地元自治体等、関連機関等との協働により、地域の魅力を知り課題を発見・解決する学習を推進 羽島北、各務原、各務原西、本巣松陽、羽島、大垣南、大垣西、郡上、武蔵、加茂、多治見、中津、益田清風 	＜普通科高校、地域の小規模高校(グループ1・2)＞ <ul style="list-style-type: none"> 【新】グローバル探究実践事業 7,500千円 文系・理系の枠に捉われない学び(STEAM教育)を通じて、深く探究し、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力の育成を図る ＜取組例＞ 国内外の教育機関や国際的な企業、地域の関係者等と連携した研究活動 等 【継】地域共創フラッグシップハイスクール事業 19,000千円 豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付け、地域創生などの様々な分野で活躍できるグローバル・リーダーの育成を図る ＜取組例＞ 国内外の大学、地域の産業界や海外展開する企業等、関連機関との連携による体験的活動 等 【継】地域課題探究型学習の推進事業 8,480千円 産官学で連携し、ICTを活用するなどして地域課題を発見し、解決を目指す実践的な学びを通じて、社会を主体的に生き抜く人材育成を図る ＜取組例＞ 地域との連携による出前授業等を活用した探究活動 等 【継】地域連携による活力ある高校づくり推進事業 12,350千円 学校の活性化に向け、地域と密接に連携した取組を通じ、各学校の特色に応じた探究的な学びを推進。地域創生の担い手となる人材育成を図る ＜取組例＞ 学校・地域が活性化するためのアイデア提案・商品開発、地元企業と連携した企業実習 等
地域の小規模高校(グループ1・2の高校) <ul style="list-style-type: none"> 学校と地域を強く結びつける活動を通じて、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する学習をさらに推進 地域や保護者の理解・協力を得ながら、学校の活性化に向けて、地域に根差した学校運営をさらに促進 山県、揖斐、池田、不破、南津明彦、郡上北、関有知、八百津、東濃、瑞穂、土岐紅蔭、恵那南、恵那北、中津南、中津川、坂下、荒山、吉城、飛騨朝陽 	
専門高校 <ul style="list-style-type: none"> 産業界等との連携を通して、地域の資源を活用した取組を展開させ、地域産業を担う専門的職業人を育成 実践的・体験的に探究的な学びを推進し、学科横断的な取組を通じて、地域の課題解決に向けた取組を推進 岐阜総合学院、岐阜城北、東岐阜南、岐阜工、岐阜各務野、岐阜農林、岐阜工、大垣善喜、大垣南、大垣工、大垣北、郡上、武蔵、加茂南、東濃実業、可児工、多治見工、土岐南、中津南、中津川、益田清風、飛騨高山 	＜専門高校＞ <ul style="list-style-type: none"> 【継】地域産業の担い手育成総合戦略事業 12,400千円 実践的な体験等を通して、地域産業を担う専門的職業人の育成や国際感覚を有した職業人としての基盤形成等を推進 ＜取組例＞ 地域、産業界等外部施設設備の活用による先進的技術の学習、企業における実践的な就業体験活動 等
＜ICTを効果的に活用した教育の充実＞ <ul style="list-style-type: none"> 【継】ICTを活用した教育力の向上 2,100千円 <ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末・学習支援ソフトやデジタル教材・オンライン等を効果的に組み合わせ、学校や学科の特色、生徒の特性に応じた教科学習・探究的な学びを推進 正解のない課題に対して他者と協働して課題解決を図る能力の育成を図るための「未来を創る新たな学び」を研究 【新】DXに対応した教員研修の充実 1,974千円 <ul style="list-style-type: none"> DXによる教育の情報化や校務の効率化を図るとともに、ICT環境を基盤とした学びを充実するため、教員の知識やスキルの向上のための教員研修を実施 	DX人材の育成
＜地域や保護者と一体となった学校運営の推進＞ <ul style="list-style-type: none"> 【継】学校運営協議会等設置費、事業費 9,150千円 <ul style="list-style-type: none"> 学校・保護者・地域の連携を強化し、学校運営に主体的・協働的に関わることで、学校と地域の活性化を図る 	地域ぐるみの学校運営

すべての県立高校で「ふるさと教育」×「教科横断的な学び」×「ICT教育」を充実

（２）学校運営協議会設置の推進

学校運営協議会は、本県では、平成30年度に県立学校11校に設置し、以降、導入校を順次拡大してきた。ふるさと教育関連事業で提案された地域の声を反映しながら、地域住民等と学校が連携・協働し、更に魅力ある高校づくりに取り組めるよう、令和３年度に、全県立学校83校に学校運営協議会を設置した。

国の動向としては、令和３年１月26日に中央教育審議会が取りまとめた『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」において、高等学校の特色化・魅力化等に向けた方策が提言されたことを踏まえ、高等学校設置基準の一部改正により、高等学校は関係機関等との連携協力体制の整備に努めなければならないとされた。

本県では、ふるさと教育関連事業で開催してきた協議会の学校運営協議会への移行を進め、これまで整備してきた関係機関等との連携協力体制が維持・継続できるよう、学校運営協議会の委員の構成に留意し、高等学校の特色化・魅力化等に向けた議論を深めるなど、学校運営協議会の充実を図っていく。

（３）進学指導推進事業の推進

県立高校における大学合格実績の更なる向上を図るため、進学指導重点校事業の指定校を見直し、11校から14校に拡大し、探究型学習や面接・小論文等の昨今の入試で定員数の比率が増えている総合型選抜、学校推薦型選抜に対応できる能力の指導に力を入れて実施する。

（ア）進学指導重点校事業：指定校を見直し、14校に拡大して実施

令和３年度：岐阜北、加納、本巣松陽、大垣南、加茂、可児、多治見、多治見北、恵那、中津、斐太
令和４年度：長良、岐山、羽島北、各務原、各務原西、大垣東、大垣西、郡上、関、多治見、多治見北、恵那、中津、斐太

（イ）進学指導連携事業：大学進学指導連絡協議会への支援を継続

大学進学指導連絡協議会幹事校：岐阜、岐阜北、大垣北、関、可児、多治見北、恵那、斐太

（ウ）県総合教育センターによる専門研修事業を継続

県総合教育センター講座の研修として、大学入試問題の分析とそれにもとづく効果的な学習・指導方法の在り方を研究する講座を引き続き開設する。

（４）高等学校における演劇等ワークショップ事業の継続

演劇手法を用いた協働活動を通して、コミュニケーション能力や自己表現力の向上を図るため、令和３年度と同規模で実施する。

平成30年度～：山県、羽島、揖斐、不破、東濃、恵那南
令和元年度～：郡上北、関有知、土岐紅陵、坂下、飛騨高山（山田キャンパス）
飛騨神岡
令和２年度～：華陽フロンティア（定時制）、飛騨高山（定時制）

（５）ＩＣＴの活用を前提とした新しい学びの模索

ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）人材育成のため、日本マイクロソフト社及び慶應義塾大学ＳＦＣ研究所との産学官連携協定を継続し、正解のない課題について他者とともに課題解決を図る能力を習得させる新たな学びについての研究を継承・進展させる。

（６）校務のデジタル化による働き方改革の推進

日本マイクロソフト社及び慶應義塾大学ＳＦＣ研究所との産学官連携協定にもとづき、令和３年度に７校のモデル校を中心に研究を進めたデジタル化による校務の簡素化・効率化の優良事例について、全県立学校に普及する。

（７）教育ＤＸに関する教員研修

ＤＸによる教育の情報化や校務の効率化を図り、１人１台タブレット端末等のＩＣＴ環境を基盤とした学びを更に充実するため、教員の知識やスキル向上のための教員研修を実施する。

4 令和5年度の学科改編等

(1) 令和5年度学科改編等について

学科改編等については、これまでに県地方産業教育審議会答申（平成30年3月20日）を踏まえた「基本的な学びの領域」を単位とする学科配置について、全ての学科において再編成を実施した。また、中央教育審議会答申（令和3年1月26日）を踏まえ、普通科の特色化・魅力化を促進するための普通科以外の「普通教育を主とする学科」の設置が可能となり、本県では坂下高校（地域探究科）を設置した。

「平成28年度の検討まとめ」において、具体的な活性化策を例示したグランドデザインにもとづいた学科改編等が概ね実施できたことから、令和5年度の学科改編等については実施しない。なお、学科改編等については、今後も引き続き検討を継続し、必要に応じて行う。

(2) 県外募集実施校

令和5年度県立高等学校入学者選抜においても引き続き、特色のある教育や全国で活躍する部活動を実施している学校で、県外からの募集を実施する。

県外募集実施校の募集学科、検査内容や選抜方法等を含めた選抜の概要は、令和4年7月末日を目途に県教育委員会において発表する。

(3) 令和5年度県立高等学校入学者選抜

令和5年度県立高校入学者選抜の概要及び日程については、令和4年4月末を目途に県教育委員会ホームページ等で発表する。

5 資料編

- ・ 参考資料 1 中学校卒業予定者数の推移（全体／地区別）
 - ・ 参考資料 2 県外募集に関するチラシ、広報
 - ・ 参考資料 3 高校におけるふるさと教育ガイド
 - ・ 参考資料 4 高校生の意識に関する調査
- 県立高等学校のスクール・ポリシー一覧

参考資料 1 中学校卒業予定者数の推移（全体／地区別）

＜全県＞		令和3年5月1日 現在 ＜学校基本調査＞									
高校入学年月 学 年	R3.4 高1	R4.4 中3	R5.4 中2	R6.4 中1	R7.4 小6	R8.4 小5	R9.4 小4	R10.4 小3	R11.4 小2	R12.4 小1	
岐阜	7,338 前年比 R3.4比	7,491 153 153	7,372 ▲ 119 34	7,464 92 126	7,136 ▲ 328 ▲ 202	7,276 140 ▲ 62	6,973 ▲ 303 ▲ 365	6,923 ▲ 50 ▲ 415	6,776 ▲ 147 ▲ 562	6,588 ▲ 188 ▲ 750	
西濃	3,460 前年比 R3.4比	3,455 ▲ 5 ▲ 5	3,236 ▲ 219 ▲ 224	3,326 90 ▲ 134	3,218 ▲ 108 ▲ 242	3,195 ▲ 23 ▲ 265	3,171 ▲ 24 ▲ 289	3,070 ▲ 101 ▲ 390	2,913 ▲ 157 ▲ 547	2,784 ▲ 129 ▲ 676	
美濃	1,309 前年比 R3.4比	1,352 43 43	1,301 ▲ 51 ▲ 8	1,273 ▲ 28 ▲ 36	1,319 46 10	1,285 ▲ 34 ▲ 24	1,346 61 37	1,203 ▲ 143 ▲ 106	1,214 11 ▲ 95	1,111 ▲ 103 ▲ 198	
可茂	2,065 前年比 R3.4比	2,179 114 114	2,126 ▲ 53 61	2,087 ▲ 39 22	2,059 ▲ 28 ▲ 6	2,126 67 61	2,107 ▲ 19 42	2,085 ▲ 22 20	2,015 ▲ 70 ▲ 50	2,003 ▲ 12 ▲ 62	
東濃	2,791 前年比 R3.4比	2,832 41 41	2,946 114 155	2,773 ▲ 173 ▲ 18	2,738 ▲ 35 ▲ 53	2,785 47 ▲ 6	2,720 ▲ 65 ▲ 71	2,661 ▲ 59 ▲ 130	2,516 ▲ 145 ▲ 275	2,478 ▲ 38 ▲ 313	
飛驒	1,253 前年比 R3.4比	1,225 ▲ 28 ▲ 28	1,231 6 ▲ 22	1,294 63 41	1,225 ▲ 69 ▲ 28	1,168 ▲ 57 ▲ 85	1,195 27 ▲ 58	1,112 ▲ 83 ▲ 141	1,105 ▲ 7 ▲ 148	1,025 ▲ 80 ▲ 228	
県全体	18,216 前年比 R3.4比	18,534 318 318	18,212 ▲ 322 ▲ 4	18,217 5 1	17,695 ▲ 522 ▲ 521	17,835 140 ▲ 381	17,512 ▲ 323 ▲ 704	17,054 ▲ 458 ▲ 1,162	16,539 ▲ 515 ▲ 1,677	15,989 ▲ 550 ▲ 2,227	

＜岐阜地区＞

令和3年5月1日 現在

＜学校基本調査＞

高校入学年月 学 年	R3.4 高1	R4.4 中3	R5.4 中2	R6.4 中1	R7.4 小6	R8.4 小5	R9.4 小4	R10.4 小3	R11.4 小2	R12.4 小1
岐阜市	3,698 前年比 R3.4比	3,738 40 40	3,643 ▲ 95 ▲ 55	3,769 126 71	3,482 ▲ 287 ▲ 216	3,567 85 ▲ 131	3,380 ▲ 187 ▲ 318	3,409 29 ▲ 289	3,362 ▲ 47 ▲ 336	3,180 ▲ 182 ▲ 518
羽島市	586 前年比 R3.4比	638 52 52	648 10 62	583 ▲ 65 ▲ 3	665 82 79	621 ▲ 44 35	591 ▲ 30 5	597 6 11	604 7 18	558 ▲ 46 ▲ 28
各務原市	1,300 前年比 R3.4比	1,375 75 75	1,391 16 91	1,359 ▲ 32 59	1,347 ▲ 12 47	1,327 ▲ 20 27	1,288 ▲ 39 ▲ 12	1,305 17 5	1,245 ▲ 60 ▲ 55	1,233 ▲ 12 ▲ 67
山県市	231 前年比 R3.4比	225 ▲ 6 ▲ 6	192 ▲ 33 ▲ 39	223 31 ▲ 8	196 ▲ 27 ▲ 35	196 0 ▲ 35	194 ▲ 2 ▲ 37	183 ▲ 11 ▲ 48	196 13 ▲ 35	190 ▲ 6 ▲ 41
瑞穂市	584 前年比 R3.4比	558 ▲ 26 ▲ 26	553 ▲ 5 ▲ 31	606 53 22	546 ▲ 60 ▲ 38	633 87 49	601 ▲ 32 17	564 ▲ 37 ▲ 20	546 ▲ 18 ▲ 38	564 18 ▲ 20
本巣市	396 前年比 R3.4比	357 ▲ 39 ▲ 39	369 12 ▲ 27	321 ▲ 48 ▲ 75	318 ▲ 3 ▲ 78	290 ▲ 28 ▲ 106	316 26 ▲ 80	291 ▲ 25 ▲ 105	265 ▲ 26 ▲ 131	271 6 ▲ 125
本巣郡	175 前年比 R3.4比	178 3 3	176 ▲ 2 1	200 24 25	166 ▲ 34 ▲ 9	192 26 17	169 ▲ 23 ▲ 6	160 ▲ 9 ▲ 15	157 ▲ 3 ▲ 18	171 14 ▲ 4
羽島郡	368 前年比 R3.4比	422 54 54	400 ▲ 22 32	403 3 35	416 13 48	450 34 82	434 ▲ 16 66	414 ▲ 20 46	401 ▲ 13 33	421 20 53
岐阜地区	7,338 前年比 R3.4比	7,491 153 153	7,372 ▲ 119 34	7,464 92 126	7,136 ▲ 328 ▲ 202	7,276 140 ▲ 62	6,973 ▲ 303 ▲ 365	6,923 ▲ 50 ▲ 415	6,776 ▲ 147 ▲ 582	6,588 ▲ 188 ▲ 750

＜西濃地区＞

令和3年5月1日 現在

＜学校基本調査＞

高校入学年月 学 年	R3.4 高1	R4.4 中3	R5.4 中2	R6.4 中1	R7.4 小6	R8.4 小5	R9.4 小4	R10.4 小3	R11.4 小2	R12.4 小1
大垣市	1,429 前年比 R3.4比	1,368 ▲ 61 ▲ 61	1,323 ▲ 45 ▲ 106	1,427 104 ▲ 2	1,369 ▲ 58 ▲ 60	1,386 17 ▲ 43	1,392 6 ▲ 37	1,374 ▲ 18 ▲ 55	1,293 ▲ 81 ▲ 136	1,261 ▲ 32 ▲ 168
海津市	266 前年比 R3.4比	308 42 42	259 ▲ 49 ▲ 7	286 27 20	261 ▲ 25 ▲ 5	274 13 8	237 ▲ 37 ▲ 29	232 ▲ 5 ▲ 34	228 ▲ 4 ▲ 38	185 ▲ 43 ▲ 81
養老郡	255 前年比 R3.4比	253 ▲ 2 ▲ 2	245 ▲ 8 ▲ 10	237 ▲ 8 ▲ 18	252 15 ▲ 3	226 ▲ 26 ▲ 29	228 2 ▲ 27	198 ▲ 30 ▲ 57	203 5 ▲ 52	175 ▲ 28 ▲ 80
不破郡	343 前年比 R3.4比	338 ▲ 5 ▲ 5	315 ▲ 23 ▲ 28	305 ▲ 10 ▲ 38	296 ▲ 9 ▲ 47	311 15 ▲ 32	286 ▲ 25 ▲ 57	243 ▲ 43 ▲ 100	269 26 ▲ 74	224 ▲ 45 ▲ 119
安八郡	492 前年比 R3.4比	497 5 5	449 ▲ 48 ▲ 43	453 4 ▲ 39	436 ▲ 17 ▲ 56	437 1 ▲ 55	422 ▲ 15 ▲ 70	453 31 ▲ 39	371 ▲ 82 ▲ 121	421 50 ▲ 71
揖斐郡	675 前年比 R3.4比	691 16 16	645 ▲ 46 ▲ 30	618 ▲ 27 ▲ 57	604 ▲ 14 ▲ 71	561 ▲ 43 ▲ 114	606 45 ▲ 69	570 ▲ 36 ▲ 105	549 ▲ 21 ▲ 126	518 ▲ 31 ▲ 157
西濃地区	3,460 前年比 R3.4比	3,455 ▲ 5 ▲ 5	3,236 ▲ 219 ▲ 224	3,326 90 ▲ 134	3,218 ▲ 108 ▲ 242	3,195 ▲ 23 ▲ 265	3,171 ▲ 24 ▲ 289	3,070 ▲ 101 ▲ 390	2,913 ▲ 157 ▲ 547	2,784 ▲ 129 ▲ 676

＜美濃地区＞

令和3年5月1日 現在

＜学校基本調査＞

高校入学年月 学 年	R3.4 高1	R4.4 中3	R5.4 中2	R6.4 中1	R7.4 小6	R8.4 小5	R9.4 小4	R10.4 小3	R11.4 小2	R12.4 小1
関市	801 前年比 R3.4比	801 0 0	797 ▲ 4 ▲ 4	794 ▲ 3 ▲ 7	838 44 37	797 ▲ 41 ▲ 4	824 27 23	733 ▲ 91 ▲ 68	738 5 ▲ 63	667 ▲ 71 ▲ 134
美濃市	168 前年比 R3.4比	171 3 3	166 ▲ 5 ▲ 2	146 ▲ 20 ▲ 22	149 3 ▲ 19	167 18 ▲ 1	168 1 0	145 ▲ 23 ▲ 23	148 3 ▲ 20	151 3 ▲ 17
郡上市	340 前年比 R3.4比	380 40 40	338 ▲ 42 ▲ 2	333 ▲ 5 ▲ 7	332 ▲ 1 ▲ 8	321 ▲ 11 ▲ 19	354 33 14	325 ▲ 29 ▲ 15	328 3 ▲ 12	293 ▲ 35 ▲ 47
北部 (内数)	(185) 前年比 R3.4比	(198) (13) (13)	(169) (▲ 29) (▲ 16)	(187) (18) (2)	(152) (▲ 35) (▲ 33)	(173) (21) (▲ 12)	(174) (1) (▲ 11)	(161) (▲ 13) (▲ 24)	(168) (7) (▲ 17)	(144) (▲ 24) (▲ 41)
南部 (内数)	(155) 前年比 R3.4比	(182) (27) (27)	(169) (▲ 13) (14)	(146) (▲ 23) (▲ 9)	(180) (34) (25)	(148) (▲ 32) (▲ 7)	(180) (32) (25)	(164) (▲ 16) (9)	(160) (▲ 4) (5)	(149) (▲ 11) (▲ 6)
美濃地区	1,309 前年比 R3.4比	1,352 43 43	1,301 ▲ 51 ▲ 8	1,273 ▲ 28 ▲ 36	1,319 46 10	1,285 ▲ 34 ▲ 24	1,346 61 37	1,203 ▲ 143 ▲ 106	1,214 11 ▲ 95	1,111 ▲ 103 ▲ 198

＜可茂地区＞

令和3年5月1日 現在

＜学校基本調査＞

高校入学年月 学 年	R3.4 高1	R4.4 中3	R5.4 中2	R6.4 中1	R7.4 小6	R8.4 小5	R9.4 小4	R10.4 小3	R11.4 小2	R12.4 小1
美濃加茂市	548 前年比 R3.4比	562 14 14	595 33 47	557 ▲ 38 9	608 51 60	608 0 60	592 ▲ 16 44	595 3 47	584 ▲ 11 36	571 ▲ 13 23
可児市	979 前年比 R3.4比	999 20 20	973 ▲ 26 ▲ 6	977 4 ▲ 2	899 ▲ 78 ▲ 80	965 66 ▲ 14	960 ▲ 5 ▲ 19	949 ▲ 11 ▲ 30	901 ▲ 48 ▲ 78	902 1 ▲ 77
加茂郡	387 前年比 R3.4比	444 57 57	426 ▲ 18 39	387 ▲ 39 0	399 12 12	388 ▲ 11 1	400 12 13	383 ▲ 17 ▲ 4	383 0 ▲ 4	359 ▲ 24 ▲ 28
可児郡	151 前年比 R3.4比	174 23 23	132 ▲ 42 ▲ 19	166 34 15	153 ▲ 13 2	165 12 14	155 ▲ 10 4	158 3 7	147 ▲ 11 ▲ 4	171 24 20
可茂地区	2,065 前年比 R3.4比	2,179 114 114	2,126 ▲ 53 61	2,087 ▲ 39 22	2,059 ▲ 28 ▲ 6	2,126 67 61	2,107 ▲ 19 42	2,085 ▲ 22 20	2,015 ▲ 70 ▲ 50	2,003 ▲ 12 ▲ 62

＜東濃地区＞

令和3年5月1日 現在

＜学校基本調査＞

高校入学年月 学 年	R3.4 高1	R4.4 中3	R5.4 中2	R6.4 中1	R7.4 小6	R8.4 小5	R9.4 小4	R10.4 小3	R11.4 小2	R12.4 小1
多治見市	903 前年比 R3.4比	918 15 15	926 8 23	923 ▲ 3 20	930 7 27	895 ▲ 35 ▲ 8	912 17 9	871 ▲ 41 ▲ 32	775 ▲ 96 ▲ 128	812 37 ▲ 91
土岐市	457 前年比 R3.4比	468 11 11	524 56 67	456 ▲ 68 ▲ 1	469 13 12	490 21 33	501 11 44	429 ▲ 72 ▲ 28	427 ▲ 2 ▲ 30	439 12 ▲ 18
瑞浪市	354 前年比 R3.4比	343 ▲ 11 ▲ 11	334 ▲ 9 ▲ 20	333 ▲ 1 ▲ 21	274 ▲ 59 ▲ 80	294 20 ▲ 60	285 ▲ 9 ▲ 69	282 ▲ 3 ▲ 72	292 10 ▲ 62	280 ▲ 12 ▲ 74
東濃西部	1,714 前年比 R3.4比	1,729 15 15	1,784 55 70	1,712 ▲ 72 ▲ 2	1,673 ▲ 39 ▲ 41	1,679 6 ▲ 35	1,698 19 ▲ 16	1,582 ▲ 116 ▲ 132	1,494 ▲ 88 ▲ 220	1,531 37 ▲ 183
恵那市	423 前年比 R3.4比	419 ▲ 4 ▲ 4	445 26 22	403 ▲ 42 ▲ 20	434 31 11	404 ▲ 30 ▲ 19	402 ▲ 2 ▲ 21	433 31 10	377 ▲ 56 ▲ 46	348 ▲ 29 ▲ 75
旧恵南地区 (内数)	(136) 前年比 R3.4比	(117) (▲ 19) (▲ 19)	(129) (12) (▲ 7)	(132) (3) (▲ 4)	(129) (▲ 3) (▲ 7)	(113) (▲ 16) (▲ 23)	(122) (9) (▲ 14)	(122) (0) (▲ 14)	(97) (▲ 25) (▲ 39)	(89) (▲ 8) (▲ 47)
中津川市	654 前年比 R3.4比	684 30 30	717 33 63	658 ▲ 59 4	631 ▲ 27 ▲ 23	702 71 48	620 ▲ 82 ▲ 34	646 26 ▲ 8	645 ▲ 1 ▲ 9	599 ▲ 46 ▲ 55
旧恵北地区 (内数)	(219) 前年比 R3.4比	(207) (▲ 12) (▲ 12)	(211) (4) (▲ 8)	(215) (4) (▲ 4)	(195) (▲ 20) (▲ 24)	(190) (▲ 5) (▲ 29)	(184) (▲ 6) (▲ 35)	(170) (▲ 14) (▲ 49)	(181) (11) (▲ 38)	(160) (▲ 21) (▲ 59)
東濃東部	1,077 前年比 R3.4比	1,103 26 28	1,162 59 85	1,061 ▲ 101 ▲ 16	1,065 4 ▲ 12	1,106 41 29	1,022 ▲ 84 ▲ 55	1,079 57 2	1,022 ▲ 57 ▲ 55	947 ▲ 75 ▲ 130
東濃地区	2,791 前年比 R3.4比	2,832 41 41	2,946 114 155	2,773 ▲ 173 ▲ 18	2,738 ▲ 35 ▲ 53	2,785 47 ▲ 6	2,720 ▲ 65 ▲ 71	2,661 ▲ 59 ▲ 130	2,516 ▲ 145 ▲ 275	2,478 ▲ 38 ▲ 313

＜飛騨地区＞

令和3年5月1日 現在

＜学校基本調査＞

高校入学年月 学 年	R3.4 高1	R4.4 中3	R5.4 中2	R6.4 中1	R7.4 小6	R8.4 小5	R9.4 小4	R10.4 小3	R11.4 小2	R12.4 小1
高山市	784 前年比 R3.4比	804 20 20	790 ▲ 14 6	801 11 17	777 ▲ 24 ▲ 7	753 ▲ 24 ▲ 31	748 ▲ 5 ▲ 36	716 ▲ 32 ▲ 68	702 ▲ 14 ▲ 82	663 ▲ 39 ▲ 121
飛騨市	191 前年比 R3.4比	175 ▲ 16 ▲ 16	182 7 ▲ 9	200 18 9	170 ▲ 30 ▲ 21	159 ▲ 11 ▲ 32	184 25 ▲ 7	164 ▲ 20 ▲ 27	169 5 ▲ 22	162 ▲ 7 ▲ 29
旧神岡町 (内数)	(56) 前年比 R3.4比	(44) (▲ 12) (▲ 12)	(45) (1) (▲ 11)	(58) (13) (2)	(38) (▲ 20) (▲ 18)	(46) (8) (▲ 10)	(44) (▲ 2) (▲ 12)	(43) (▲ 1) (▲ 13)	(47) (4) (▲ 9)	(41) (▲ 6) (▲ 15)
下呂市	263 前年比 R3.4比	229 ▲ 34 ▲ 34	249 20 ▲ 14	285 36 22	266 ▲ 19 3	248 ▲ 18 ▲ 15	250 2 ▲ 13	215 ▲ 35 ▲ 48	222 7 ▲ 41	189 ▲ 33 ▲ 74
大野郡	15 前年比 R3.4比	17 2 2	10 ▲ 7 ▲ 5	8 ▲ 2 ▲ 7	12 4 ▲ 3	8 ▲ 4 ▲ 7	13 5 ▲ 2	17 4 2	12 ▲ 5 ▲ 3	11 ▲ 1 ▲ 4
下呂市	263 前年比 R3.4比	229 ▲ 34 ▲ 34	249 20 ▲ 14	285 36 22	266 ▲ 19 3	248 ▲ 18 ▲ 15	250 2 ▲ 13	215 ▲ 35 ▲ 48	222 7 ▲ 41	189 ▲ 33 ▲ 74
飛騨地区	1,253 前年比 R3.4比	1,225 ▲ 28 ▲ 28	1,231 6 ▲ 22	1,294 63 41	1,225 ▲ 69 ▲ 28	1,168 ▲ 57 ▲ 85	1,195 27 ▲ 58	1,112 ▲ 83 ▲ 141	1,105 ▲ 7 ▲ 148	1,025 ▲ 80 ▲ 228

参考資料2 県外募集に関するチラシ、広報



岐阜県の県立高校では、
18校が県外募集を実施します。



県外募集専用



HPは
こちら

募集学科・分野等詳細は
裏面参照してください。

本件に関するお問い合わせ
岐阜県教育委員会 教育総務課
教育企画第二係

TEL : 058-272-8729

Mail : c17765@pref.gifu.lg.jp

清流の国ぎふ



岐阜南工業 自転車



加茂 ポート



多治見工業 セラミック



恵那農業 ふるさと教育



益田清風 ふるさと教育



高山工業 建築インテリア



飛騨神岡 ロボット



加納 音楽



坂下 福祉



各学校の募集分野・募集学科

特色ある教育で募集

- ◇ 加納高校 <音楽:音楽科>
音楽が専門的に学べる地区有数の進学校！
- ◇ 多治見工業高校 <セラミック:セラミック工学科>
陶磁器のまちでセラミックを学ぼう！
- ◇ 恵那農業高校 <ふるさと教育(食、花と緑):食の農学科群、
世界のラン展で最優秀賞受賞！ 花と緑の農学科群>
- ◇ 坂下高校 <福祉:福祉科> 高い介護福祉士国家試験合格率！
- ◇ 益田清風高校 <ふるさと教育(地域文化伝承):普通科、総合学科、
観光のまち下呂市で地域課題を学ぼう！ ビジネス情報科>
- ◇ 高山工業高校 <建築インテリア:建築インテリア工学科>
歴史と文化のまち飛騨高山で匠の技を継承！



全国で活躍する部活動で募集

- 羽島北高校 <フェンシング:普通科>
- 岐阜総合学園高校 <ホッケー(男子):総合学科>
- 岐阜城北高校 <硬式野球:生活デザイン科、総合学科>
- 岐阜商業高校 <硬式野球:ビジネス情報科、流通ビジネス科、会計科>
- 岐南工業高校 <自転車:機械工学科、自動車工学科、電気工学科、
電子工学科、建築工学科、土木工学科>
- 岐阜各務野高校 <ホッケー(女子):ビジネス科>
- 大垣南高校 <フェンシング:普通科>
- 大垣商業高校 <体操:ビジネス科>
- 海津明誠高校 <ヨット:普通科、ビジネス情報科、生活デザイン科>
- 関有知高校 <ライフル射撃:普通科、生活デザイン科>
- 加茂高校 <ボート:普通科、理数科>
- 飛騨神岡高校 <ロボット:総合学科>



清流の国ぎふ

岐阜県教育委員会

一生モノの
3年間。
応援します。

Characteristic & Attractive
特色・魅力ある
公立高等学校
Senior High Schools

Local & Global
ふるさと教育
探究的な学び
Inquiry

Information & Communication
ICTを活用した
多様な学び
Technology

公立高校へ、行こう

『探究的な学び』×『ICT』

公立高校で「夢」を追求しよう

DATA
高校生の満足度

今の高校に入学して満足している高校生の割合

調査年度	満足している高校生の割合 (%)
R 2	83.8
R 1	82.2
H30	80.9

高校生の意識に関する調査(県立高校2年生全生徒対象、毎年10月調査)
「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したもの(県教育委員会調べ)

令和3年9月
岐阜県教育委員会

特色・魅力ある
公立高等学校一覧
付



あなたのチャレンジを応援



「探究」で学びを充実

すべての学校で生徒全員にタブレット端末を整備し、ICTを活用した多様な学びを推進しています。
ICTをツールに、「ふるさと教育」を通じた「探究的な学び」により、生徒の皆さんの進路実現を図ります。



多彩な学科を設置

地域に応じた多彩な学科を設置し、生徒の皆さんのチャレンジを応援します。
県内のどの地域からでも、すべての公立高校に出願できるので、自分にあった学校を選択することができます。



地域・企業・大学と連携

企業や大学などの外部機関と連携し、専門的な知見に基づいて、より高度で深い「探究的な学び」に取り組みます。
全ての県立学校に学校運営協議会を設置し、地域と一体となった魅力ある高校づくりに取り組みます。

岐阜県立高等学校には **あなたのチャレンジを応援する学校がたくさんあります。**

Q なぜ「探究的な学び」が重要な？

A これからの社会では、互いにアイデアを出し合って、新しいものを創り出す人が求められています。
今後、人工知能技術をはじめとする技術革新などにより、いろいろな考えや価値観をもった人たちがアイデアを出し合って、これまでになかったような新しいものや仕組みを創り出す人が求められています。



大学入試では

- ◆基礎的な学力に加えて、思考力・判断力・表現力を重視した問題が多く出題されるようになります。
- ◆多面的・総合的に評価する入試方法として、**総合型選抜等**の実施が拡大しています。

企業では

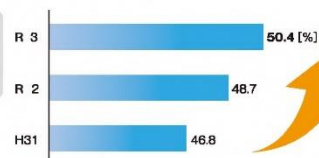
- ◆プロジェクトチームで、いろいろな考えをもった人たちがアイデアを出し合って、新しいものを創り出します。
- ◆多くの企業では、コミュニケーション能力や創造力のある人を求めています。



大学入試では、すでに総合型選抜等の割合が年々高まっており、本県においても、実際に「探究的な学び」の成果を活用して、総合型選抜等により進学する生徒の割合が増えています。

DATA 大学入試の状況

【国公立大・私立大】
大学入学者のうち
総合型選抜等によるもの
(岐阜県)

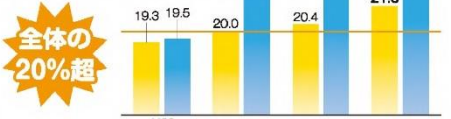


※総合型選抜等
総合型選抜…詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定する入試方法(旧AO入試)
学校推薦型選抜…出身高等学校長の推薦に基づき、調査書を主な資料として評価・判定する入試方法(旧推薦入試)

【国公立大】

国公立大学募集人員全体に占める
総合型選抜等の割合

国公立大学合格者に占める
総合型選抜等の割合 (岐阜県)



全体の
20%超

国公立大学入学者選抜の概況(文部科学省)、本県公立高校卒業者の進路状況(県教育委員会調べ)



「探究」による深い学びを実現

グローバルな視点で探究的な学びを推進

地域の課題等をグローバルな視点で捉え、海外の関係機関等と連携して、課題を発見・解決する「探究的な学び」を推進します。知的好奇心やプレゼンテーション能力の向上を通して幅広い学力を育み、新しい大学入試制度に対応します。

対象校 岐阜、岐阜北、長良、岐山、加納、県立岐阜商業、岐阜農林、大垣北、大垣東、関、可児、多治見北、恵那、斐太、古城



地域に密着した課題を発見・解決する高校

高校と地域の連携を通して、生徒が地域の魅力を知り、地域に密着した課題を発見・解決する「探究的な学び」を推進します。ふるさとへの誇りや愛着とともに、プレゼンテーション能力を育み、新しい大学入試制度に対応します。

対象校 羽島北、各務原、各務原西、本巣松陽、羽島、大垣南、大垣西、郡上、武義、加茂、多治見、中津、益田清風



地域との連携を深め、活性化する高校

高校と地域の連携により、地域と学校とが互いに知恵を出し合い、地域課題を発見・解決する学びを推進します。地元企業等で即戦力となるような人材を育成するとともに、進学においても総合型選抜・学校推薦型選抜等にも対応できる学力を身に付けます。

対象校 山県、揖斐、池田、不破、海津明誠、郡上北、関有知、八百津、東濃、瑞浪、土岐紅陵、恵那南、恵那農業、坂下、中津商業、中津川工業、高山工業、古城、飛騨神岡



地域の企業等と連携して実践的な学びを推進する専門高校

地域産業における各方面の専門家から直接学ぶ機会を増やし、地域と連携した実践的な学びを推進します。地域産業の担い手として、地元企業など最先端の現場で即戦力となる技術や人間性を学びます。

対象校 岐阜総合学園、岐阜城北、県立岐阜商業、岐南工業、岐阜各務野、岐阜農林、岐阜工業、大垣養老、大垣商業、大垣工業、大垣桜、海津明誠、郡上、武義、関有知、加茂農林、東濃実業、可児工業、多治見工業、瑞浪、土岐商業、恵那農業、坂下、中津商業、中津川工業、益田清風、飛騨高山、高山工業

※県立高校(全日朝)のみ掲載しています。

岐阜県立高等学校では

高校の特色に応じた「探究的な学び」を推進します。

DATA 高校生の学びの充実度

日常の授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う高校生の割合

高校生の意識に関する調査(県立高校2年生全生徒対象、毎年10月調査)
「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したもの(県教育委員会調べ)





より分かりやすい授業を展開



「探究的な学び」を推進

「Microsoft 365 Education」は、Microsoft Officeをはじめ、Teamsなどを含むコラボレーションツールで、県立高校の全生徒にライセンスを発行しています。グループの課題研究では、Teams上でPower Pointを共有して発表プレゼンを同時編集したり、意見交流したりすることで、「探究的な学び」を深めることができます。また、アンケートや動画共有により、分かりやすく効率的に授業を進めていきます。



リアルタイム画面共有

リアルタイム画面共有ができる授業支援ツール「MetaMoJi ClassRoom」は、先生が配信した課題に生徒の皆さんがタブレット上で書き込んで解答し、先生のアドバイスをリアルタイムに受けることができます。クラスメイト同士で同時に書き込むことで、協働的に学ぶこともできます。また、自分の意見を発表する時は、自分の画面をクラス全員のタブレット上で表示し、画面上に書き込みながら発表できます。



オンラインでの学びの継続

オンライン会議システム「Cisco Webex Meetings」により、学校外の連携機関を通して、学びの場を地域や海外に広げることができます。気象警報発表等による臨時休業時には、オンライン学習支援に切り替え、学びを止めません。家庭学習を支援できるクラウドサービス「manaba」により、学校外でも小テストやレポートなどに取り組んだり、先生に質問したりすることができます。学習の過程を保存し、振り返ることもできます。



岐阜県立高等学校では

学習の基盤となるICT環境の整備が完了

◎教室にはホワイトボード、プロジェクター、無線LAN完備 ◎すべての生徒に1人1台タブレット端末を貸与(全日制・定時制)

Microsoft 365 Education
Microsoft Office、Teams、Forms、Stream

コラボレーション

Cisco Webex Meetings

オンライン配信



MetaMoJi ClassRoom

授業支援



家庭学習支援

学習支援
ソフトの活用で
学び方が
変わる

- ☑授業がより楽しくなる
- ☑学習方法が広がる
- ☑視覚的に情報が伝わる
- ☑効率よく学習できる など

Gifu Public 特色・魅力ある 公立高等学校 一覧 Senior High Schools

魅力ある公立高等学校が
あなたを待っています。

公立高校の
入試情報はこちら



公立高校へ、行こう

全日制課程

1 全日制 岐阜 岐阜市 ★普通 普通	8 全日制 岐阜城北 岐阜市 ★総合 総合	16 全日制 山県 山県市 ★普通 普通	25 全日制 大垣養老 養老町 ★総合 総合
2 全日制 岐阜北 岐阜市 ★普通 普通	9 全日制 県立岐阜商業 岐阜市 ★商業 商業	17 ◎全日制 羽島 羽島市 ★普通 普通	26 全日制 大垣商業 大垣市 ★商業 商業
3 全日制 長良 岐阜市 ★普通 普通	10 ◎全日制 岐阜南工業 岐阜市 ★工業 工業	18 ◎全日制 岐阜工業 笠松町 ★工業 工業	27 全日制 大垣工業 大垣市 ★工業 工業
4 全日制 岐山 岐阜市 ★普通 普通 ★理数 理数	11 全日制 各務原 各務原市 ★普通 普通	19 全日制 揖斐 揖斐川町 ★普通 普通 ★生活デザイン 生活デザイン	28 全日制 大垣桜 大垣市 ★家庭 家庭 ★福祉 福祉
5 ◎全日制 加納 岐阜市 ★普通 普通 ★音楽 音楽 ★美術 美術	12 全日制 各務原西 各務原市 ★普通 普通	20 ◎全日制 池田 池田町 ★普通 普通	29 全日制 不破 垂井町 ★普通 普通
6 全日制 羽島北 岐阜市 ★普通 普通	13 全日制 岐阜各務野 各務原市 ★商業 商業 ★情報 情報 ★福祉 福祉	21 全日制 大垣北 大垣市 ★普通 普通	30 全日制 海津明誠 海津市 ★普通 普通 ★商業 商業 ★生活デザイン 生活デザイン
7 全日制 岐阜総合学園 岐阜市 ★総合 総合	14 全日制 本巣松陽 本巣市 ★普通 普通	22 全日制 大垣南 大垣市 ★普通 普通	31 全日制 郡上北 郡上市 ★普通 普通
15 全日制 岐阜農林 北方町 ★農業 農業	23 全日制 大垣東 大垣市 ★普通 普通 ★理数 理数	32 全日制 郡上 郡上市 ★普通 普通 ★食品科学 食品科学 ★園芸科学 園芸科学 ★森林環境科学 森林環境科学	33 全日制 武義 美濃市 ★普通 普通 ★商業 商業 ★ビジネス情報 ビジネス情報
24 全日制 大垣西 大垣市 ★普通 普通	34 全日制 関有知 関市 ★普通 普通 ★生活デザイン 生活デザイン	35 全日制 関 関市 ★普通 普通	

★…単位制の課程
(自分の学習計画に基づいて、興味や関心の
ある科目を学習することができます。)
…学科群による募集を実施
◎…令和4年度入学生
の学科改編等

16 全日制
山県
山県市
★普通 普通

17 ◎全日制
羽島
羽島市
★普通 普通

18 ◎全日制
岐阜工業
笠松町
★工業 工業
航空機械工学
電子機械工学
電気工学
電子工学
機械工学
デザイン工学
化学技術工学
数値システム工学

62 ◎全日制
市立岐阜商業
岐阜市
★商業 商業
流通ビジネス
ビジネス情報
会計
グローバルビジネス

19 全日制
揖斐
揖斐川町
★普通 普通
★生活デザイン 生活デザイン

20 ◎全日制
池田
池田町
★普通 普通

21 全日制
大垣北
大垣市
★普通 普通

22 全日制
大垣南
大垣市
★普通 普通

23 全日制
大垣東
大垣市
★普通 普通
★理数 理数

24 全日制
大垣西
大垣市
★普通 普通

25 全日制
大垣養老
養老町
★総合 総合
動物科学
食品科学
園芸科学
環境科学

26 全日制
大垣商業
大垣市
★商業 商業
ビジネス
ビジネス情報

27 全日制
大垣工業
大垣市
★工業 工業
機械工学
電子機械工学
電気工学
電子工学
情報技術工学
建築工学
土木工学
化学技術工学

28 全日制
大垣桜
大垣市
★家庭 家庭
★福祉 福祉
服飾デザイン
食物
生活デザイン

29 全日制
不破
垂井町
★普通 普通

30 全日制
海津明誠
海津市
★普通 普通
★商業 商業
★生活デザイン 生活デザイン




























































































































































































31 全日制
郡上北
郡上市
★普通 普通

32 全日制
郡上
郡上市
★普通 普通
★食品科学 食品科学
★園芸科学 園芸科学
★森林環境科学 森林環境科学

33 全日制
武義
美濃市
★普通 普通
★商業 商業
★ビジネス情報 ビジネス情報

34 全日制
関有知
関市
★普通 普通
★生活デザイン 生活デザイン

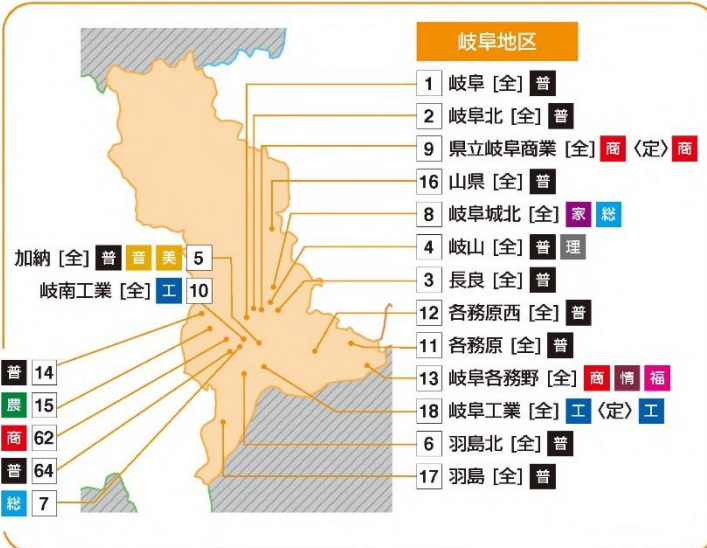
35 全日制
関
関市
★普通 普通

63 全日制 市立関商工 関市 工業 機械工学 電子機械 商業 総合ビジネス	46 全日制 瑞浪 瑞浪市 ★普通 普通 ★専攻 生活デザイン	57 全日制 太 高山市 ★普通 普通	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>	<div> </div>
---	--	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

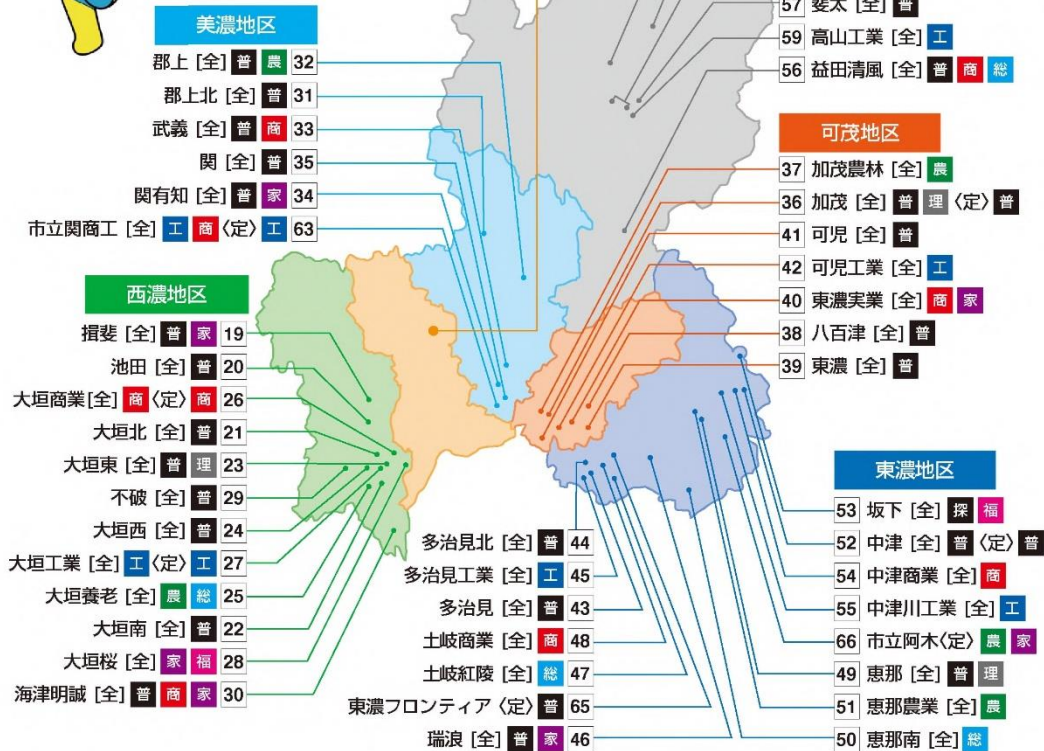


公立高等学校配置図

普	普通科	理	理数科
探	地域社会に関する学科		
音	音楽科	美	美術科
農	農業科	工	工業科
商	商業科	情	情報科
家	家庭科	福	福祉科
総	総合学科		
[全]	全日制課程		
<定>	定時制課程		
(通)	通信制課程		



地域に応じた多彩な学科を設置し、
生徒の皆さんの
チャレンジを応援します。





Q1 公立高校ではどんな学科があるの？

- A1** 高等学校の学科は、学習内容から、「普通教育を主とする学科」「専門教育を主とする学科（専門学科）」「総合学科」の大きく3つに分けられます。
- 普通教育を主とする学科には、普通教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報）を中心に学習する普通科と、普通教科のほかに地域社会が抱える課題や魅力について学習する地域社会に関する学科（地域探究科）があります。
- 専門教育を主とする学科（専門学科）の中で、職業に関する学科には農業、工業、商業、生活産業（家庭、福祉）、情報があり、普通教科のほかに職業に関する専門科目を学習します。その他の専門科目を置く専門学科に理数科、音楽科、美術科があります。
- 総合学科では履修が必要な科目のほかに、普通科目や専門科目などを総合した多様な科目の中から、生徒が主体的に選択した科目を学びます。



いろいろな学科を
調べてみよう



Q2 高校入試の情報を知りたい場合はどうすればいいの？

- A2** 県教育委員会のホームページに高校入試の情報をまとめています。確認してみてください。

○入試に関する情報、過去の出願状況、
学力検査の結果、中学生のための進路情報



○公立高校の学科改編等の情報、
入学定員の情報



入学定員は
10月に発表予定

Q3 高校入試についてわからないことがあって、不安になります。

- A3** 初めての入試ですので、不安に感じている人も多いと思います。これまで高校入試を受検した先輩からの質問を、よくある質問「公立高等学校の入学選抜制度Q&A」として県教育委員会のホームページに掲載していますので、参考にしてください。

○公立高等学校の入学選抜制度Q&Aは [こちら](#)です



岐阜県では、意志あるすべての生徒が安心して教育を受けられるよう、授業料や教育費の負担軽減のための各種支援制度を実施しています。 ※金額等については現時点のものであり、変更の可能性があります。

高等学校等就学支援金

国の就学支援金によって、公立全日制の場合、条件によっては最大年間118,800円が助成されます。

高校生等奨学給付金

教科書学用品等の授業料以外の教育費の負担を軽減するため、非課税世帯等（※1）の生徒に対し、県から奨学給付金が支給されます。条件によっては、最大年間141,700円が助成されます。

（※1）新型コロナウイルス感染症に係る影響により、家計が急変した世帯の生徒にも奨学給付金が支給されます。

＜支給条件＞ ●保護者等が岐阜県内に在住していること ●高等学校等に在学していること 等

(公立高校)	生活保護受給世帯	(年額)	
		非課税世帯等(第1子)	非課税世帯等(第2子以降)(※2)
全日制・定時制	32,300円	110,100円	141,700円
通信制		48,500円	
専攻科	48,500円		

（※2）非課税世帯等(第2子以降)とは、非課税世帯のうち当該高校生以外に15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる世帯の場合をいいます。

上記の他、岐阜県では次のような奨学金制度
(貸付型・申請条件有)を設けています。

- 岐阜県選奨生奨学金 (最大月額 40,000円)
- 岐阜県高等学校奨学金 (最大月額 28,000円)
- 岐阜県子育て支援奨学金(最大月額 28,000円)

これら制度に関する問合せ先 岐阜県教育委員会 教育財務課 管理経理係 TEL058-272-8734(直通)

このパンフレットの内容に関するお問い合わせは、下記まで。

岐阜県教育委員会 教育総務課 教育企画第二係

TEL : 058-272-8729(直通) E-mail : c17765@pref.gifu.lg.jp



このパンフレットで使用する写真は、新型コロナウイルス感染症対応以前のものも含まれています。

参考資料 4 高校生の意識に関する調査

- ・ 目 的 県立高等学校の高校生の日常生活における意識について調査
- ・ 実施期間 令和3年10月1日（金）～10月29日（金）
- ・ 対 象 者 県立高等学校2年生全生徒 回答数12,124人（回答率96.3%）

質問項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	.	計	2021	2020	2019	2018	
選択肢	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない							未記入・ 未回答		肯定 意見	肯定 意見	肯定 意見	肯定 意見	2018年 との差
朝食を毎日食べている。	78.6%	12.3%	4.4%	4.7%							0.0%	100.0%	90.9%	90.7%	90.5%	90.9%	0.0%
自分には、よいところがあると思う。	35.8%	45.3%	13.9%	4.9%							0.0%	100.0%	81.2%	79.3%	78.3%	76.2%	5.0%
将来の夢や目標を持っている。	36.9%	32.7%	19.6%	10.8%							0.0%	100.0%	69.6%	69.8%	68.8%	68.8%	0.8%
高校で学んだことを生かした職業に就きたいと思う。	30.4%	41.7%	19.4%	8.5%							0.0%	100.0%	72.0%	71.8%	70.2%	68.4%	3.6%
学校行事（体育祭や文化祭など）には積極的に参加する。	48.4%	37.4%	10.6%	3.5%							0.0%	100.0%	85.8%	86.8%	85.1%	84.7%	1.1%
岐阜県や自分の住んでいる地域の産業や伝統について知っている。	21.4%	48.8%	22.9%	6.9%							0.0%	100.0%	70.2%	67.3%	65.4%	64.4%	5.8%
岐阜県や自分の住んでいる地域の魅力を伝えることができる。	16.3%	41.0%	31.6%	11.2%							0.0%	100.0%	57.3%	55.1%	53.3%	51.0%	6.3%
今住んでいる地域の行事に参加している。	14.2%	27.8%	33.8%	24.2%							0.0%	100.0%	42.0%	40.7%	39.5%	38.2%	3.8%
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。	18.0%	41.1%	30.0%	11.0%							0.0%	100.0%	59.1%	59.5%	58.2%	53.9%	5.2%
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	12.5%	29.1%	39.3%	19.1%							0.0%	100.0%	41.6%	40.1%	38.9%	34.9%	6.7%
18歳になったら投票（選挙）に行こうと思う。	43.9%	33.4%	15.1%	7.5%							0.0%	100.0%	77.3%	77.1%	77.6%	74.3%	3.0%
今の高校に入学して満足している。	45.0%	39.8%	11.0%	4.2%							0.0%	100.0%	84.8%	83.8%	82.2%	80.9%	3.9%
日常の授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。	25.5%	52.0%	18.9%	3.6%							0.0%	100.0%	77.5%	76.2%	71.9%	69.6%	7.9%
日常の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していると思う。	17.3%	45.0%	29.8%	7.9%							0.0%	100.0%	62.3%	58.4%	54.1%	51.4%	10.9%
日常の授業では、生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う。	26.7%	48.1%	19.8%	5.4%							0.0%	100.0%	74.8%	71.9%	65.1%	61.9%	12.9%
選択肢	話をしている	どちらかといえば、話をしている	あまり話をしていない	全く話をしていない							未記入・未回答		肯定意見	肯定意見	肯定意見	肯定意見	
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	49.7%	30.1%	15.3%	4.4%							0.5%	100.0%	79.8%	78.6%	77.4%	77.1%	2.7%
選択肢	参加したことがある	参加したことがない	わからない								未記入・未回答		参加	参加	参加	参加	
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	70.3%	14.9%	14.1%								0.7%	100.0%	70.3%	68.8%	67.6%	66.1%	4.2%
選択肢	大学に進学する	短期大学に進学する	専門学校に進学する	海外の大学等に進学する	就職する	パート・アルバイト	就職も進学もしない	その他	まだわからない		未記入・未回答		大学進学希望	大学進学希望	大学進学希望	大学進学希望	
あなたは高校卒業後、大学や短期大学、専門学校などに進学を希望しますか。それとも就職を希望しますか。	53.5%	3.2%	12.0%	0.3%	17.6%	0.2%	0.1%	0.3%	12.3%		0.6%	100.0%	53.5%	51.9%	50.6%	50.4%	3.1%
選択肢	岐阜県	愛知県	三重県	中部地方	東京都	関東地方	大阪府	関西地方	その他	まだわからない	未記入・未回答		岐阜県	岐阜県	岐阜県	岐阜県	
あなたは高校卒業後、どの地域の大学や短期大学、専門学校などに進学したいと考えていますか。あるいは、どの地域に就職したいと考えていますか。	28.0%	29.2%	0.4%	3.7%	3.6%	2.0%	1.2%	3.2%	1.5%	26.7%	0.6%	100.0%	28.0%	28.8%	28.7%	27.8%	0.2%
あなたは、40歳になったとき、どの地域で生活したいと考えていますか。	30.9%	9.2%	0.2%	1.9%	4.2%	2.4%	0.8%	1.8%	2.9%	45.2%	0.6%	100.0%	30.9%	32.4%	33.4%	32.8%	-1.9%

○ 県立高等学校のスクール・ポリシー一覧

「三つの方針（スクール・ポリシー）」						
番号	学校名	課程	教育目標	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
1	岐阜	全日制	① 「百折不撓・自強不息」の校訓のもと、不屈でたくましい精神力をもった人材を育成する。 ② 「文武両道」をモットーとして、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人材を育成する。 ③ 勤労を導び、思いやりと奉仕の心をもって社会に貢献する人材を育成する。	・ グローバルリーダーとなるための資質を備え、将来世界で活躍したり、地域の活性化に貢献したりすることができる生徒 ・ 「生命」を大切にすること、他人の価値観の多様性を認め、互いを尊重できる人権意識をもった生徒 ・ 自己の能力や適性、興味を理解して自ら主体的に将来の進路を選択・決定する態度をもつことができる生徒	・ 知的好奇心を喚起し、主体的な学習態度や人間性を育成するための、質の高い授業の実施 ・ 将来の社会貢献につながるような、幅広い分野での専門的な内容の体験プログラムの提供 ・ 探究的な学びや個に応じた学びを重視した通時・適切な支援	・ 不屈でたくましい精神力を持ち、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を、仲間とともに目指したいと考える生徒 ・ 勤労を導び、良心や思いやり、奉仕の心をもって社会に貢献できることを、仲間とともに目指したいと考える生徒
2	岐阜北	全日制	・ 知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する。 ・ 確かな学力を身に付け、創造的思考力と主体的実行力とを併せ持つ生徒を育成する。 ・ 高い志とグローバルな視野を持ち、自身の夢の実現と地域社会の持続可能な発展に貢献できるたくましい実践力を備えた人間性豊かな生徒を育成する。 ・ 倫理観や規範意識に基づく社会性を育むとともに、他者を思いやる心に富む生徒を育成する。 ・ 健康維持や体力づくりを推進し、自他の生命を尊重できる生徒を育成する。	・ 「荒野をひらく探究人」 ・ 自己の哲学の礎を築き、粘り強く物事に取り組める生徒 【自分を啓く】 ・ 知に貪欲になり、主体的・創造的に探究できる生徒 【自ら拓く】 ・ 多様な他者と協働し、課題解決できる生徒 【ともに拓く】	「社会に開かれた教育課程」による「探究人」の育成 ・ 必修科目及び「思考力」「判断力」「表現力」を重視する共通アセス対象科目を学力向上のコア科目（必須科目）として発達段階に応じて配置 ・ 生徒の進路希望や興味関心に対応し、学校設定科目を含む多様な選択科目の充実 ・ 「総合的な探究の時間」等を通して、地域の課題解決など、自らテーマを設定して探究する学びの推進 ・ 各教科等においては、実社会との接点や教科横断的な学びを重視し、「対話的」で「探究的」な「深い学び」の実践 ・ 生徒1人1人等のICT環境や、県の指定事業等を利用し、地域や外部機関との積極的な連携と協働の実施	・ 北高のグラデュエーション・ポリシー（「荒野をひらく探究人」）を理解し、高い志とグローバルな視野を持つて学ぼうとする意欲のある生徒
3	長良	全日制	・ 「開拓者」として広い視野と高い志を持ってチャレンジし続けるとともに、様々な他者と協働し、未来を切り拓くことができる生徒を育成	《知育》 自ら考え、行動できるとともに、多角的な視点で物事を捉えて、よりよい問題解決を目指すことができる生徒 《徳育》 多様性の中で礼節をわきまえ、人とのつながりを大切に、自らの役割と責任を果たすことができる生徒 《体育》 夢や希望を持って挑戦し続け、未来を切り拓くことができる健康な心身を持つ生徒	・ 生徒一人一人の自己実現に向けて、基礎基本の定着と思考力・判断力・表現力を育成するための質の高い授業の創造と個々に応じたきめ細やかな指導の実施 ・ 探究的な学びによる「ふるさと岐阜」への誇りと愛着を育むとともに、グローバル化に対応するコミュニケーション能力（使える英語）や国際的素養を身につけるための教育を推進 ・ 人間力の育成を目指した学習と部活動等の両立の推進を通して、知・徳・体のバランスのとれた指導を実施	・ 大学進学を目指し、主体的に学び、自らの可能性に挑戦したいという意欲のある生徒 ・ 多様性を尊重し、他者と協働しながらよりよい学校や社会を築いていこうとする意欲のある生徒 ・ 文武において切磋琢磨し自己を高め、有為なリーダーを目指そうとする意欲のある生徒
4	岐山	全日制	(1) 「開進岐山」の意気と誇りをもって (2) 全力を尽くして学習に励め (3) 礼儀正しく思いやりのある人となれ (4) 健康な心身をつくれ	・ 社会の一員としての自覚と責任をもち、リーダーとして地域や社会に貢献できる生徒 ・ 強い心身をもち、困難をも克服できる生徒 ・ 科学的な考え方や手法を身に付け、主体的・論理的に課題解決ができる生徒	・ 探究的な活動を通して、物事を考察、判断、表現する力の育成 ・ 実践的な「知識・技能」が習得できるカリキュラムの編成と科学的視点と言語活動を重視した授業の実践 ・ 諸活動を通して自己理解をし、自己実現ができる支援	・ 学習に主体的に取り組む意欲のある生徒 ・ 主体的に自己を見つめることができる生徒 ・ 校内外の活動に取り組む意欲のある生徒
5	加納	全日制	自主自律した個性豊かな生徒を育てる 1 大志を実現するため、学習を導ぶ気風を広め、高い学力を養う。 2 濃やかな感性と国際的な感覚を養うため、文化を尊重する校風を醸成する。 3 品性を豊かな人間性を身に付けたため、高い道徳観及び倫理観を培う。	・ 大志を抱き、高い知性を兼ね備え、自らの理想（ゆめ）に向かって挑戦できる生徒 ・ 個性を認め、他者を尊重して協働することができる心豊かな生徒 ・ 持続可能な社会の創り手として、主体的に課題解決に取り組む、社会に貢献できる生徒（普通科） ・ 音楽や美術の専門性を生かし、将来、芸術分野で活躍できる生徒（音楽科・美術科）	・ 生徒一人一人の個性や長所を伸ばすための教育課程の編成と個に応じた指導の徹底 ・ ICTの活用や授業改善による学びの質の向上と主体的・対話的に深い学びの実現 ・ 自主性や仲間との協調性を育むため、生徒を主体とした学校行事や部活動の運営 ・ 探究的な学びによる主体的判断力、計画立案力、コミュニケーション力、課題解決力の育成（普通科） ・ 個性を尊重した少人数の専門教育による藝術的感性や創造的表現力の育成（音楽科・美術科）	・ 知的好奇心が旺盛で、自分の目標を目指して勉学に励むことができる生徒 ・ 自由な校風の中で、部活動や生徒会活動などに主体的に取り組むことができる生徒 ・ 音楽を専門的に学び、将来、演奏家や指導者などを目指している生徒（音楽科） ・ 美術を専門的に学び、将来、作家やデザイナーなどを目指している生徒（美術科）

番号	学校名	課程	「三つの方針（スクール・ポリシー）」		『どんな生徒を持っているか』	
			『育てたい生徒像』	カリキュラム・ポリシー（GP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
6	羽島北	全日制	<p>校訓「誠実・敬智・進取」に示された言葉の精神を人生の柱として、素直で真面目に表裏を持たず、高い志と真の知恵をもって日本の社会や世界に飛翔できるように、「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成を図る。</p> <p>1 興味・関心を高める授業を進め、確かな学力を育成する。 2 自らの進路を切り拓く力を育成する。 3 「命」を大切にすると、人への思いやりの心を育成する。</p>	<p>・ 思考力と的確な判断力を身に付けるとともに、自ら進んで学ぶ態度を身に付け、自分の意見をしっかりと持ち他者と協働して課題解決に取り組む生徒</p> <p>・ 心豊かで思いやりがあり、多様な人々の互いの人格を尊重する人権感覚に富む生徒</p> <p>・ 地域社会の一員として積極的に考え行動し、常に進取の気概に富む21世紀を担う国際性を備えた生徒</p>	<p>・ 課題発見力・課題解決力を育成するための「課題自体の背景の研究やその調査、探究的な学び」、「主体的・対話的で深い学び」、「キャリア教育」の推進</p> <p>・ 多様な授業形態や活動を「探究的な学び」、「各教科学習」、「高大連携」、「地域連携」に取り入れるとともにICTの活用による生徒のコミュニケーション能力伸長と発信力の育成</p> <p>・ 生徒一人ひとりの個性や長所に応じて、その能力や特性を十分に伸ばすとともに、「私が決める、私の未来」と題された生徒本人が自身の進路目標に沿って構築する本校独自の年次を超えた単位制カリキュラムの実施</p>	<p>・ 基本的な生活習慣を身に付け、お互いや他者の多様性を尊重し、協働しながら主体的に学ぶ意欲のある生徒</p> <p>・ 自ら進路希望の明確化を図り、多様な学びに主体的に取り組む、自己の可能性に挑戦し充実した学校生活を送る意欲のある生徒</p> <p>・ 生徒会活動や部活動などの校内の活動や地域貢献活動などの校外の自主的な活動やボランティア活動に積極的に参加し、より良い学校や社会を築いていくという意欲のある生徒</p>
7	岐阜総合学園	全日制	<p>・ 主体性をもって課題解決に取り組む、自らの可能性を引き出す生徒</p> <p>・ 自己を正しく理解し、自己実現を図るための人生設計力を身に付けた生徒</p> <p>・ 実践性・協働性を通して、自主性と創造性、健康な心身を兼ね備えた生徒</p> <p>・ 他人を思いやりの心をもち、社会で生きる力を持った生徒</p>	<p>・ 生徒一人一人の特性に応じた学力の伸長を図り、深い学びを実現するため、カリキュラム編成と、ICTなどを活用した創意工夫の授業展開</p> <p>・ 総合学科における専門教育とキャリア教育を通して「主体性・思考力・専門性」を養う授業の実施</p> <p>・ 「輝くして美しく」をモットーに、学校生活の充実を図ると同時に、個々の進路実現に合わせた教育活動の実施</p>	<p>・ 向上心を持ち、どのようなことに対しても主体的に学ぶ姿勢がある生徒</p> <p>・ 自ら様々な課題を発見・分析でき、適切な計画を立ててその課題に取り組める生徒</p> <p>・ 他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる生徒</p> <p>・ 他者と協力しながら、社会に貢献しようとする思いがある生徒</p>	<p>・ 基本的な生活習慣が身に付いており、向学心を持ち、学校行事、生徒会活動、部活動などの活動に積極的に参加し、多様な人と協働して学ぶことができる生徒</p> <p>・ 進路実現に向かう中で継続的に努力し、多様な学びや資格・検定、コンクールに主体的に取り組み、自らの可能性を拓く意欲のある生徒</p> <p>・ 部活動でスポーツ活動または文化活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲ある生徒</p>
8	岐阜城北	全日制	<p>・ 主体的に多様な人々と協働して学び、生きて働く知識・技能を身に付け、課題を発見し解決に取り組む生徒</p> <p>・ 心身の鍛磨を図り、個性を尊重し、奉仕の精神を養い、自らの役割と責任を果たせる生徒</p> <p>・ 社会の変化に柔軟に対応し、地域や社会の課題に取り組む、地域社会の発展に貢献できる生徒</p>	<p>・ 生徒一人ひとりがキャリアデザインを具体的に描き、自己実現を図れるよう、各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性を深化させるとともに、キャリア教育を推進し、「主体的・対話的で深い学び」を推進し、知識・技能を習得させ、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を育成</p> <p>・ 基本的な生活習慣の確立と自他の生命を尊重する態度を育て、生徒一人一人の個性を伸ばし、深い学びを実現するための社会に開かれた教育課程の編成と個に応じた指導の実施</p>	<p>・ 基礎学力を有するとともに、高い志と目的意識をもつて学校生活に臨む意欲のある生徒</p> <p>・ 将来、地域創生のために、ビジネスに関する専門的な知識・技術の習得を目指すとうと学習意欲が旺盛である生徒</p> <p>・ 部活動、生徒会、地域等と連携した探究活動など、仲間とともに積極的に取組む意欲に溢れるとともに、自らの伸長のために果敢に挑戦しようとする意欲のある生徒</p>	<p>・ 基礎学力を有するとともに、高い志と目的意識をもつて学校生活に臨む意欲のある生徒</p> <p>・ 将来、地域創生のために、ビジネスに関する専門的な知識・技術の習得を目指すとうと学習意欲が旺盛である生徒</p> <p>・ 部活動、生徒会、地域等と連携した探究活動など、仲間とともに積極的に取組む意欲に溢れるとともに、自らの伸長のために果敢に挑戦しようとする意欲のある生徒</p>
9	岐阜商業	定時制	<p>・ 商業の実習授業や資格検定の取得を通して、商業に関する技能を主体的に身に付けようとする生徒</p> <p>・ 将来の地域社会の担い手として、礼儀を重んじ、社会秩序を守り、進んで協力、奉仕する生徒</p> <p>・ 自分の適性や興味、関心を見極め、進路実現に向けてチャレンジする生徒</p>	<p>・ 少数数授業やICTの活用により、生徒の興味、関心を高め、学びの楽しさや可能性を感じる授業の推進</p> <p>・ 3年間の卒業を可能とする三修制と基礎基本の定着、実習と資格検定の取得に重点においてカリキュラムの編成</p> <p>・ 自己の存在感を実感し、楽しく仲間と協力して活動できる学校行事や特別活動の推進</p>	<p>・ 本校で学びたいという意志を持ち、仲間と協力して生活できる生徒</p> <p>・ 商業の学習に興味、関心があり、資格取得などに目的意識を持って取り組む意欲のある生徒</p> <p>・ 自分を見つめなおし、働きのあり方や学習することにより、コミュニケーション能力や社会性を身に付けたいと考えている生徒</p>	<p>・ 本校で学びたいという意志を持ち、仲間と協力して生活できる生徒</p> <p>・ 商業の学習に興味、関心があり、資格取得などに目的意識を持って取り組む意欲のある生徒</p> <p>・ 自分を見つめなおし、働きのあり方や学習することにより、コミュニケーション能力や社会性を身に付けたいと考えている生徒</p>

「三つの方針（スクール・ポリシー）」				
番号	学校名	課程	『育てたい生徒像』	『生徒をどう育てるか』
			グラデュエーション・ポリシー（GP）	カリキュラム・ポリシー（CP）
10	岐南工業	全日制	校訓「創意実践」のもと、知・徳・体の調和を目指し、心豊かで、創造力・実践力のある産業人を育成します。 全ての教育活動を通して「自立力」「共生力」「自己実現力」をバランス良く身に付けた人づくりを目指します。	・ 自らの行動に責任を持ち、主体的に判断し行動するとともに、工業に関する基礎・基本を身に付けた生徒 ・ 自己の役割を認識しつつ、周囲と協力し、工業の発展のために積極的に自己の能力を生かそうとする生徒 ・ 規範意識・倫理観とともに、創造力・実践力など、職業人として必要な資質を身に付け、工業技術を活用して社会に貢献しようとする生徒
			・ 基礎的、基本的な知識と技能を身に付け、向上心や挑戦心をもつ、知性と創造性を備えた生徒 ・ 豊かな個性を持ち、自己を律することができるとともに、自らや他者をかけがえのない存在として認識し、協調性や協同性とたくましささを備えた生徒 ・ 自己の在り方生き方を考え、地域社会や国際社会の一員として活躍することができる見識と行動力を備えた生徒	
11	各務原	全日制	「開拓者精神～創造・挑戦・協同～」のもと、高い知性、豊かな情操、健全な心身とたくましく生き残る力を持ち、地域社会や国際社会に貢献する人間を育成します。	・ 学力の向上を図るため、習熟度別や少人数による指導、ICT等を活用した指導など個々に応じた「わかる」授業の実施 ・ 多様な進路希望に応じた、進路希望別クラス編成（特進クラスなど）、国際交流推進、部活動活性化（エキスパートクラブ）、高大連携等を包括したカリキュラムの編成と実施 ・ 多様な価値観、課題解決、コミュニケーションを重視した総合的な探究の時間や生徒会行事、地域の人材資源を有効に活用した地域活動の実施
12	各務原西	全日制	生徒一人一人を大切に、その全人的な発達を図る。 学ぶことを愛し、豊かな情操と健全な心身を養い、自らの可能性を追求して個性を伸ばし、将来における自己実現の能力を培い、国家及び社会の有為な形成者となるとともに、国際社会においても貢献できる人材の育成をめざす。	・ 個の進路希望に応じた多様な選択科目と少人数クラス編成による「主体的・対話的な深い学び」の推進 ・ 課題を発見し探究する力や地域社会に貢献できる実践力を育むため、探究的な活動やキャリア教育の実践 ・ 他者を思いやり認め合いながら、人との関わりの中で成長できるように、学校生活全般において様々な経験を重ねることができよう機会の提供
13	岐阜各務野	全日制	強くたくましく心身や豊かな人間性と社会性を育むとともに、社会の要請に対応した高い専門性を有する人材の育成を目指す。一人一人が自己実現を果たすことのできる基礎的な能力と態度の育成に努める。 1 社会の変化に対応し、地域産業の発展を担う人材の育成に努める。 (1) ビジネスや経済の諸活動を主体的、合理的に行い、経済社会の発展を図る総合的な能力と実践的な態度の育成。 (2) 情報社会で活躍できる創造的な能力と美観的な態度の育成。 (3) 人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の増進に寄与できる創造的な能力と美観的な態度の育成。 2 豊かな人間性と高い倫理観を育み、積極的に社会に貢献できる人格の形成に努める。 3 学習や部活動を通して、生涯にわたって健康で明るく豊かな生活が送られるよう心身の健全な発達に努める。	・ 「礼節と礼儀を大切にしたい商業人教育」と「商業の専門性を深める探究的な学び」を両輪として、経済社会で活躍するために商業の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な学びの推進（ビジネス科） ・ 情報産業に関する事象について、主体的に課題を発見し、ICT機器を活用しながら科学的で論理的な方法で創造的に解決していくための探究的な学びの推進（情報科） ・ 実践的・体験的な学習活動を行うことを通じて学ぶ意欲を高め、福祉に関する課題を発見し、職業人として求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する学びの推進（福祉科） ・ 商業の諸活動に興味・関心があり、資格取得に意欲的に取り組む姿勢をもつとともに、経済社会に積極的に参画しリードできる人材になりたいと考えている生徒（ビジネス科） ・ 情報科の学習（プログラミング・映像制作・イラスト制作・アプリ開発・Webデザイン・ネット配信等）に深い興味・関心があり、その知識や技術の習得に努力を惜しまない生徒（情報科） ・ 福祉に関して興味と関心をもち、将来の職業として福祉に関わる職業を希望している生徒（福祉科） ・ 部活動や生徒会活動、ボランティア活動等に主体的に活動し、自己の成長や仲間とのつながりを大切にしようとする生徒

番号	学校名	課程	「三つの方針（スクール・ポリシー）」			
			『育てたい生徒像』	『生徒をどう育てるか』	『どんな生徒を待っているか』	アドミッション・ポリシー（AP）
14	本 県 松 陽	全 日 制	学校教育全体を通じて、「知・徳・体」の調和のとれた、人間性豊かでたくましく生きることができる生徒の育成に取り組む	グラデュエーション・ポリシー（GP） ・ 広い視野と確かな学力をもち、自ら見出した課題に、粘り強く取り組むことができる生徒 ・ 自分の良さや可能性を認識し、コミュニケーション能力を発揮して、多様な人々と協働できる生徒 ・ 心身の健康を常に心掛け、自律的な生活ができる生徒	カリキュラム・ポリシー（CP） ・ 基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、地域との連携を大切にして「探究的な学び」を推進 ・ すべての教育活動において共感的な人間関係づくりを進めるとともに、「対話を重視した、楽しくわかる授業」を推進 ・ 校内外の活動における主体的な取り組みを支援することとで、「自ら考え行動できる力」の育成を推進	・ 自己実現に向けて、学習に取り組む、何事にも挑戦したいという熱意のある生徒 ・ 自分を尊重し、人とのつながりを大切にしている生徒 ・ 地域の一員として自覚をもち、自主的な活動に積極的に参加したいという意欲のある生徒
15	岐 阜 農 林	全 日 制	校訓「不撓不屈」の精神のもと、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、「豊かな心をもつ自立した人間」を育て、進路実現を図ります。	・ 生命を慈しみ、他を思いやり、社会に貢献する岐農生 ・ 社会人として必要な基礎・基本を身に付けた岐農生 ・ 志を高くもち、目標に向かって挑戦し続ける岐農生	・ 産業界や大学等研究機関と連携した探究活動の推進 と、その成果を広く地域に発表する機会の充実 ・ 海外の学術連携校との交流や世界各地の農業を体験的に学ぶ海外研修の推進 ・ 望ましい人間関係の形成や責任感・連帯感を涵養する特別活動、部活動の充実	・ 他者と協働しながら主体的に学び、地域の食・農・環境の持続的な発展に貢献する意欲のある生徒 ・ 高等学校での課題研究を大学でさらに深めようと、自らの可能性に挑戦する向学心・探究心のある生徒 ・ 学校生活の充実や競技力及び技術の向上、人間形成を目指し、意欲的に部活動に取り組む生徒
16	山 県	全 日 制	校訓「自主積極」の精神のもと、真理と正義を愛し、個人の価値観を尊び、自由と責任を重んじ、心身ともに健康で、国際社会や地域社会に貢献できる心豊かな人材を育成します。	・ 卒業後、地域の将来を担う有望な人材となり得る生徒 ・ 自分自身のもつ無限の可能性を信じ、何事にもあきらめることなく、挑戦する生徒 ・ 人の痛みを我が痛みととらえることができる心優しい生徒	・ 「地域に愛され、地域になくはない学校」をセッソーに、山県市・岐阜市・関市・美濃市等の企業・施設・商工会・市役所等と協力した「地域連携型キャリア教育」の充実 ・ 「分かるまで教え、できるまで導く」を合言葉に、少数授業やティームティーチング、義務教育段階の「学び直し」を通して、基礎学力の定着に向けたきめ細やかな指導 ・ 普通類型・商業類型・福祉類型・工業類型を設け、生徒一人一人が自分の興味・関心のある教科・科目を学習することを可能にする単位制の特徴を生かしたカリキュラム編成	・ ボランティア活動や企業実習・インターンシップなどの校外学習に興味をもち、地域や社会に貢献したいと願う生徒 ・ 進路実現に向けて、他者と協働しながら、コソコソと努力するのが好きな生徒 ・ 普通教科以外の学習にも興味がある生徒や、自分の将来の夢を高校生活の中で見つけたいと考えている生徒
17	羽 島	全 日 制	地域の学校として家庭や地域と協力し、社会的な基礎力を身に付けることにより、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな地域に貢献できる生徒を育成する。	・ 基本的な知識・教養を身に付け、自分の意見や考えをしっかりとつづけることができる生徒 ・ マナーを身に付け、社会の一員としての責任を自覚し、進んで社会に参画できる生徒 ・ 他を思いやり、さわやかな挨拶を交わらせる望ましい人間関係が築ける生徒	・ ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善に取り組み、ICT機器を効果的に利用した生徒のレベルに合った生徒の興味・関心を喚起する生徒参加型の授業の実践 ・ 各授業において、タブレットなどICT機器の利用などで「学び直し」の機会を設けるなどによる基礎学力の確実な定着 ・ 各種検定の挑戦・取得を通して、学習に対する意欲を喚起させるとともに進路（進学・就職）に対する意識を高めさせることによる進路の実現	・ 基礎的・基本的な学力を身に付け、さらに本校の学習により専門的知識・技術を身に付けることにより、将来地域の発展に貢献したい生徒 ・ 生徒会・スクラブ・MSリーダー・家庭クラブ等を中心とした奉仕活動や、地域活動へ積極的に参加することにより、豊かな人間性と個性の伸長を図ることができる生徒 ・ 自分の将来について、真剣に考えることができ、挨拶、他者への配慮など社会的なマナーを身に付け、地域で活躍したい生徒
18	岐 阜 工 業	全 日 制	社会や地域から期待される「魅力ある工業教育」を推進する。	・ 「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心の調和」の取れた生徒 ・ 「自立力」「共生力」「自己実現力」のある生徒 ・ 高い志とグローバルな視野を持って夢に挑戦できる生徒 ・ 地域社会の発展に貢献できる生徒	・ 基礎学力の確実な定着と主体的な学習態度の育成、授業規律の徹底 ・ 確かな技術や技能と生きる力を育む、特色ある工業教育の推進 ・ 信頼と愛情を基盤とした共感的な生徒理解に徹する積極的な指導の充実 ・ 将来の自己実現を目指すキャリア教育（進路指導）の推進 ・ 規範意識の高揚を図った部活動の振興	・ ものづくりに興味を持ち、他者と協議しながら主体的に学び、「ものづくり日本一」を目指す生徒 ・ 資格取得に興味を持ち、多様な学びに主体的に取り組む、自らの可能性に挑戦し、「資格取得日本一」を目指す生徒 ・ 部活動に興味を持ち、部活動と学習を両立し、3年間意欲的に取り組み、「部活動日本一」を目指す生徒
		定 時 制	社会や地域から期待される魅力ある工業教育の推進	・ 基礎・基本の内容を確実に身に付けた生徒 ・ 豊かな人間性や自ら学び自ら考える力など「生きる力」をもった生徒 ・ 学習と勤労の両立を図り、礼儀正しく基本的な生活習慣を確実に身に付けた生徒	・ ものづくりに興味・関心を深め、様々な資格取得に対し積極的に挑戦する学習姿勢をもった人材の育成 ・ 自ら学び自ら考える力の育成に努め、主体的に問題解決する能力が身に付くよう体験的・問題解決的な学習活動の充実 ・ 自ら進んで文化やスポーツに親しみ、心身の健康を保持・推進するとともに、人間性・社会性が育まれるような特別活動の指導	・ 働きながら学ぶ姿勢があり、学校生活を真面目に送り、ねばり強く努力できる生徒 ・ 工業分野やものづくりに興味・関心がある生徒 ・ 部活動、生徒会活動などに積極的に参加できる生徒

番号	学校名	課程	教育目標	「三つの方針（スクール・ポリシー）」		
				『育てたい生徒像』	『生徒をどう育てるか』	『どんな生徒を待っているか』
19	掛 斐	全 日 制	豊かな心と自ら学び、自ら考える力を育成し、知・徳・体の調和のとれた人格を養い、地域社会に貢献できる人間を育てる。	グラデュエーション・ポリシー（GP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
				・基礎学力を高め、学校生活のあらゆる場面で自ら学び・考え・行動できる生徒 ・多様な価値観を尊重し、仲間に対して心配りをしながら協働できる生徒 ・目標を達成するために挑戦し続けるとともに、「ふるさと掛斐」に貢献できる生徒	・学校設定科目「掛斐Basic」と、ICTの活用や対話的な学習による、社会人として必要な基礎学力の定着と主体性・コミュニケーション能力の育成 ・生徒が自信をもって進路実現ができるよう、専門分野を深く学ぶために外部教育を活用した出前授業や、自ら地域に飛び出しておこなう体験学習・地域交流・「デュアル実習」など、社会に開かれた教育課程の実施 ・規律ある学校生活や様々な学校行事や課外活動による、自らを律して行動する力と他者を思いやり尊重する心の育成と、社会貢献の精神の涵養	・将来の目標を実現するために専門性を高めようとする生徒 ・仲間を思いやり・気づかい、コミュニケーションを大切にする生徒 ・自然豊かな掛斐で学び、将来もふるさと掛斐に貢献したい生徒
20	池 田	全 日 制	校訓「向学・友愛・練磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。	・池高で身に付けた知識やスキルを活かして、自立（自律）し、自分で考え、困難に立ち向かう努力ができる生徒 ・池高で伸ばした個性や知性を武器に、環境の変化を恐れず、自信をもって挑戦できる生徒 ・池高で育んだユネスコスクール等の理念を誇りに思い、持続可能な地域・社会・未来の実現に向けて、多様な人々と協働しながら、地域のリーダーとして行動できる生徒	・個々の生徒の能力や学習状況等に応じて常に工夫改善し、生徒自らが学力の定着と向上を図っていく、探究的な授業の実施 ・授業や課外活動で培った知識・スキルを活かし、主体的で協働的な探究活動を通じて、自身のキャリアアステージにつなげる「総合的な探究の時間」の実施 ・ユネスコスクールとしてESD、SDG sを推進し、グローバルな視点をもちながら、地域と協働する実践的な探究活動の実施	・将来の夢や目標に向け、自分の基礎を築き、自分の強みを伸ばすために、探究的な学びに挑戦したい生徒 ・自身をしっかりと見つめ、さらに多様な他者との対話を通して、考えを広め深める体験がしたい生徒 ・ユネスコスクールの理念に賛同し、福祉・環境・国際等の分野で活躍したい生徒
21	大 垣 北	全 日 制	人間尊重を基調とし、知・徳・体の調和のとれたたくましく豊かな人間性を育み、高い志とグローバルな視野をもって人類・社会に貢献できる有能な人材を育成する。そのため、「誠実・友愛・努力」を本校の生活信条とし、その具現に努める。	・幅広い知識と教養をもち、グローバルリーダーとして国際社会の平和と発展に貢献できる生徒 ・豊かなコミュニケーション能力と高い倫理観をもち、多様な人々と協働することができる生徒 ・主体性と積極性をもち、自らが考えて地域や国の未来を切り拓いていくことができる生徒	・グローバルな視野と幅広い教養を育み、持続可能な社会の実現に貢献できる資質・能力を育成する探究活動の推進 ・基本的な知識の確実な習得とともに、主体的、能動的に学び合い、論理的な思考力や考察力を高める授業の実施 ・知・徳・体の調和のとれた、自主的で、たくましく豊かな人間性を育成する行事や生徒会活動、課外活動の実施	・地域や世界の様々な事象に関心をもち、自ら課題を発見し、その解決に向けて誠実に探究していける生徒 ・授業はもちろん、行事や部活動などどの方面にも積極的に取り組むとともに、友愛のこころをもって協働的に取り組める生徒 ・知的好奇心が旺盛で、主体的な学びを通して、幅広い教養を身に付けるよう不断の努力ができる生徒
22	大 垣 南	全 日 制	生徒一人ひとりの知・徳・体の調和のとれた人格形成を目指し、豊かな人間性と健全な心身を育み、自らの可能性を追求し地域社会に貢献できる生徒を育成する。	・確かな学力を身に付け、よりよく課題を解決する思考力・判断力・行動力をもち、自立して主体的に行動することができるとともに、豊かな情操と規範意識をもち、自己効力感が高く、他者を思いやり地域や社会に積極的に貢献しようとする心に富んだ生徒 ・健康維持や体力づくりに努め、自他の生命を尊重し、たくましく生きる力を身に付けた生徒	・課題発見力・課題解決力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」を推進しICT等を活用したコミュニケーション能力と発信力の養成 ・生徒一人ひとりの個性や長所を伸ばすためのカリキュラムの編成と、個に応じた細やかな指導による自己効力感の伸長 ・勉強と部活動を両立させ心身ともに健康で人を思いやる豊かな人間性の涵養	・大学進学を目指し、多様な学びに主体的に取り組む、自らの可能性に挑戦したいという意欲のある生徒 ・向上心をもち、部活動や生徒会活動に積極的に参加し、他者と協働してよりよい学校や社会を築いていくという意欲のある生徒
23	大 垣 東	全 日 制	社会のリーダーをめざすにふさわしい人間を育てる。	・高校段階の確かな学力を身に付け、更なる高い志をもち、自らが設定した目標の達成のために粘り強く努力することができるとともに、日本文化への深い造詣と地球規模の広い視野をもち、他者への共感とともに多様な価値観や考えを受け入れ、協働して課題を設定し、その解決に取り組むことができる生徒 ・真善美という崇高な理想を掲げ、人格の陶冶をめざして生涯にわたって学び続けることができる生徒	・基礎学力の定着を徹底し、自ら考え、判断し、表現できる力を高めるための指導及び個に応じたきめ細かい支援の実施 ・自己肯定感を育むとともに、適切かつ時宜を得た課題設定と働きかけに基づいた、生徒が主体性を発揮するための教育活動の展開 ・人間探究を基礎とした、様々な分野の研究を通して、世界中の人たちと共に主体的で対話的な深い学びを実践する中で、コミュニケーション力や洞察力、創造力、挑戦力等を育むための課題解決型の学習の推進	・将来に対する高い目標をもち、進路実現に向けて授業等にも積極的に参加しようという意欲のある生徒 ・善悪を正しく判断し、規則を守ることができるとともに、自他の命や権利を大切に、仲間と支え合いながら豊かな人間関係を構築しようとする意欲のある生徒 ・「世界をよりよくしたい」という大きな信念を抱き、様々な社会課題に対する興味・関心をもち、自ら課題を見つけて最後まで取り組む意欲のある生徒
24	大 垣 西	全 日 制	「至誠一貫」の校訓のもと、人間尊重の基盤に立ち、知・徳・体の調和のとれた人格形成をめざし、自他に対して至誠を貫き、自主・自律の精神と創造性に富む資質の啓蒙を期する。	・知・徳・体の調和のとれた人格を形成し、心豊かな情操と道徳的実践力を持つ生徒 ・何事にも自主的・自律的に取り組む姿勢と創造性に富む資質を身につけた生徒 ・地元地域を愛し、仲間とともに将来の地域社会へ貢献していく生徒	・基礎基本を重視した学習指導や探究活動を通じた学力の向上 ・学校行事や部活動等を通して生徒相互が切磋琢磨し、主体的に学び考える能力の育成 ・単位制の利点を生かして多くの選択科目を展開し、生徒一人一人が個性の伸長を図りながら自己の進路を実現	・義務教育段階の基礎的な能力を身に付け、さらに高い能力を目指し自分を向上させたい生徒 ・進学を志し、自分に合った選択科目を主体的に学習して自らの可能性へ挑戦する生徒 ・生徒会活動や部活動、地域活動などに積極的に参加し、より良い学校生活や地域社会を築いていくという意欲のある生徒

番号	学校名	課程	教育目標	「三つの方針（スクール・ポリシー）」		
				『育てたい生徒像』	『生徒をどう育てるか』	『どんな生徒を待っているか』
25	大垣養老	全日制	「質実剛健・自主創造」の校訓のもと、生徒の将来の自己実現と幸せな人生を願い、知・徳・体の調和のとれた人間性を育て、自立と共生をもって地域に生きる有為な人材を育成する。	グラデュエーション・ポリシー（GP） ・ 確かな基礎学力と専門的な知識技術や資格を取得し、課題解決力と創造力を身に付けた生徒 ・ 自ら考え、他者を尊重し、協働して目標達成に向けて行動できる、地域の担い手となる生徒 ・ 明るく元気で、挨拶ができ、社会のルールやマナーを守る態度を身に付けた生徒	カリキュラム・ポリシー（CP） ・ 「課題研究」や「総合的な探究の時間」を中心とした課題発見力・課題解決力の育成と、地域に開かれた教育課程・地域連携学習の推進 ・ 一人一人の生徒が自己肯定感をもって活躍できる、より多くの学びの機会を設定 ・ 生徒一人一人の多様なニーズを把握し、総合学科と農業科の特性を生かした個に応じたきめ細かな指導の推進	アドミッション・ポリシー（AP） ・ 好奇心・向上心、専門科目を学ぶことに興味があり、自分の良さと夢を見つけ努力できる生徒 ・ 協働する心、他者を尊重し、他者とともに学ぼうとする素直な姿勢を持った生徒 ・ 社会への関心、地域の活動や部活動に積極的に参加しようとする意欲を持った生徒
				・ 事実を客観的に分析し、新しい価値を創造するとともに、地域を支えるために行動できる生徒 ・ 課題解決に向けて論点整理ができ、課題解決に向けた方策等を立案・提案することができる生徒 ・ 事実を多面的に捉え、論理的に考えをまとめることができる生徒	・ 企業等と連携した取組（商品開発、販売実習等）及び高度で専門的な職業能力を有する人材による講義・実習等の学習活動 ・ ICT等を活用しながら、ビジネスで役立つ知識と技術等を身に付けるための実践的・体験的な学習活動 ・ 答えが一つでないことの多い経済社会にあつて、課題に対し論点を明確にし、他者と協働しながら実行、検証する課題探究的な学習活動	・ 「志」…高い目標を持ち学習活動や部活動等に積極的に取り組む、自分の未来を切り拓く意欲を持った生徒 ・ 「向上心」…ビジネススキル等を身に付けるために、目的意識を持ち目標に向かってチャレンジする生徒 ・ 「思いやる心」…本校の生徒であることに誇りと自信を持ち、他者を尊重し、思いやりの心を持つ生徒
26	大垣商業	定時制	① 知徳体の調和のとれた豊かな心と健康な体の育成 ② 地域・家庭・学校の連携協力による明るく、活力ある地域社会人の育成	・ 社会生活を送るうえで必要な基礎的な学力を身に付け、社会の一員として主体的に行動できる生徒 ・ 自分の言動が人にどのような影響を与えるかを考え、固定概念にとらわれず柔軟な発想をもって人と接することができる生徒 ・ 地元を愛し、地域の一人として働くことができる生徒	・ 基礎学力を向上させた普普通通教科と、専門的な学力をつける専門教科（商業）をバランスよく配置したカリキュラムの編成とICT等を活用した「わかる授業」の実践 ・ 少人数授業などにより、生徒の実態に合わせた学び直しを取り入れながら、基礎・基本の定着を図る学習活動の実施 ・ 全職員で全校生徒を見守り、授業だけでなく、学校行事や部活動などすべての教育活動を通して、協力・協調できる人間性の育成	・ 新しい学校生活に意欲をもち、日々の学習や行事などに取り組むことができる生徒 ・ 「働きながら学ぶ」ことに自覚と誇りをもつ等、自己実現の意欲があり将来の目標に向かって努力できる生徒 ・ 他人に対する思いやりの気持ちを持ち、相手の立場を理解して物事を考え、行動できる生徒
				・ ふるさとを愛し、人権を尊ぶ協調の精神をもち、グローバルで持続可能な視点を有し、地域の発展に貢献できる実践力と問題解決能力を身に付けた生徒 ・ 将来のキャリアパスをめざして、絶えず新たな知識や技術を習得する創造性豊かな生徒 ・ 心身ともに健康で高い志をもち、社会から信頼され、チャレンジ精神をもった生徒	・ 各教科の授業・実習等では、課題解決へ向けて「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進 ・ 学ぶことと働くことの意味、目的をしっかりと考え、コミュニケーション力の向上を図り、ものづくりに関する知識、技能だけでなく、技術の変化に対応できる力の育成 ・ 生徒一人ひとりの個性や長所が伸張でき、深い学びを実現するためのカリキュラムの編成と個々に応じた細かな指導の実施	・ 工業の分野に興味をもち、主体的・継続的な学びの姿勢で、未知の領域に挑戦しようとする意欲と熱意をもって学ぶ生徒 ・ 幅広い教養と高い専門性を得るため、自ら積極的に学び、考え答えを導きだそうとする行動力をもっている生徒 ・ 部活動、生徒会活動、地域活動に積極的に参加し、より良い学校や社会を築いていこうという意欲のある生徒
27	大垣工業	全日制	心豊かな人間性と、創造性を兼ね備えた実践的な産業人の育成を図る。	・ 普通教科の基礎学力と工業科目に関する専門的な知識と技能を身に付け、主体的に課題解決に取り組むことができる生徒 ・ 相手を思いやる謙虚な心と望ましい人間関係を構築できる力をもち、社会のルールに基づいて、主体的に判断して行動することができる生徒 ・ 望ましい勤労観や職業観を身に付け、技術とコミュニケーション能力のある産業人として地域社会に貢献できる生徒	・ ICT機器を活用した分かれやすい授業で基礎基本の定着を図り、検定取得に向けて個別指導を行うなど、学習意欲を高めるための個別最適化した学びを推進 ・ 授業や生徒会活動等のなかで生徒が協働して学ぶ場面を意図的に設定し、課題解決に向けた探究的な学びを推進 ・ ものづくり教育、インターンシップやアルバイト、地域人材による講演会等とおしてキャリア教育及び就職支援を推進し、生徒の進路実現能力を育成	・ ものづくりやコンピュータの操作に興味があり、将来、産業人として地域の発展に貢献したいと考えている意欲のある生徒 ・ ルールやマナーを守りながら卒業をめざして仲間と楽しい学校生活をおくり、信頼される大人になるために人間的に成長したいと考えている生徒 ・ 進路目標達成のため、積極的に資格や検定の取得をめざし、学力や技術、コミュニケーション能力を身に付けていこうとする生徒
				・ 確かな学力の定着と家庭・福祉の専門的な知識・技術を身に付けるために、自ら学び自ら考え、主体的に学習に取り組む生徒 ・ 基本的な生活習慣を確立し、規範意識を身に付けて、正しく判断し、主体的に社会に貢献しようとする生徒 ・ 望ましい勤労観や職業観を養い、職業人として必要な豊かな人間性と能力の伸長に努める生徒	・ 規律ある生活態度を身に付け、自ら判断し行動できる態度の育成 ・ 基礎的・基本的な学力の向上を図り、家庭・福祉の専門的な知識・技術を習得でき、一人一人の進路実現を支援 ・ 家庭や地域社会と連携・協働し、安全で安心な学校づくりを推進	・ 基本的な生活習慣を身に付け、自ら学習環境を整えて充実した学校生活を送ろうとする生徒 ・ 家庭・福祉の専門的な学習をとおして、自ら課題を見つけ、解決し、地域社会に貢献しようとする生徒 ・ 情報モラルや規範意識の向上に努め、防災意識を高め、自分の命は自分で守ろうという強い意欲をもった生徒
28	大垣桜	全日制				

「三つの方針（スクール・ポリシー）」					
番号	学校名	課程	教育目標	『育てたい生徒像』	
			グラデュエーション・ポリシー（GP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	
32	郡上	全 日 制	校訓「凌霄」精神のもと、主体的に学び、可能性に挑戦。多様な他者と協働し、ふるさと愛をもち、地域社会に貢献・活躍する様々な人材を育成する。	○ 自分に自信をもてる生徒（自己肯定感の高い生徒） ・ 自身のストロングポイントを生かし、自分らしさを軸力として予測困難な社会の中で力強く生きる自立した生徒 ○ 心が美しい生徒 ・ 多様性を尊重し、協調する力を持ち、世界の一員として正しく行動する生徒 ○ ふるさとに誇りと愛情をもった生徒 ・ 人情味や伝統文化を育んだ郷土に誇りをもち、育んだ能力を地域創成に生かす意欲をもつ生徒	○ 学びたいことが学べるカリキュラム ・ 一人ひとりの可能性を見極めて進路選択の能力を育み、生徒の意欲に応えられるカリキュラム ○ やりたいことが思い切りできる教育活動 ・ 行事や生徒会活動、部活動の充実した取り組みの中で人とつながり、視野を広げることのできる意味を創造 ○ 一流に触れさせ、本質や本物を求める授業等の展開 ・ 生徒の興味や資質に応じた幅広い選択、及び企業や地域から招聘した外部講師の活用を通して好奇心を伸ばし、自ら学ぶ学習者を育成
				『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP） ○ やる気のある熱い生徒 ・ 学習や部活動、地域の活動、校内外行事で何かを成し遂げたいという情熱を秘めた生徒 ○ 人の気持ちを考えられる生徒 ・ 自分や他者を大切に思い、また、その気持ちを伝えられる生徒 ○ ふるさとを大切に想う生徒 ・ 郷土に誇りと愛情をもち、地域の方と積極的に関わりながら社会で生きる力を身に付けたい生徒	
33	武義	全 日 制	教科の学習や特別教育活動を通して、調和のとれた人格を形成することにより、高い志を持ち将来社会の発展に寄与できるリーダーの育成を目指す。	・ 夢や希望に向けて自ら学習や部活動に励む生徒 ・ 自分で正しい判断や行動ができる生徒 ・ 地域に愛着を持ち地域の発展に貢献できる生徒	・ 知識や技能の定着と、学ぶ意欲、学ぶ習慣の育成 ・ 一人一人の個性や能力の伸長と文武両道の実現を推進 ・ ふるさと教育やSDG s 教育の実践を通し、課題を解決する力の育成
				・ 自分で目標を定め、勉強や部活動に意欲的に取り組む生徒 ・ 自他の違いを認め合い、心の優しさと強さを持った生徒 ・ ふるさとを愛し、地域の様々な活動に積極的に参加する生徒	
34	関有知	全 日 制	生徒一人一人の「生きる力」を育むため、個々の能力や長所を伸ばし、優れた創造性と豊かな社会性をもった逞しく実践力のある心温かな人間を育み、よき地域社会人の育成を目指す。	・ 地域の暮らしと仕事、文化を守り、よき地域社会人と して社会に貢献できる生徒 ・ 基礎力を身に付け、優れた創造性と豊かなコミュニケーション能力を持ち、他者と協働できる生徒 ・ SDG s の視点に立ち、広い視野から思いやりの心を持って物事を考え、社会や地域の抱える課題の解決に、積極的かつ継続的に取り組もうとする生徒	・ 生徒一人一人の個性や長所を伸ばし、深い学びを実現するための、基礎力の習得を重視したカリキュラムの編成 ・ ICT機器を活用した授業、習熟度別授業、少人数授業・ディベート・チームワーク等の多様な授業形態及び評価を工夫した、個々に応じた細かな指導の実施 ・ 地域の暮らしや仕事に親しみ、地域文化の素晴らしさを実感するとともに、SDG s の視点から地域や社会の課題を考える体験の実施
				・ 地域の暮らしや仕事、文化に興味を持ち、将来、地域の暮らしと仕事、文化を守り、よき地域社会人として地域の課題を解決していきたいと考える生徒 ・ 基礎力をしっかりと身に付け、自らその上にさらに深く学ぶことで、自身の可能性を伸ばし、進路目標を実現したいと考える生徒 ・ 思いやりの心とコミュニケーション能力を持ち、社会で他者とよりよく関わり、社会貢献をしたいと考える生徒	
35	関	全 日 制	豊かな人間性を備え、課題発見・課題解決力を活かし、自己実現と社会貢献ができるひとを育成する	・ 高校時代に確かな学力を身につけ、自分の将来を設計できる生徒（日々錬磨） ・ 課題解決力やコミュニケーション力を身につけ、どんな困難にも立ち向かえる生徒（進取の気概） ・ 豊かな人間性を身につけ、人の立場を理解し、思いやりある行動がとれる生徒（至誠の心） ・ グローバル社会にふさわしい素養を身につけ、多文化共生をめざすことができる生徒（グローバルな視野）	・ 教育課程の編成や授業改善により「思考力」「判断力」「表現力」「コミュニケーション力」を伸長し、多様化する大学入試制度等に対応した進路指導を実現（Study hard!） ・ 生徒会活動・部活動及び学校行事への主体的参加を促し、集団における個の役割を自覚させるとともに、個を活かす集団づくりを支援（Work hard!） ・ 学校生活の中で、互いを尊重できる人間関係の構築と、感謝の気持ちを大切にした行動の具現化を図り、生徒の心身の健康保持のため、家庭との連携を強化（Be polite!） ・ 総合的な探究の時間で取り組むSDG s の実現に向けた課題解決型研究を通して、グローバルな視野をもち、多分野で活躍できるひとを育成（Be global!!）
				・ 高校時代に基礎学力を向上させ、卒業後は大学等に進み、より深く学びたいと考えている生徒 ・ 自ら課題を発見し、その課題を解決しようという意欲にあふれた生徒 ・ 学ぶこと・知ることの楽しさを見つめたいと強く願う生徒	

番号	学校名	課程	「三つの方針（スクール・ポリシー）」			
			『育てたい生徒像』	『生徒をどう育てるか』	『どんな生徒を待っているか』	アドミッション・ポリシー（AP）
36	加茂	全日制	「文武両道」の校風を生かし、「高い学力」「健康でたくましい心身」「豊かな人間性」を備え、自立した生徒を育成します。	<p>・ 自分の個性や適性に応じた目標を定め、最後まで粘り強く挑戦できる生徒</p> <p>・ 様々な課題を発見し、他者と協力しながら、主体的に課題解決に向けて取り組める生徒</p> <p>・ 人と繋がる力を養い、多様な価値観を理解して、将来地域社会でリーダーとして活躍できる生徒</p>	<p>・ 自律した学習者」となれるよう個に応じた適切な支援を行いながら、進路目標の達成に向けて意欲的に学習できるよう、3年間を見通したキャリア教育を推進</p> <p>・ 基礎・基本から深い学びまでを視野に入れた授業を組み立てるとともに、科学的な探究心や知的好奇心を喚起し、地域と協働して地域社会に向けて発信できるような課題解決型の学習を推進</p> <p>・ 様々な学校行事、部活動、ボランティア活動等、互いに協力しながら一人一人が活躍できる場面を通じてコミュニケーション能力や社会性を養えるよう、3年間を見通した計画的な活動を推進</p>	<p>・ 多様な学びに自ら取り組み、自分の可能性に挑戦し、将来の目標を実現しようという意欲のある生徒</p> <p>・ 学校行事や部活動等の活動に積極的に参加し、充実した学校生活を築いていこうという意欲のある生徒</p> <p>・ 社会と積極的に関わりをもち、一人一人の個性を尊重しながら相手を思いやり、協働して物事を進めようという意欲のある生徒</p>
		定時制	「基礎学力」と「バランスの取れた人間性」を備え、「社会に出て自立して生きていける人間」を育成します。	<p>・ 目標に向かって情いっばい努力し、チャレンジする生徒</p> <p>・ 多文化共生社会の一員として適応できる、自律心と協調性を備えた生徒</p> <p>・ 集団をよりよい方向へ導く調整力や発信力を備え、進路を切り開く力を身に付けた生徒</p>	<p>・ 少人数授業、ティームティーチング授業、ICTの活用等とおして、学びなおし授業を丁寧に実施するとともに、漢字・日本語能力及び計算能力の定着を図りながら、生徒の特性に応じて、検定合格等に挑戦させる、きめ細かな指導の推進</p> <p>・ 外国人生徒の日本語支援にあたる職員やスクールカウンセラー等の相談員、外部の専門機関等による支援体制の充実を図りながら、個人懇談、保護者懇談をきめ細かく実施するとともに、学校行事や部活動の活性化を推進</p> <p>・ グループ対抗校内日本語プレゼンテーション大会をと おしてコミュニケーション能力や発信力を育成するとともに、外部機関と連携した進路ガイダンス、企業訪問、卒業生から下級生への助言等、情報収集の機会を充実させ、発達段階に合わせたキャリア教育を推進</p>	<p>・ 自らの可能性を信じて挑戦したいという向上心をももち、目標を見つけて継続して努力したいという意欲のある生徒</p> <p>・ 他者の良さを認めながら、人となりがあって学校生活を送りたいと願う生徒</p> <p>・ 学校行事や生徒会活動、部活動に積極的に参加し、充実した学校生活を築いていこうという意欲のある生徒</p>
37	加茂農林	全日制	校訓「至誠勤労・質素剛健」の下、「いのちを育み、そしていのちから学ぶ」をスローガンに、夢の実現を目指す生徒一人ひとりの良いところを見つけ、励まし支える教育を推進し、広い視野と高い志をもって地域社会に貢献できる人材を育成する。	<p>・ 思いやりと協働の精神を培い、自らの役割と責任を果たせる生徒</p> <p>・ 確かな学力とコミュニケーション能力を身に付け、自ら学び、自ら考え行動し、主体的かつ協働的に課題を解決していける生徒</p> <p>・ 産業人として必要な豊かな人間性を育み、地域社会や産業界に貢献できる生徒</p>	<p>・ 実践的・体験的な学習活動を通して学び、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人としての資質・能力を育成</p> <p>・ 主体的・対話的で深い学びを実践するプロジェクト学習により、科学的な思考力・判断力・表現力を養い、課題解決能力と実践力を育成</p> <p>・ 生徒一人ひとりの個性や長所を十分に伸ばす、個に応じた細かな指導の実施</p>	<p>・ 植物や動物を育てること、食や環境など本校の学習内容に興味・関心がある生徒</p> <p>・ 実験・実習などの実践的・体験的な学習に、意欲的に取り組める生徒</p> <p>・ 将来、食料供給・環境創造などの各分野について大学等で学習を深めたり、農業や関連産業で地域貢献しようとする生徒</p>
38	八百津	全日制	21世紀の社会を担うのに必要な、自律の精神、実践を伴う行動力、創造性豊かな人間の育成を目指す。	<p>・ 自律：自分の可能性を見つけ、目標に向かって継続的に努力することで自己肯定感を醸成し、自らの意志で適切な判断や行動ができる生徒</p> <p>・ 実践：自分を信じ、困難を恐れずに校内外の様々な教育活動に積極的に挑戦・努力し、3年間の高校生活で「健やかな体」と「確かな学力」を培い、卒業時には「自分を変えられること」ができた」と実感できる生徒</p> <p>・ 創造：自分の挑戦と努力で培った力を、さらにいろいろな人と共に高め合い、認め合いながら、力を合わせて社会の一員として社会に貢献し、ふるさとを愛しふるさとの未来のために自らの夢を創造できる「地域社会人」となる生徒</p>	<p>・ 多様な進路志向に応えられるカリキュラムの編成と体系的なキャリア教育を推進するとともに、「連携型中高一貫教育」や「デュアル・システム『企業実習』」を始めとする地域と連携した学びを通して体験と実践を伴う探究的な学びの推進</p> <p>・ 学び直しや学びを高めるための習熟度別授業や少人数授業を多く開講し、小規模校だからこそできる個々の生徒に寄り添ったきめ細かな支援の実施</p> <p>・ ICT機器を活用し、理解しやすい効果的な授業を展開するとともに、主体的・協働的・探究的な学びを通してコミュニケーション能力と発信力の育成</p>	<p>・ 基本的な生活習慣が身につけられており、高校に入っても社会や学校のルールを守って落ち着いた生活を送ることができる生徒</p> <p>・ 中学校での学びを基礎からもう一度学び直そうという気持ちで働く、入学後も継続的に学び続けるとともに、部活動、生徒会活動やボランティア活動に積極的に参加しリーダーシップを発揮することで「自分を変えよう」という向上心が強い生徒</p> <p>・ 地域社会が有する諸課題に対して興味を持ち、仲間とともに様々な活動を通して地域の活性化に貢献することを志す生徒</p>
39	東濃	全日制	知・徳・体の調和のとれた将来有為な人材を育成します。	<p>・ 自ら学び、自ら考え、判断し適切な行動ができる生徒</p> <p>・ 多様な価値観、個性、文化を認め、互いを尊重して行動できる生徒</p> <p>・ 変化する社会に適応して、地域に信頼され、貢献できる生徒</p>	<p>・ 生徒の実態に合わせた主体的・対話的で深い学びを実現するためのカリキュラムの編成と授業実践</p> <p>・ 多様な価値観や個性を持つ生徒どうしの学校生活を通して、互いを尊重し互いに認めあひながら、自己肯定感を伸長することのできる人間性の育成</p> <p>・ 地域や外部と協働し、すべての特別活動、部活動や教科学習を通じて、地域の課題を発見・解決できる「主体的・対話的で深い学び」や「探究的学び」の推進</p>	<p>・ 基本的な生活習慣が身に付いており、ルール・マナーが守れる生徒</p> <p>・ 多様な価値観を認め合い、他者を尊重して主体的に学べる生徒</p> <p>・ 将来、社会的に自立するために、自己の進路実現に向けて意欲的に努力することができる生徒</p>

番号	学校名	課程	教育目標	「三つの方針（スクール・ポリシー）」		
				『育てたい生徒像』	『生徒をどう育てるか』	『どんな生徒を待っているか』
40	東濃農業	全日制	◎地域の未来を創出する人材の育成 他者とのかわりを通して自己を見つめ、豊かな人間性を備え、確かな教養に裏付けされた専門知識・技術を有し、地域の未来を見据えて主体的に学び続ける人材を育成します。	グラデュエーション・ポリシー（GP） ・ 将来のリーダーに必要な、公共の精神と対話力・コミュニケーション力を身に付け、仲間と協力して課題解決することができる生徒（うごかす力） ・ 基礎学力を著実に身に付け、自分自身の将来を見据えながら自ら学び続ける意欲を身に付けた生徒（つなぐ力） ・ グローバルな視点で地域社会の将来を展望し、商業、生活産業の各分野で、スペシャリストとして活躍する力を身に付けた生徒（つくりだす力）	カリキュラム・ポリシー（CP） ・ 生徒一人ひとりの個性や適性に応じた学びを実現するためのカリキュラム編成ときめ細やかな指導の実施 ・ ICTを活用し、自ら学び続ける意欲を持たせるための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進 ・ SDGsを意識し、変化する産業構造を見据えながら、地域の大学や産業界との連携、協働による実践的な専門教育を推進	アドミッション・ポリシー（AP） ・ 部活動や生徒会活動を含めた学校でのあらゆる活動を通して、自己を見つめ、仲間と協働し、人間性を高めようとする生徒 ・ 向上心を持ち、自ら学び続けようとする主体性のある生徒 ・ 商業・生活産業に関わる学習内容に興味があり、地域社会で活躍する「夢」に向かって努力する意欲のある生徒
41	可児	全日制	「自ら学ぶ」「自ら治む」「自ら鍛う」の自立の精神を涵養し、人間性豊かで心身ともに健全な青年を育成し、清純な校風の樹立を図る。	・ 自らの生き方や在り方を主体的に考え、高い志と向上心を持って、自らが直面する課題に向かって行ける生徒 ・ 優れた自己管理能力と高いコミュニケーション能力を持ち、将来の日本社会・国際社会においてリーダーとして活躍できる、思慮深く俯瞰的な視点を持つ生徒 ・ 基本的生活習慣が確立され、強固な規範意識と社会性をもち、誠実で礼儀正しく品位ある、心身ともに健全な生徒	・ 個々の生徒に応じた手厚い指導によって基礎学力を定着させつつ、全教育活動での探究的学びによって、生涯に渡る主体的学習姿勢を育成 ・ キャリア教育や総合的な探究の時間における校外諸機関と連携した活動や、行事や部活動等の特別活動における創造的・協働的な活動を通じて、コミュニケーション能力とリーダーとしての資質を醸成 ・ 交通安全教育をはじめとするマナー・規範意識向上の取組と、日々の学習習慣確立を通じて、「清新はつらつ」の校風にふさわしい社会性と人間性を育成	・ 仲間と切磋琢磨しつつ毎日の学習に真摯に取り組む、自らの可能性を伸ばして行こうとする生徒 ・ 地域社会への視点を大切にしつつ、広く日本社会・国際社会で自らの能力を発揮し活躍したいとの強い意欲を持つ生徒 ・ 周囲とのコミュニケーションの大切さを理解し、公正さと正義感を重んじて、笑顔と思いやりで満たした人間関係の中で自らの力を伸ばして行きたいと考える生徒
42	可児工業	全日制	あらゆる教育活動の場とおとして、知・徳・体・技の調和のとれた地域社会から期待される人間性豊かな工業技術者を育成する。	・ 工業技術者としての自覚を高め、基礎学力と専門的知識・技能の定着に基づいた職業観・勤労観を持った生徒 ・ 地域社会から信頼され、新たな価値を生み出し、未来を拓く創造性あふれる生徒 ・ 多様な人格を尊重し、豊かな心と健やかな身体を持つ生徒	・ 就職や進学に対応した柔軟な選択科目や習熟度に合わせた少人数授業を展開し、タブレット端末などを活用する生徒一人ひとりに寄り添った支援の推進 ・ 専門的な知識や技術の習得、様々な資格取得のサポートをはじめ、インターンシップ・企業見学を通し、充実したキャリア教育・進路支援の実施 ・ 地域社会と連携した学校行事、活発な部活動を通して、豊かな人間性や社会性の育成	・ ものづくりに興味・関心を持ち、身につけた知識や技術を産業界で活かしたい生徒 ・ 高校生活に明確な目標を持ち、学習をはじめ資格取得、部活動など学校生活に意欲的に取り組み、自ら成長しようとする生徒 ・ 規範意識が高く、規則正しい学校生活ができる生徒
43	多治見	全日制	確かな学力と豊かな人間性を育み、「自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人物の育成」をします。	・ 高い志とチャレンジ精神を持ち、主体的に自らの進路を切り拓くための「一歩前に踏み出す行動力」を有する生徒 ・ 社会で求められる基礎的・汎用的な学力と能力を身に付け、問題解決に向かったための「粘り強い探究力」を有する生徒 ・ 自他の個性と生命を尊重する心を持ち、地域や社会や人とのつながりを大切にして「ともに高め合う協働力」を有する生徒	・ 一人ひとりの適性や興味・関心に応じた、将来の進路を見据えた主体的・協働的で深い学びのなかで、確かな学力を身に付けられる教育課程の編成 ・ わかる授業と探究的な学びを通じて、自らの知識と社会の諸事象を総合的に考え課題を解決する力と、自らの考えを伝える力を育むための学習活動の展開 ・ 生徒一人ひとりの個性や長所を尊重するとともに、仲間との協働的な活動の機会や、自らの進路について深く考えるための機会の提供	・ 学びに対して旺盛な興味や関心を持ち、大学等への進路を目指して主体的に学び、自らの可能性を広げたい生徒 ・ 文武両立を目指して、学習や部活動に向上心を持って仲間とともに精一杯取り組み、自らが成長させたい生徒 ・ 他者を思いやり、校内外の活動に積極的に参加して、周囲の人と協力してよりよい学校、地域、社会を築いていきたい生徒
44	多治見北	全日制	「自主・自律・自学」の校訓に基づき、社会的・職業的自立に向けた基礎となる力を育て、グローバル社会の中で貢献できる生徒を育成する。	・ 基礎的・基本的な知識・技能を修得し、思考力・判断力・表現力及び自ら考え学ぶ意欲や態度を身につけた生徒 ・ 豊かな人間性や情操とともに、自らの行動に責任をもち主体的に判断し行動する態度や、積極的に自己を活かす能力を身につけた生徒 ・ 自己の在り方や生き方を考え、主体的に自らの進路を考える能力や態度を身につけた生徒 ・ 地域社会への理解や関心を深めるとともに、国際化に対応できる能力を身につけた生徒	・ 生徒の興味・関心を喚起し、思考力を高める授業の推進 ・ 信頼と愛情を基盤とし、生徒理解に徹する指導の推進 ・ 将来を見据えた体系的なキャリア教育の推進 ・ 地域に存在する様々な問題の解決を目指す探究活動とその地域連携の推進	・ 「自主・自律・自学」を身につけ、「自分らしい生き方」へ向かって進む意欲のある生徒 ・ 本校の教育目標及びグラデュエーション・ポリシーを理解し、カリキュラム・ポリシーに沿った学習活動に、主体的に取り組む意欲のある生徒 ・ 自身の現状に満足することなく、より高い目標を設定し努力し続ける意欲のある生徒

「三つの方針（スクール・ポリシー）」							
番号	学校名	課程	教育目標	『育てたい生徒像』	カリキュラム・ポリシー（CP）	『生徒をどう育てるか』	アドミッション・ポリシー（AP）
			・「正しく 強く 明るく」の校訓を体し、豊かな人間性と創造性に富む実践力のある人材育成を目指します。 ・自立力、共生力、自己実現力をバランス良く身に付けた生徒の育成を目指します。	・予測困難な時代に対応するため、生涯にわたって自ら学び、自ら考え行動し、主体的に社会と関わりながら、もてのづくりに貢献できる生徒 ・多様な人々の互いの人格を尊重し、豊かな人間関係を築き、人と自然を愛し、他者との協働の中で、自らの役割と責任を果たす生徒 ・急激な社会・産業構造の変化が予想される中で、自ら目標を設定し、夢や可能性を追求し実現しようとするバイタリティ溢れる生徒	① 自己の目標を実現するために、さまざまな可能性や夢に向かって挑戦し、「未来を切り拓く心」を持った生徒 ② 挨拶などの基本的な社会性を身に付けるとともに、自利利他的な精神を持って自分と他者を大切にできる、人間性豊かな生徒 ③ 自らの役割を考え、自らの信念を持って主体的・能動的に行動し、地域や社会に貢献できる生徒	・主体的に考え、判断し、行動できる力の基になる人間性を高く、コミュニケーション能力、自己表現力を高める教育活動の推進 ・ICTの活用により、課題発見力・課題解決力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進 ・地域との連携を深め、体験的な学習を進めるとともに、に、「ふるさと岐阜」への愛着をはぐくむふるさと教育の推進	・基本的な生活習慣が身に付いており、向上心を持って、継続的に学習に取り組むことができる生徒 ・ものづくりに興味があり、将来は工業の分野で活躍したいという意欲のある生徒 ・部活動や生徒会活動、地域への活動に積極的に参加し、クラスメイトとも良好な人間関係を構築し、より良い学校生活を築いていこうという意欲のある生徒
45	多治見工業	全日制					
46	瑞浪	全日制	※ GP・CP・APの、①は「学習・進路実現」に関すること、②は「自己の成長」に関すること、③は「地域や社会との関わり」に関すること、をそれぞれ示している。				
47	土岐紅陵	全日制	自己の在り方や生き方を主体的に考えるとともに、思いやりのある人間、社会で求められる資質や品格を身に付けた人間、地域社会に貢献できる人間を育成します。				
48	土岐商業	全日制	生徒一人一人の能力を最大限に啓発し、民主的で、文化的、国際的な社会の発展に貢献できる実践力のある産業人を育成します。				
49	恵那	全日制	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取開達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。				
50	恵那南	全日制	社会的・職業的自立に向けた基礎となる資質や能力を培い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな地域社会人を育成します。				

番号	学校名	課程	教育目標	「三つの方針（スクール・ポリシー）」		
				『育てたい生徒像』	『生徒をどう育てるか』	『どんな生徒を待っているか』
51	恵那農業	全日制	(1) 生徒一人一人が持つ可能性を引き出し、個性を最大限に伸ばす指導に努める。 (2) 社会人として必要な基礎・基本を身に付けさせ、自立した人間を育てる指導に努める。	グラデュエーション・ポリシー（GP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
				・ 明るく元気で、しつかりあいさつができる生徒 ・ 規律を守り、自らの行動に責任の持てる生徒 ・ 地域から信頼され、地域から愛され、地域と共に歩む生徒 ・ 地域社会の発展、地域産業の発展に貢献できる生徒	・ 将来の職業のスペシャリストを目指して、より高度な専門性の定着 ・ 基礎・基本の徹底を図り、生徒が持つ特性や可能性を最大限に伸ばす指導の実施 ・ 日々の授業を大切にし、学習状況を様々な角度から適切に評価	・ 自ら学び自ら考え、他者と協働しながら主体的に学ぶ生徒 ・ 生命体を扱う農業に関心があり、生命の尊さや豊かな心を持つ生徒 ・ 地域を愛し、地域と連携した活動に意欲を持つ生徒
52	中津	全日制	知・情・意の調和のとれた、人間性豊かな、たくましい生徒を育成する。	・ 創造力と協働力を身に付け、敬愛心をもって、将来グローバルに活躍できる生徒 ・ 自己を理解する力を身に付け、自らすすぶきことを考え決断し、自分を律しながら行動できる生徒 ・ 幅広く質の高い教養を身に付け、ものごとを深く探究し、自分の考えを発信できる生徒	・ 自ら考え、論理的に自分の考えを発信できるよう、主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業の推進 ・ 一人ひとりの学びを深め、自己実現につながるためのカリキュラム編成と、個に応じたキャリア支援の実施 ・ 地域や世界の抱える課題を考察・解決し、仲間と協力して新たなものを創造する力を育成する探究的な学びの推進	・ 幅広い好奇心をもち、自分の考えを発信したり他者の意見に耳を傾けたりしながら、多様な学びに対し前向きに取り組もうとする生徒 ・ 自らの可能性を信じ、主体的に自分の進むべき道を見付け、それに向かっつて継続的に努力しようとする生徒 ・ 地域活動やボランティア活動、学校行事、部活動に意欲的に参加し、他者と協働して物事を成し遂げようとする生徒
		定時制	1 人間尊重の精神を基調として、生徒一人一人との心のふれあいを深め、信頼と愛情に基づく教育実践に努める。 2 勤労生徒としてのたくましい心身と強い責任感を高揚し、民主的社会的抱い手としての調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。	・ 基礎学力と生きる力を身に付けることで、自信を持って自らの人生を切り拓くことのできる生徒 ・ 協同をとおして他者との信頼関係を築きながら、一歩前に踏み出せる生徒 ・ 様々な参加機会を活用して自らの役割を理解し、家庭・地域・社会の担い手となれる生徒	・ 一人ひとりの興味・関心・能力・経験等に合わせ学びの楽しさを育む授業の工夫と基礎学力指導 ・ 少数でアットホームな学校生活の中で自己効力感や信頼関係を育む学校文化の維持・発展 ・ 様々な学校行事や就労体験を通して自己有用感の育成	・ 自らの課題に対して4年間努力して前向きに取り組もうという意志のある生徒 ・ 仲間や教師など他者との信頼関係を築き、自らの可能性を広げたいという生徒 ・ 卒業後の進路を見据え学業と就労の両立を図り、学校行事に積極的に参加しようとする生徒
53	坂下	全日制	～地域と共に、地域と育つ～ 社会の進展や変化に主体的に対応し、生涯にわたって心豊かで創造的な人生を営む態度や能力を身に付け、将来の地域社会に貢献できる生徒を育成する。	・ 社会の課題に主体的に対応し、他者と協力しながら課題解決に取り組む生徒 ・ 夢と希望を持ち、前向きに人生に向き合い、他者への思いやりを忘れない生徒 ・ 地域社会の様々な分野で、自己の役割を自覚し、社会に貢献する生徒	・ 生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を通じた基礎学力の定着とコミュニケーション能力の育成 ・ 教科の学習目標に向け、ICTをはじめ学習方法の工夫と研究を通して主体的・対話的な学びの育成 ・ 地域と連携した多様な学習活動を通して、ローカルな学びをグローバルな学びへと展開できる課題解決力・深い学びの育成	・ 自らの意志で学ぼうとし、目的意識を持って学校生活に取り組む生徒 ・ 新しいことにチャレンジし、粘り強く最後まで真面目に取り組む生徒 ・ 地域を愛し、将来の地域社会のために役に立ちたいと考えている生徒
54	中津商業	全日制	「質実剛健」の伝統訓を基調にして、互いに切磋琢磨し、人間性豊かで社会的に自立した職業専門人の育成に努める。	・ 未来を切り拓く起業家精神を持ち、グローバルな視点から社会や地域に貢献できる生徒 ・ 変化に対応することができ、幅広い知識と教養、倫理観を備え、人間性豊かな生徒 ・ ビジネスに関する専門的な知識や技能を基礎に、課題解決力や情報活用能力を身に付け、将来に向けた社会的自立を実現していく生徒	・ ビジネスに関する専門的な知識と技術を習得し、より高度な資格取得に向けた、商業教育各分野の特性に応じた学びの推進 ・ 地域の魅力を発見し課題の解決に取り組む「ふるさと学習」により、地域と連携した課題探究学習を通して、コミュニケーション能力、情報収集力、プレゼンテーション能力の育成 ・ 互いに切磋琢磨し、自ら高い目標を設定して自己実現することができ、主体性と積極性を育成するための学校行事や部活動等の活性化 ・ 自己肯定感を高めるため、個々に応じた指導や生徒一人ひとりの個性や長所を伸ばす支援の充実	・ 基本的な生活習慣、基礎的な学力を持ち、学校行事、部活動などを通して、充実した高校生活を送る意欲のある生徒 ・ 自らの得意なことを伸ばそう、見つけようとする意欲があり、自己実現のために努力できる生徒 ・ 商業に関する学びや資格取得に興味を持ち、本校の「ふるさと学習」（地域課題解決探究学習）に意欲的に取り組む生徒
55	中津川工業	全日制	教育基本法の精神に則り、健康にして明朗・友愛に満ちた教養ある社会人となるべき資質を養うとともに、自主性・創造性を発揮し、工業に関する知識、技能に習熟し、勤労を尊び、誠意をもってこれにあたる産業界の技術者を養成する。	・ 工業ならではの知識・技術・スキルの向上をめざし、主体的に他者と協働して課題解決に取り組む生徒 ・ 多様な人々の互いの人格を尊重し、人と人とのつながりを大切に、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・ グローバルな視点から問題の核心を把握し、その解決を目指し地域や社会に貢献できる生徒	・ 課題発見力・課題解決力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」や「実習」、「課題研究」の推進 ・ 「課題研究」や教科学習、ICTの活用による、コミュニケーション能力とプレゼンテーション力の育成 ・ 生徒一人ひとりの個性を尊重し居所を十分に伸ばし、深い学びを実現するためのカリキュラムの編成と個々に応じた細かな指導の実施	・ ものづくりや工業分野に興味があり、向上心を持ち、多様性を尊重し、他者と協働しながら主体的に学びたい生徒 ・ 自らの将来に目標を持ち、多様な学びに主体的に取り組む ・ 自らの可能性に挑戦したいという意欲のある生徒 ・ 地域活動などの校外の自主的な活動や、学校行事や部活動などの校内の活動に積極的に参加し、思いやりを持って関わろうとする意欲のある生徒

番号	学校名	課程	「三つの方針（スクール・ポリシー）」			
			『育てたい生徒像』	カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を育てているか』	アドミッション・ポリシー（AP）
56	益田清風	全日制	・ 社会の一員としての自覚を持ち、自ら学び、考えることを通して、進展する社会に主体的に対応できる生徒 ・ 一人一人の興味・関心や能力・適性を活かし、豊かな創造力を培い、生涯にわたってグローバルな視点で学習できる生徒 ・ 地域の人々に対する思いやりやふるさとの文化や自然を愛する心を育み、多様な人々の互いの人格を理解し、協働して課題解決ができる生徒	・ 課題発見力・課題解決力を育成するための多様な科目による「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進 ・ 地域と連携し、他者と協働できる豊かな人間性を育む「探究的な学び」や教科学習、ICTの活用による、コミュニケーション能力と発信力の育成 ・ 将来のキャリア形成につながる幅広い基礎的学力を身につけ、生徒の個性や長所を伸ばし、深い学びを実現するためのカリキュラムの編成と個々に応じた細かな指導の実施	・ 中学校で学んだ基礎学力の上に、各自の心身の発達及び進路に応じて、より高度な学力を身につけたい生徒 ・ お互いの個性を認め、異なる文化や歴史を尊重できる豊かな感性や、たくましく生きるための力を身につけたい生徒 ・ 地域と連携した探究活動等の多様な活動に取り組むことを通じて、理解力、思考力、協働力、探究力を身につけたい生徒	・ 学習意欲と知的好奇心を備え、向上心を持って学び続けることができる生徒 ・ 自ら進んで人と関わる中で、他者との対話を大切にして自らの個性を認めるなど、仲間と協力して物事に取り組める生徒 ・ 広く社会に目を向けることができ、地域や世界の課題をジブンゴト（自らの課題）として捉えることができる生徒
		全日制	・ 生涯にわたって探究心を持って自ら学び続け、問題解決や新しい価値の創造に取り組むことができる生徒 ・ 多様性を尊重し他者と協働することができる生徒 ・ 持続的発展や平和に貢献することができる生徒 ・ 地域社会の発展を考え、答えが見えない課題に対してグローバルな視点からアプローチすることができる生徒	・ 課題の発見、解決能力を伸長するための「主体的・対話的で深い学び」・「探究的な学び」の推進 ・ ICTを積極活用した教科指導・探究的な学びでの、コミュニケーション能力と情報発信力の育成 ・ 生徒の個性や長所を伸ばすためのカリキュラム編成と個に応じた細やかな指導の実施	・ 向上心と、多様性を尊重する姿勢を持ち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲を持つ生徒 ・ 高い志を持ち、その実現のために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・ 生徒会活動や部活動、地域活動などに自主的、主体的に参加し、より良い学校や社会を築いていく意欲のある生徒	・ 向上心と、多様性を尊重する姿勢を持ち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲を持つ生徒 ・ 自らの目標や希望を実現するために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・ 生徒会活動や学校行事などに自主的、主体的に参加し、より良い学校や人間関係を築いていく意欲のある生徒
58	飛騨高山	全日制	・ 豊かな思考力と適切な判断力を身に付け、課題解決のため周囲と協働できる生徒 ・ 互いの人格を尊重し、主観や意見を交流しながら、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・ 郷土を愛し、地域の発展のための課題解決を目指し、地域や社会に貢献できる生徒	・ 課題の発見、解決能力を伸長するための「主体的・対話的で深い学び」・「探究的な学び」の推進 ・ ICTを積極活用した教科指導・探究的な学びでの、コミュニケーション能力と情報発信力の育成 ・ 生徒の個性や長所、自己肯定感を伸長するためのカリキュラム編成と個に応じた細やかな指導の実施	・ 向上心と、多様性を尊重する姿勢を持ち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲を持つ生徒 ・ 自らの目標や希望を実現するために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・ 生徒会活動や学校行事などに自主的、主体的に参加し、より良い学校や人間関係を築いていく意欲のある生徒	・ 向上心と、多様性を尊重する姿勢を持ち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲を持つ生徒 ・ 自らの目標や希望を実現するために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・ 各種活動に自主的に参加し、周囲とのより良い人間関係を築いていく意欲のある生徒
		定時制	・ 豊かな思考力と適切な判断力を身に付け、課題解決のため周囲と協働できる生徒 ・ 互いの人格を尊重し、意見を交流しながら、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・ 郷土を愛し、地域の発展のために地域や社会の構成員として貢献できる生徒	・ 課題の発見、解決能力を伸長するための「主体的・対話的で深い学び」・「探究的な学び」を取り入れたスクーリングを推進 ・ 「思考」「判断」「表現」の力を伸長し適切に評価するレポート課題の作成 ・ 生徒の個性や長所、自己肯定感を伸長するためのカリキュラム編成と個に応じた細やかな指導の実施	・ 向上心と、多様性を尊重する姿勢を持ち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲を持つ生徒 ・ 自らの目標や希望を実現するために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・ 各種活動に自主的に参加し、周囲とのより良い人間関係を築いていく意欲のある生徒	・ 向上心と、多様性を尊重する姿勢を持ち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲を持つ生徒 ・ 自らの目標や希望を実現するために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・ 各種活動に自主的に参加し、周囲とのより良い人間関係を築いていく意欲のある生徒
59	高山工業	全日制	・ 自信と誇りを身に付け、自分で考えて行動し、向上心を持って技術で地域社会を支える生徒 ・ 他者を尊重し他者と協働して、良好な人間関係を築き、社会から信頼される生徒 ・ 地元を愛し、積極的に課題解決に取り組む、地域や社会に貢献できる生徒	・ 課題を見出し解決する力を育成するための、「基礎的・主体的」な学びの推進 ・ 地域素材や地域資源を生かし、地域と連携した「体験的・実践的」な学びによるキャリア教育の充実 ・ 生徒一人ひとりの個性を伸ばし、ものづくりを通じた専門的な学習による「先進的・探究的」な学びを実現するためのカリキュラムの編成と、個に応じたきめ細やかな指導の実施	・ ものづくりに興味があり、仲間と協力しながら共に知識を深め技術を高める意欲のある生徒 ・ 自ら将来を切り拓く目標を探り、その実現に向かって積極的にチャレンジする生徒 ・ 専門性を生かした地域と連携した活動、生徒会活動や部活動等に積極的に参加し、活気ある学校を築こうとする意欲のある生徒	・ ものづくりに興味があり、仲間と協力しながら共に知識を深め技術を高める意欲のある生徒 ・ 自ら将来を切り拓く目標を探り、その実現に向かって積極的にチャレンジする生徒 ・ 専門性を生かした地域と連携した活動、生徒会活動や部活動等に積極的に参加し、活気ある学校を築こうとする意欲のある生徒

番号	学校名	課程	「三つの方針（スクール・ポリシー）」			
			『育てたい生徒像』	『生徒をどう育てるか』	『どんな生徒を待っているか』	アドミッション・ポリシー（AP）
60	吉城	全日制	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する 	<p>グラデュエーション・ポリシー（GP）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話す力」「書く力」「表現する」を身に付け、自分の意見を適切な手段で、内容をわかりやすく、論理的に伝えることができる生徒 ・「情報を集める力」「情報を分析する力」「課題を発見する力」を身に付け、集めた情報を様々な見方で分析し、解決すべき課題を見つけて出すことができる生徒 ・「計画する力」「実行する力」「協働する力」を身に付け、経験したことがない分野でも実現可能な計画を立案し、責任を持って行動し、他者と協働して課題解決に取り組むことができる生徒 	<p>カリキュラム・ポリシー（CP）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能の定着を図りながら、ICT機器の活用やグループワークを通して思考力・判断力・表現力及びコミュニケーション力を育成する授業の実践とルーブリック等を用いた学習評価の実施 ・進路希望に合わせたコース設定や選択授業など、個々に応じたきめ細かい学習支援の実施 ・生徒の課題解決能力と主体性を持つて多様な人々と協働して学ぶ態度を育成するために、地域課題解決型キャリア教育である学校設定教科「ESD」を含めた「吉高地域クラメキ（YCK）プロジェクト」活動の実施 	<p>アドミッション・ポリシー（AP）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見を尊重でき、人への思いやりの気持ちを持ち、他者と協働しながら取り組む意欲のある生徒 ・生徒会活動、部活動、ボランティア活動、地域貢献活動等に積極的に参加し、より良い学校や社会を築いていくという意欲のある生徒 ・探究心が旺盛で、進路目標の実現を目指し、仲間とともに切磋琢磨し、成長しようとする意欲のある生徒
61	飛騨神岡	全日制	<ol style="list-style-type: none"> 1 「英知」「創造」「友愛」「友愛」の校訓のもと、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人材を育成する。 2 生徒一人一人の個性と能力を伸ばし、主体的に行動できる人材を育成する。 3 高い志と広い視野をもち、地域や社会の発展に貢献できる人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣を身に付け、自他を尊重し、様々な課題に対して諦めず粘り強く取り組む生徒 ・ 職業の意義について理解し、夢や希望を実現しようとする態度などを備えた、望ましい職業観・労働観を身に付けた生徒 ・ 自分自身に自信と誇りをもち、地域や社会をより良くするために主体的に行動する生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒一人一人がもつ多様な進路希望が実現できるよう、「基礎・基本的な学習内容」と「各系列の専門的な学習内容」を身に付けるための創意と系統性ある教育課程の編成 ・ 生徒一人一人が社会的・職業的に自立できるよう、「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」の授業を中心としたキャリア教育の推進 ・ 生徒一人一人が自己の存在感を実感できるよう、教育活動全体を通じて、それぞれの生徒が活躍し主役となれる機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校の教育を理解し、自分の「夢」を叶えるための目標や可能性に果敢に挑戦しようとする意欲のある生徒 ・ 向上心をもち、多様性を尊重し、仲間と協働しながら主体的に多くのことを学ぼうとする意欲のある生徒 ・ 部活動や生徒会活動、地域活動などに積極的に参加し、より良い学校や地域を自らの手で創ろうとする意欲のある生徒
64	華陽フロンティア	定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生としての基礎的・基本的な知識や技能と主体的に学習する意欲や態度を身に付けさせ、生徒一人一人の個性を伸ばし、心豊かでたくましく生きる力を育む。 ・ 社会の規範を守る態度を養い、地域社会の一員としての自覚を高める。 ・ 健康で安全な生活を送るため、基礎体力の向上を図り、健康な心身の保持増進に努める態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わかる喜び」の涵養（学びの「再チャレンジ」） ・ ユニバーサルデザインを意識した授業 ・ ICT機器の積極的な活用 ・ 半期ごとの単位認定 ・ キャリア教育の推進 ・ 「コミュニケーション能力」の向上 ・ 社会的、職業的自立の支援 ・ 「カウンセリングマインド」に基づく積極的傾聴（共感的理解・無条件の肯定的関心・自己一致） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分の生き方」を真剣に考え、やると決めたことはあきらめない生徒 ・ 「なりたくない自分」を見つけないと願っている生徒 ・ 自分にも、周りにも、優しい言葉をかけてあげられる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分の生き方」を真剣に考え、やると決めたことはあきらめない生徒 ・ 「なりたくない自分」を見つけないと願っている生徒 ・ 自分にも、周りにも、優しい言葉をかけてあげられる生徒
		通信制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生としての基礎的・基本的な知識や技能と主体的に学習する意欲や態度を身に付けさせ、生徒一人一人の個性を伸ばし、心豊かでたくましく生きる力を育む。 ・ 社会の規範を守る態度を養い、地域社会の一員としての自覚を高める。 ・ 健康で安全な生活を送るため、基礎体力の向上を図り、健康な心身の保持増進に努める態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わかる喜び」の涵養（学びの「再チャレンジ」） ・ ユニバーサルデザインを意識した授業 ・ ICT機器の積極的な活用 ・ 半期ごとの単位認定 ・ キャリア教育の推進 ・ 「コミュニケーション能力」の向上 ・ 社会的、職業的自立の支援 ・ 「カウンセリングマインド」に基づく積極的傾聴（共感的理解・無条件の肯定的関心・自己一致） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分の生き方」を真剣に考え、やると決めたことはあきらめない生徒 ・ 「なりたくない自分」を見つけないと願っている生徒 ・ 自分にも、周りにも、優しい言葉をかけてあげられる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分の生き方」を真剣に考え、やると決めたことはあきらめない生徒 ・ 「なりたくない自分」を見つけないと願っている生徒 ・ 自分にも、周りにも、優しい言葉をかけてあげられる生徒
65	東濃フロンティア	定時制	<ol style="list-style-type: none"> 1 一人一人の個性を大切に、主体的に生きる人間の育成に努める。 1 真理の探究…創造力豊かな自ら学ぶ生徒の育成 2 人格の陶冶…他を思いやる心豊かな生徒の育成 3 体力の増進…心身ともに健康でたくましい生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら主体的に学ぶ姿勢と、進んで自らの人生を切り拓く意欲的な生活態度を身に付けた生徒 ・ モラルやマナーを尊重する態度と、望ましい労働観や職業観及び社会性を身に付けた生徒 ・ 心身ともに健康で逞しく、「生きる力」を身に付けた生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数教育を生かして、生徒一人一人の特性に配慮した魅力ある授業づくりの推進とともに、各教科の授業において、生徒に身に付けさせたい基礎・基本を明確にし、その確実な定着と生徒の興味・関心の喚起による主体的な学習態度の育成 ・ 社会生活の基礎となる基本的な生活習慣を確立させ、守るべきルールやマナーを理解し遵守する自己指導能力の育成 ・ 特別な配慮が必要な生徒への支援の在り方の研究の推進と支援の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学び直しのできる学校において、自ら学ぶ態度と基礎的・基本的な学力を身に付けた生徒 ・ 社会的な自立を目指して、自己肯定感を高め、「生きる力」を身に付けた生徒 ・ 地域活動などの校外の自主的な活動や、生徒会活動や部活動などの校内の活動に積極的に参加し、より良い学校や社会を築いていくという意欲のある生徒

